

町田の教育に関するアンケート調査

結果報告書

2023年3月

町田市 教育委員会

目 次

調査の概要.....	1
調査の目的.....	1
調査の方法.....	1
報告書の留意点.....	1
児童・生徒票 集計結果.....	2
保護者票 集計結果.....	10
あなた自身のことについておうかがいします.....	10
町田市の教育において、「みんなが目指す姿」についておうかがいします.....	11
町田市の学校教育についておうかがいします.....	12
教育に関する相談についておうかがいします.....	33
学校・家庭・地域の連携についておうかがいします.....	37
放課後の活動についておうかがいします.....	43
教員票 集計結果.....	46
あなた自身のことについておうかがいします.....	46
町田市の教育において、「みんなが目指す姿」についておうかがいします.....	47
町田市の学校教育についておうかがいします.....	48
教育に関する相談についておうかがいします.....	65
学校・家庭・地域の連携についておうかがいします.....	66
現在の業務の状況についておうかがいします.....	78
現在の教員生活の満足度についておうかがいします.....	93
町田市の生涯学習施設の活用についておうかがいします.....	99
資料 調査票.....	106
児童・生徒用.....	106
保護者用.....	107
教員用.....	115

調査の概要

調査の目的

市民（町田市在住の小・中学生、保護者、教員）を対象に、現状及びニーズを把握し、次期計画である『(仮称) 町田市教育プラン 2024-2028』を策定するための基礎資料とすることを目的として実施しました。

調査の方法

(1)調査方法

調査名	調査方法
【児童・生徒用】 町田の教育についてのアンケート	●調査対象:町田市立小中学校に在籍する小学校5年生、中学校2年生 ●調査方法:Web アンケート ●調査期間:2022年7月1日(金)~7月20日(水)
【保護者用】 町田の教育に関するアンケート調査	●調査対象:町田市立小中学校に在籍する小学校5年生、中学校2年生の保護者※ ●調査方法:Web アンケート及び紙面による記入式アンケート調査の併用(学校配布・学校回収) ●調査期間:2022年7月1日(金)~7月20日(水)
【教員用】 町田の教育に関するアンケート調査	●調査対象:町田市立小中学校に勤める教員 ●調査方法:Web アンケート ●調査期間:2022年7月1日(金)~8月5日(金)

※保護者については、小学校5年生、中学校2年生の1学級を対象として、実施しています。

(2)回収状況

調査名	調査結果		
	対象者数	有効回答数	有効回答率
【児童・生徒用】 町田の教育についてのアンケート	対象者数	有効回答数	有効回答率
	6,659 票	3,307 票	49.7%
【保護者用】 町田の教育に関するアンケート調査	対象者数	有効回答数	有効回答率
	2,034 票	1,238 票	60.9%
【教員用】 町田の教育に関するアンケート調査	対象者数	有効回答数	有効回答率
	1,701 票	983 票	57.8%

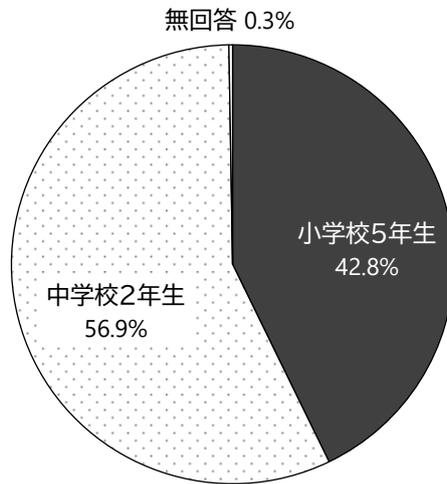
報告書の留意点

- 「集計結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当設問においては該当者数）を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記します。
- 複数回答（2つ以上選ぶ問）の設問では、すべての割合の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表します。
- 図表の記載にあたり調査票の設問文、グラフ及び文章中の選択肢を一部簡略化している場合があります。
- 【参考】で掲載している回答者の属性と設問を掛け合わせたクロス集計結果は、クロス集計に必要な属性を回答いただいていない場合、n数に反映されないため、設問の回答者数とは異なります。

児童・生徒票 集計結果

問1 あなたの学年を教えてください。

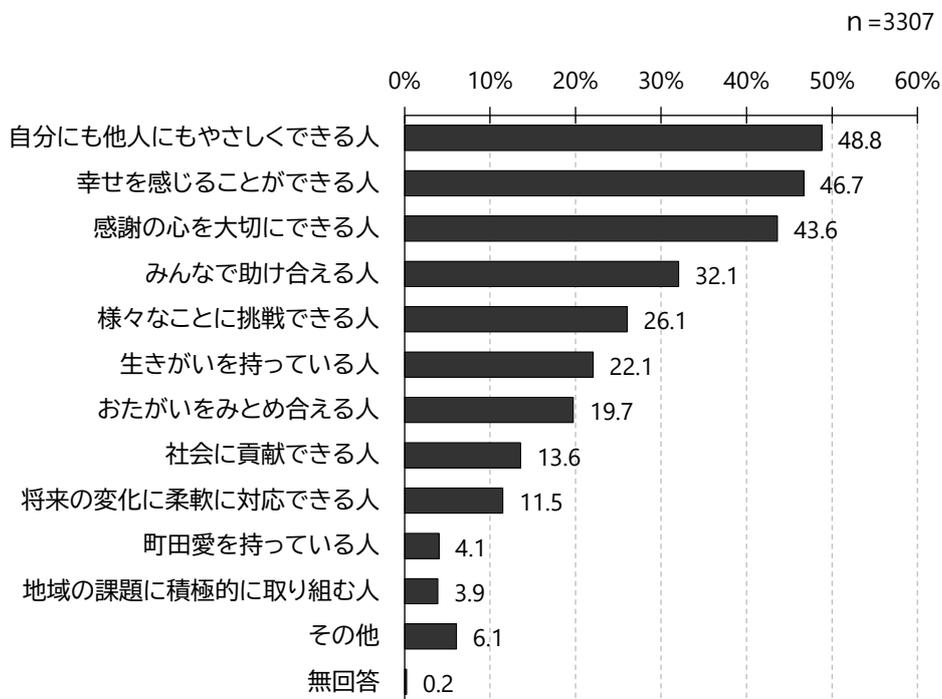
「小学校5年生」が42.8%、「中学校2年生」が56.9%となっています。



n=3307

問2 あなたが将来こういう大人になりたいと思うものを選んでください。(複数回答)

「自分にも他人にもやさしくできる人」が48.8%と最も多く、次いで「幸せを感じることができる人」が46.7%、「感謝の心を大切にできる人」が43.6%、「みんなで助け合える人」が32.1%、「様々なことに挑戦できる人」が26.1%となっています。



【『その他』の意見(抜粋)】

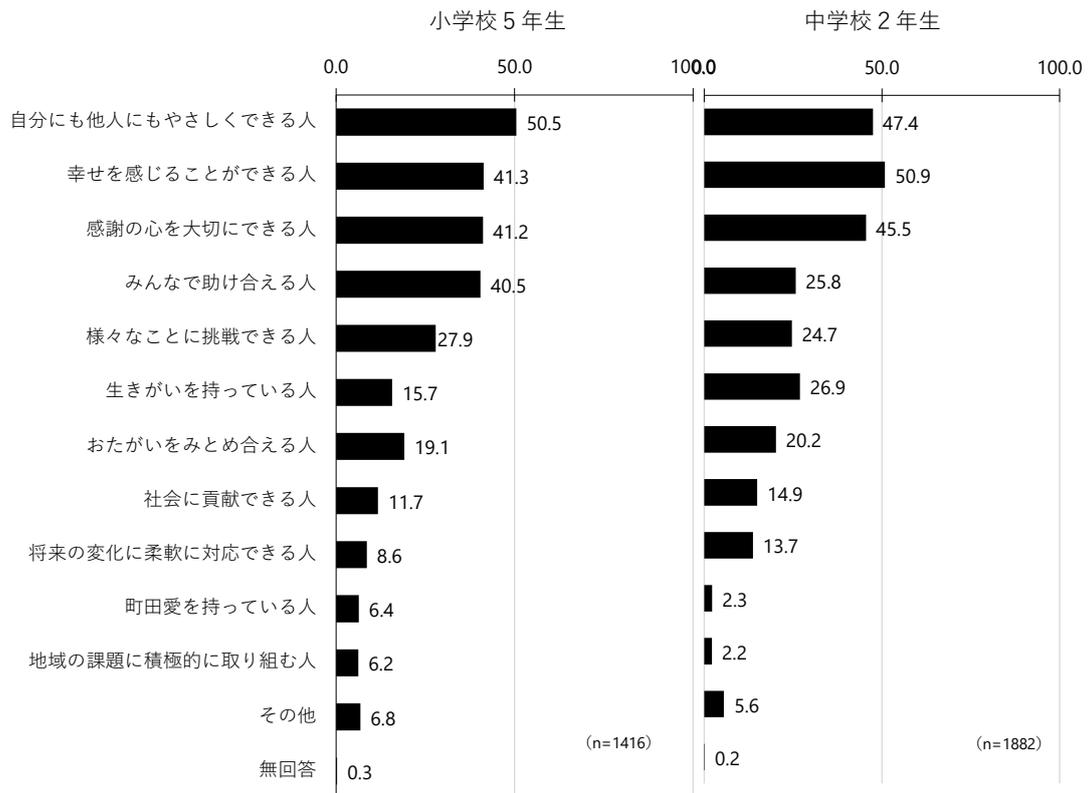
●小学校5年生

- ・誰にでも優しく接することができる人 ・楽しく仕事ができる人
- ・自分の夢を追いかけている人 ・笑顔を届ける人 ・困っている人を助けられる人
- ・お金持ち ・家族思いの人 ・絵やイラストがうまく描ける人
- ・前向きに考えられる人 ・みんなを思って行動できる人 ・他人を優先できる人
- ・差別なくみんなが公平になるようにする人 ・自分のやりたいことが言える人
- ・いろんなことを教えることができる人 ・チームワークを大切にすること

●中学2年生

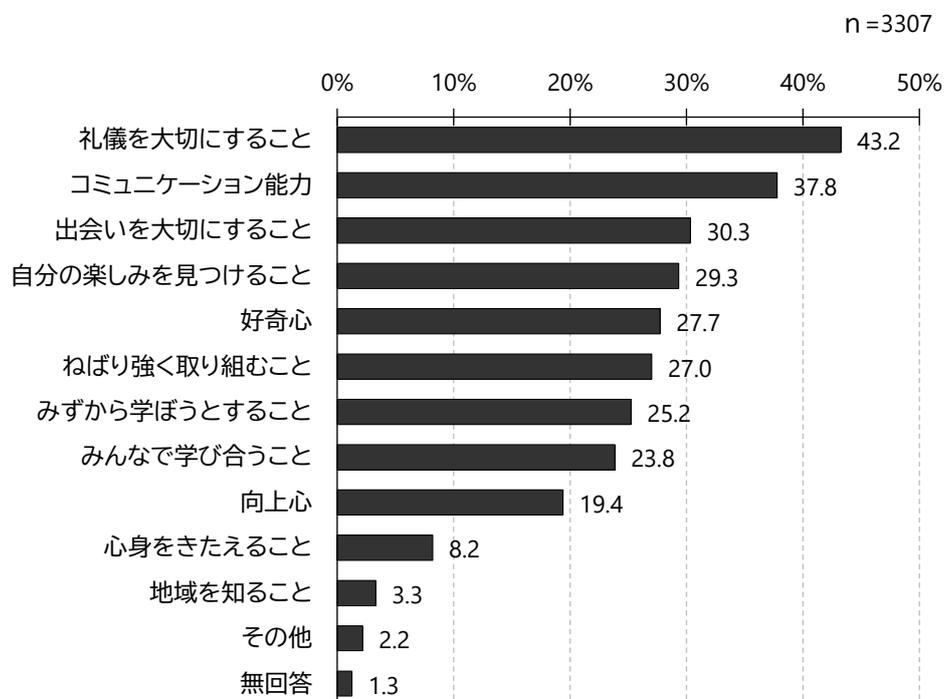
- ・やりたいことをやり通せる人 ・自分のことや相手のことを大切にできる人
- ・思いやりのある人 ・お金、権力のある人 ・誰からも尊敬される人 ・自由に生きられる人
- ・自分の意見が言える人 ・気遣いができる人 ・相手の気持ちを考えられる人
- ・みんなに笑顔、勇気を与えられる人 ・夢を語れる人 ・あきらめずに頑張れる人
- ・楽しいと思える時間が多い人 ・美味しいものをたくさん食べられる人
- ・いろいろなものに感謝できる人 ・責任感を持てる人 ・幸せな家庭を築ける人
- ・様々な視野で物事を考えられる人 ・家族を助ける人

【参考】問2 将来なりたい大人像(小学校5年生・中学校2年生別)



問3 問2で選んだ大人になるために、あなたが大事だと思うことはなんですか。(複数回答)

「礼儀を大切にすること」が43.2%と最も多く、次いで「コミュニケーション能力」が37.8%、「出会いを大切にすること」が30.3%、「自分の楽しみを見つけること」が29.3%、「好奇心」が27.7%となっています。



【『その他』の意見(抜粋)】

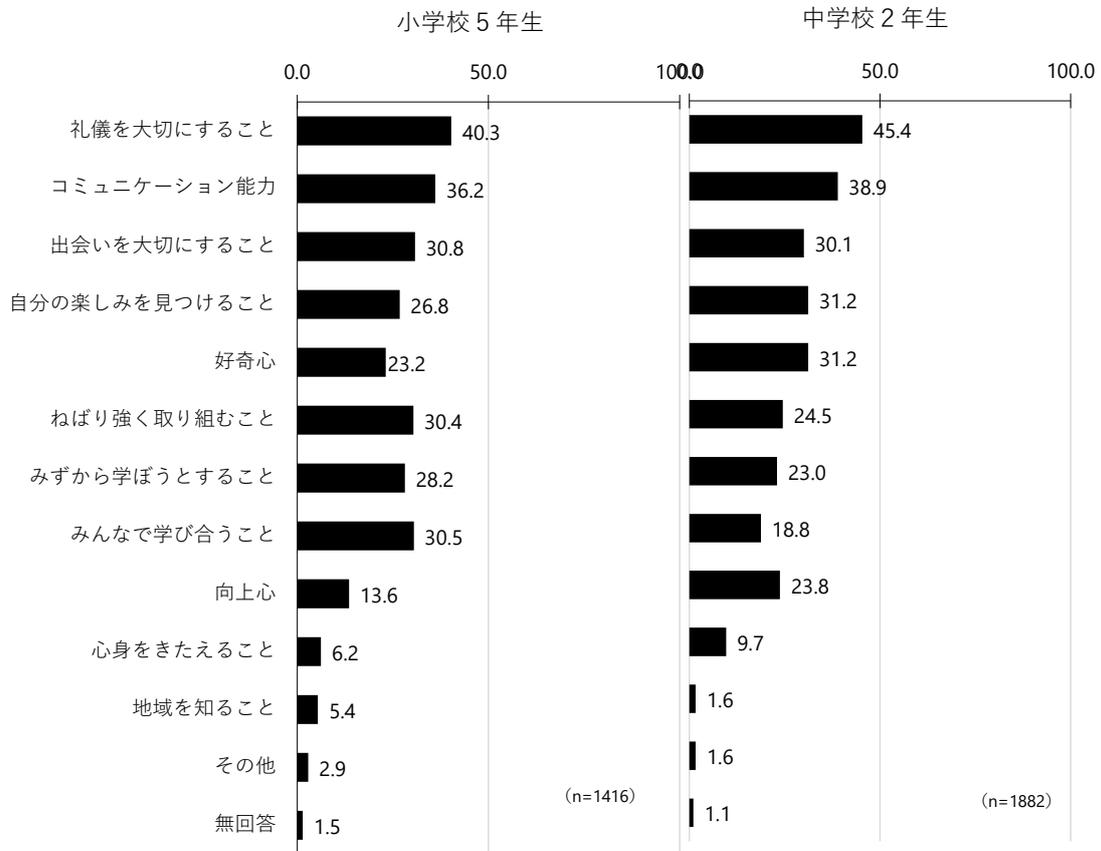
●小学校5年生

- ・人に優しく接すること
- ・助け合い
- ・なんでも挑戦すること
- ・勉強をちゃんとやる
- ・自分を好きになること
- ・技術力
- ・働いてお金を稼ぐこと
- ・常識を身につけること
- ・どんなことにも本気で取り組む
- ・自分の考えを持ち、他者の考えも認めること
- ・自分にとって大切なことを見つけること
- ・友達を大切にすること
- ・誰とでも話せる
- ・空気を読めるようにすること
- ・尊重し合える人
- ・「愛」が一番
- ・時には人に頼ること
- ・何事にもありがたみを感じる
- ・自分の力でみんなを楽しくすること

●中学2年生

- ・自分や相手のことを客観的に見ること、知ること
- ・努力をし続けること
- ・友達を大切にすること
- ・人と人との関わりを大切にすること
- ・自分らしく生きる
- ・努力をする
- ・大人になっても楽しみを忘れない
- ・勉強する
- ・人とのつながり
- ・固定概念にとらわれない柔軟な思考をもつこと
- ・語彙力を増やす
- ・協力すること
- ・メリハリをつけて行動すること
- ・観察力
- ・自分が夢に向かって、全力で努力すること
- ・自分の意見を尊重して自分から動くようにする
- ・何事もすぐに諦めない
- ・社会について知ること
- ・疑問に思った事を調べること
- ・知識
- ・素直さ
- ・今のうちに考える力をつけておく
- ・感謝の気持を忘れない
- ・色々なことに挑戦する

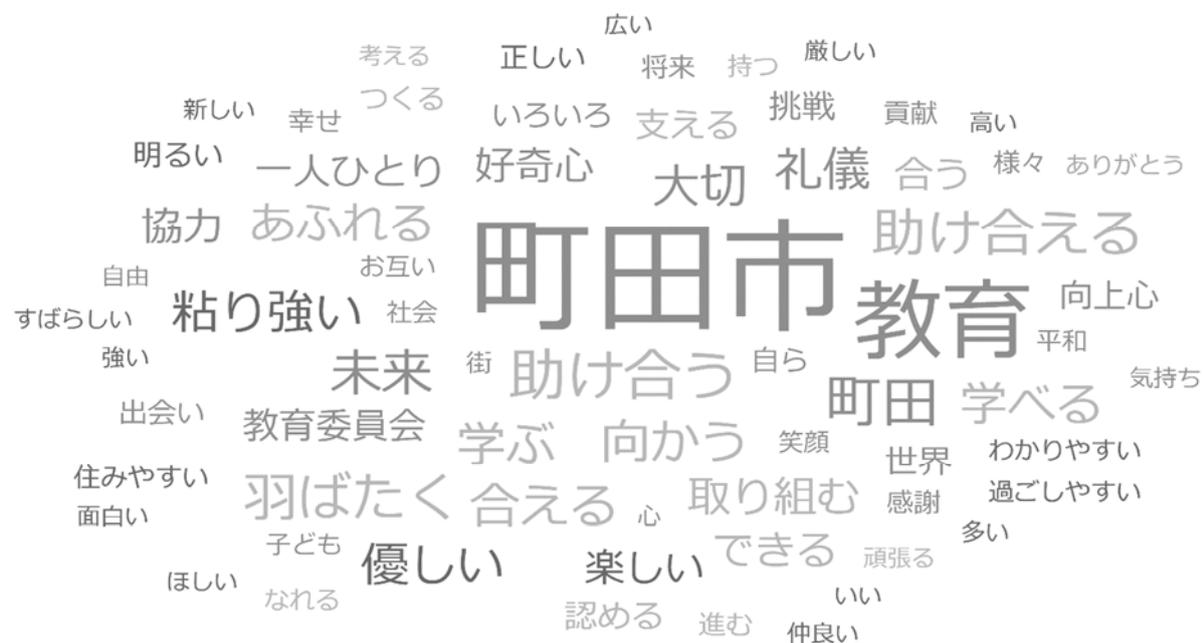
【参考】 問2 将来なりたい大人像になるために必要だと思うこと
 (小学校5年生・中学校2年生別)



問4 問2、3でえらんだ言葉を参考にして、あなたが考える町田市の未来の教育イメージをかいた言葉で表現してみてください。(例:未来に向かって世界にはばたく町田市教育)
(自由記述)

意見を、テキストマイニング(ワードクラウド)※でみると、名詞では、「町田市」、「教育」が特に多いですが、その他では「未来」、「大切」、「礼儀」が多く、動詞では、「助け合う(助け合える)」、「羽ばたく」、「向かう」、「あふれる」、「学ぶ(学べる)」が多く、形容詞では、「粘り強い」、「優しい」、「楽しい」が多くなっています。

※テキストマイニング(ワードクラウド)とは、多数の意見から、記述が多い単語を抽出し、その回答数の量に応じて文字を大きく図示する集計手法の1つです。



【特に多い名詞別の主な意見】(抜粋)

<p>町田市</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幸せを自らつかむ未来町田市教育 ・協力して宇宙へ向かう町田市教育 ・コミュニケーションの、取りやすい町田市 ・平和な世界 助け合える世界 町田市教育 ・子ども達の安心を守る町田市教育 ・いろんなことを知れる町田市教育 ・丁寧な町田市教育 ・みんなニコニコ優しい町田市教育 ・自由な町田市 ・みんなで助け合える町田市教育 ・礼儀正しい町田市教育 ・礼儀正しくみんなで協力しあえる町田市 ・誰もが学べる町田市教育 ・めげずに頑張る町田市教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本有数の町田市教育 ・未来に向かって、明るい町田市教育 ・いろんなことに挑戦しだれにでも優しくできる町田市 ・一人一人が自信などがもてるような町田市 ・未来に向かって世界に羽ばたく町田市教育 ・好奇心に溢れた町田市 ・教育豊かな町田市教育 ・思想膨らます町田市教育 ・何度失敗しても挑戦し続ける町田市教育 ・世界とも交流し、みんなが学びやすい町田市 ・お互いを認め合い礼儀をたいせつにする町田市教育 ・いいことたくさん町田市教育
--	---

教育	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな教育 ・何でも挑戦し、いじめをなくす町田市教育 ・先端技術を活用した町田市教育 ・出会いを大切に礼儀正しい町田市教育 ・子どもの向上心を育て、教育一筋の町田市教育 ・教育、命 町田市教育 ・設備が充実した町田市教育 ・粘り強く教える町田の教育 ・がんばっていこう町田市教育委員会 ・笑顔がいっぱい溢れる町田教育 ・夢で溢れる町田市教育 ・差別なく仲良く暮らせる町田教育 ・希望たくさん町田教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとり個性を伸ばせる町田市教育 ・自ら色々なことを学ぼうとして楽しくいきる町田教育 ・明るい未来へ町田市教育 ・個性を尊重し、一人一人の未来を考える町田市教育 ・自分のやりたい仕事を熱心にやれる教育ができるようになってほしい ・仲間と学び合い（学び愛）、助け合い（助け愛）、高め合い（高め愛）、励まし合い（励まし愛）ができる「まちだの教育」 ・日本一の賢さを持つ町田市教育 ・希望の光しかない町田市教育 ・今日を楽しむ社会に飛び立つ町田市教育
未来	<ul style="list-style-type: none"> ・幸せを自らつかむ未来町田市教育 ・未来に向かって楽しい町田市教育 ・自分の未来に向かって頑張る町田市教育 ・未来のために学び合い楽しく過ごす町田教育 ・未来に向けて、学ぶ町田市教育 ・みんなが生きていて楽しいと思う未来 ・失敗をおそれず、楽しい未来をつくる町田市教育 ・子どもたちをより開花させたり、未来を与える町田市教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望にあふれる未来を切り開く町田市教育 ・未来を明るく町田市教育 ・自分が未来を決める教育 ・希望にあふれる未来を切り開く町田市教育 ・皆で学び、助け合う未来の町田。 ・未来に向かって世界に羽ばたく町田市教育 ・未来の小学生のために頑張る町田市教育委員会 ・みんながお互いを認めあって、みんなが生きがいを持てる未来

【特に多い動詞別の主な意見】(抜粋)

学ぶ (学べる)	<ul style="list-style-type: none"> ・礼儀を学びながら楽しんで学ぶこと ・未来に向けて、学ぶ町田市教育 ・自分から学ぶ町田市教育 ・楽しく学ぶ町田市教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・みずから学ぶ、町田の未来 ・クロームブックで色んな人と一緒に学ぶ ・いろいろな行事やイベント、あたらしい授業をやったり、クラスみんなで学ぶ
助け合う (助け合える)	<ul style="list-style-type: none"> ・互いを尊重し合い助け合う町田市教育 ・みんなで助け合う町田市教育 ・助け合う、協力する町田市教育 ・みんなで学び合って助け合う、町田市教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの心で助け合う町田！！！！ ・未来に一生懸命頑張る助け合う世界 ・誰にでも優しく、助け合う町田教育 ・未来の優しさに向かって助け合う町田市教育
羽ばたく	<ul style="list-style-type: none"> ・未来に向かって世界に羽ばたく町田市教育 ・これからの世界を羽ばたく町田市！ ・みんなで羽ばたくよう未来に向かってゆく ・世界に羽ばたく向上心を大切にしている町田教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・最高の未来に向かって世界に羽ばたく町田 ・自由な空へ世界に羽ばたく ・夢に向かって世界に羽ばたく町田市教育 ・未来に向かって地球に羽ばたく町田市教育委員会
向かう	<ul style="list-style-type: none"> ・協力して宇宙へ向かう町田市教育 ・差別なくみんなで大人へ向かう町田市教育 ・協力しあい未来に向かう ・みんなで協力して未来に向かう町田市教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの心を持ち未来に向かう町田市教育 ・学びに向かう町田市教育 ・自分から積極的に輝く未来へ向かう町田市教育 ・未来に向かう子どもを応援する町田市教育
あふれる	<ul style="list-style-type: none"> ・笑顔あふれる町田市教育 ・希望にあふれる未来を切り開く町田市教育 ・お互い助け合い笑顔あふれる町田市教育 ・コミュニケーションができ、みんなで学ぼうとし好奇心にあふれる町田 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然と楽しく笑顔あふれる町田市教育 ・「ありがとう」があふれる町田市教育 ・向上心や好奇心があふれる町田市教育 ・みんなが優しく感謝と幸せがあふれる町田市教育

【特に多い形容詞別の主な意見】(抜粋)

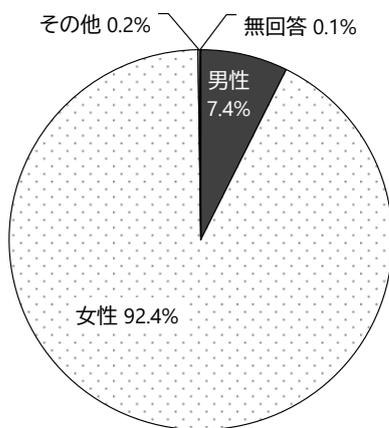
<p>粘り強い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く取り組みいろんな事に取り組める町田市教育 ・何事にも粘り強く生きる ・オクラのような粘り強い町田市教育 ・粘り強く学ぶ、強い子どもに育てる町田市教育！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の問題にみんなで粘り強く取り組む ・礼儀正しく粘り強く物事に取り組める子どもを育てる町田市教育 ・粘り強く、挑戦していく ・納豆のように粘り強く頑張る町田教育
<p>優しい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分も人にも優しく町田市教育 ・人に優しい楽しい未来と、より良い世界をめざす ・安全で優しい町田市 ・困っている人がいたら優しく声をかけて助けてあげる 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなに優しく笑顔でコミュニケーション！ ・大人になっても優しい心を大事にできる町田市教育 ・sy（すごく優しい）を世界に ・優しく幸せな町
<p>楽しい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが楽しく過ごせる町田 ・みんな楽しく助け愛[^]ー[^]町田市教育～！！ ・生徒が過ごしやすく、学校に行くのが楽しみになるような教育 ・今日を楽しむ社会に飛び立つ町田市教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しんで愉しめる町田市教育 ・住民や観光客を楽しませられる町田 ・みんな幸せ、みんな楽しい、だから嬉しい町田市教育

保護者票 集計結果

あなた自身のことについておうかがいします

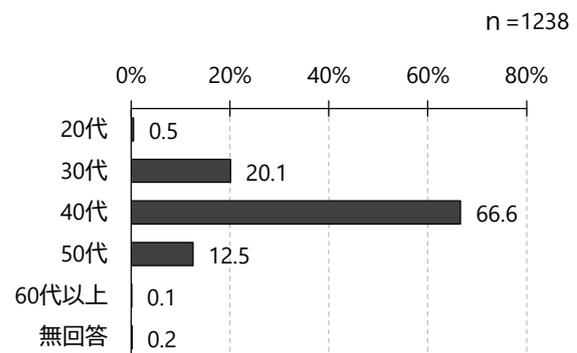
問1 あなたの性別を教えてください。

「女性」が 92.4%と最も多く、次いで「男性」が 7.4%、「その他」が 0.2%となっています。



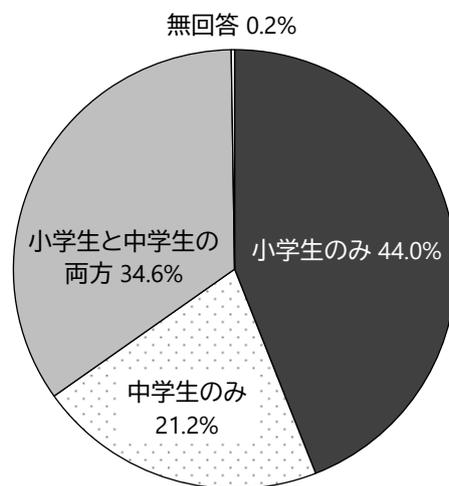
問2 あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。

「40代」が 66.6%と最も多く、次いで「30代」が 20.1%、「50代」が 12.5%となっています。



問3 アンケート用紙を持ち帰ったお子さんを含めて、小学生または中学生のお子さんがいらっしゃいますか。

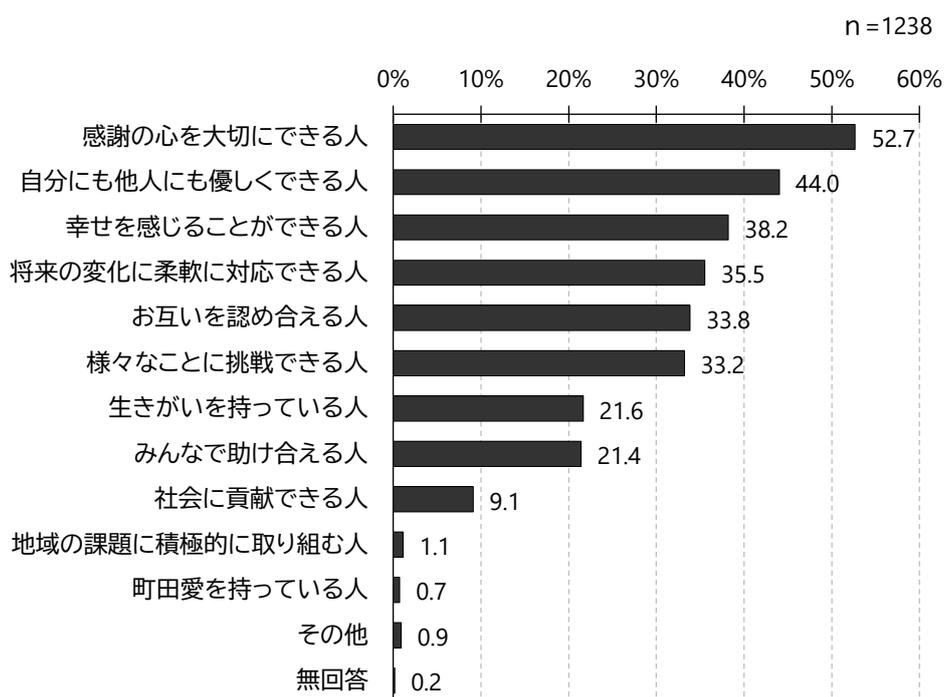
「小学生のみ」が 44.0%と最も多く、次いで「小学生と中学生の両方」が 34.6%、「中学生のみ」が 21.2%となっています。



町田市の教育において、「みんなが目指す姿」についておうかがいします

問4 2040年の未来を見据えて、町田市の教育において「みんなが目指す姿」についてのご意見をお聞かせください。あなたが子どもたちに、こういう人になってほしいと思うものを選んでください。(複数回答)

「感謝の心を大切にできる人」が52.7%と最も多く、次いで「自分にも他人にも優しくできる人」が44.0%、「幸せを感じることができる人」が38.2%、「将来の変化に柔軟に対応できる人」が35.5%、「お互いを認め合える人」が33.8%となっています。



町田市の学校教育についておうかがいします

問5 以下に掲げる町田市の教育に関する取組について、どの程度知っていますか。

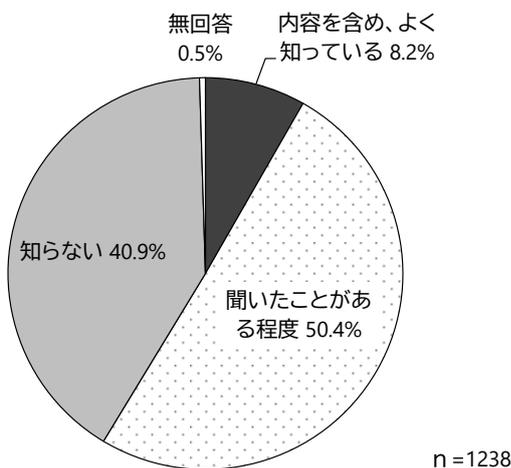
問6 問5で「内容を含め、よく知っている」と回答した項目について、その満足度をお答えください。

①「家庭学習の手引き」(リーフレット)を使った家庭学習啓発の取組

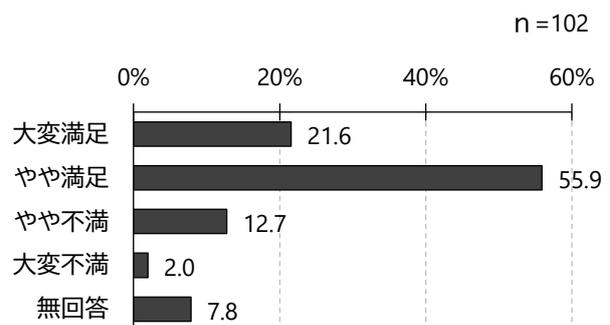
認知度について、「聞いたことがある程度」が50.4%と最も多く、次いで「知らない」が40.9%、「内容を含め、よく知っている」が8.2%となっています。

また、「内容を含め、よく知っている」と回答した方の満足度について、「やや満足」が55.9%と最も多く、次いで「大変満足」が21.6%、「やや不満」が12.7%、「大変不満」が2.0%となっています。

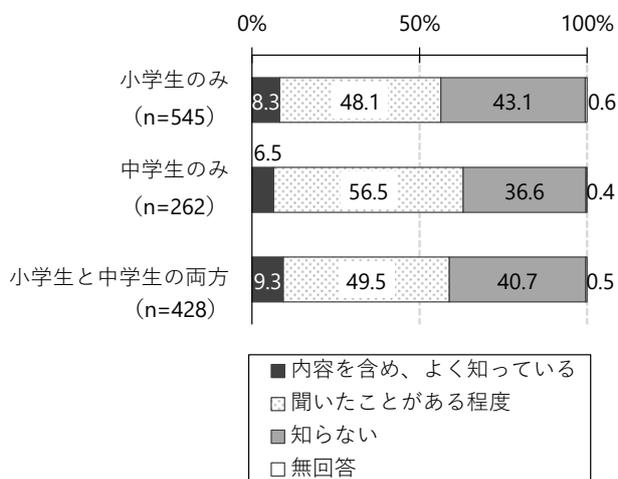
問5 認知度



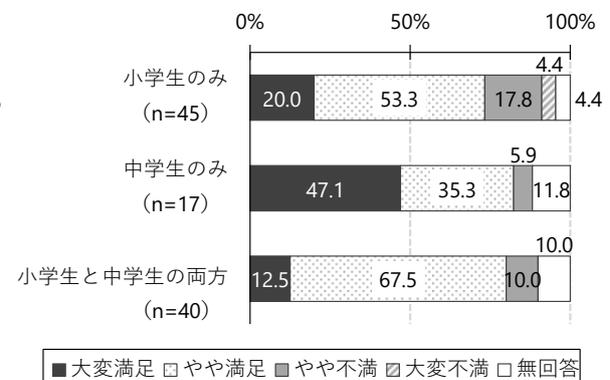
問6 満足度



【参考】問5 認知度
(小中学生又はその両方別)



【参考】問6 満足度
(小中学生又はその両方別)

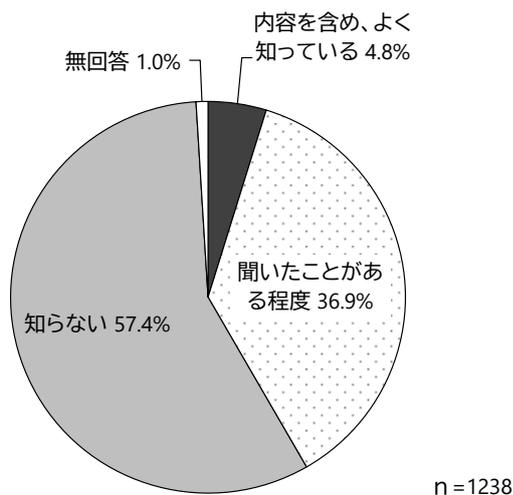


②協働的探究学習を取り入れた授業

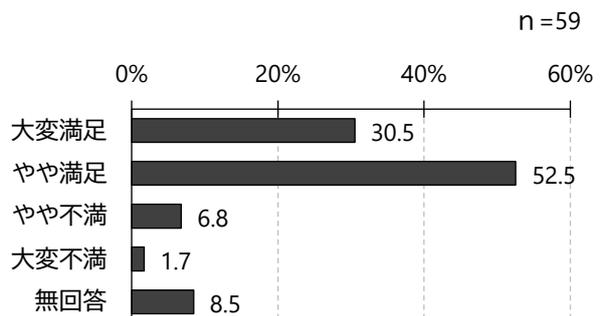
認知度について、「知らない」が57.4%と最も多く、次いで「聞いたことがある程度」が36.9%、「内容を含め、よく知っている」が4.8%となっています。

また、「内容を含め、よく知っている」と回答した方の満足度について、「やや満足」が52.5%と最も多く、次いで「大変満足」が30.5%、「やや不満」が6.8%、「大変不満」が1.7%となっています。

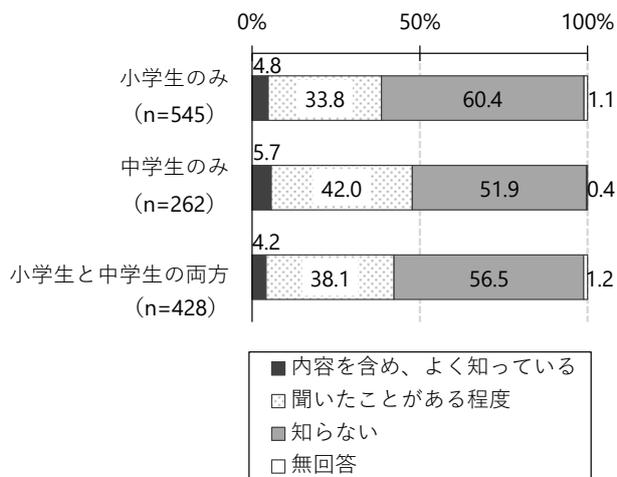
問5 認知度



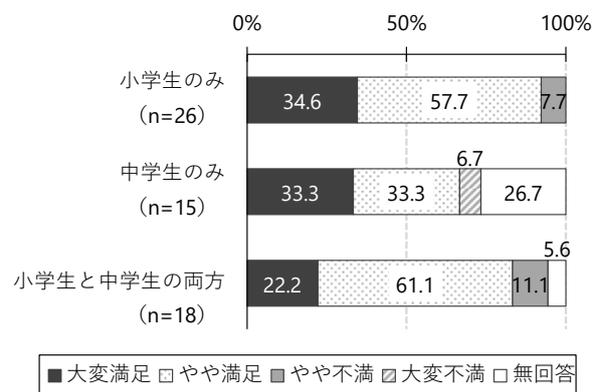
問6 満足度



【参考】問5 認知度
(小中学生又はその両方別)



【参考】問6 満足度
(小中学生又はその両方別)

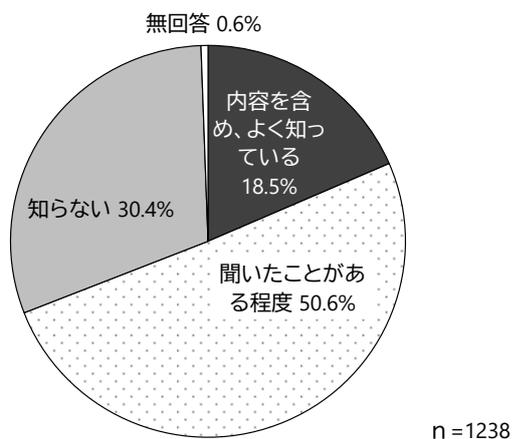


③一校一取組運動や小学校校連合運動会などの体力向上を図るための取組

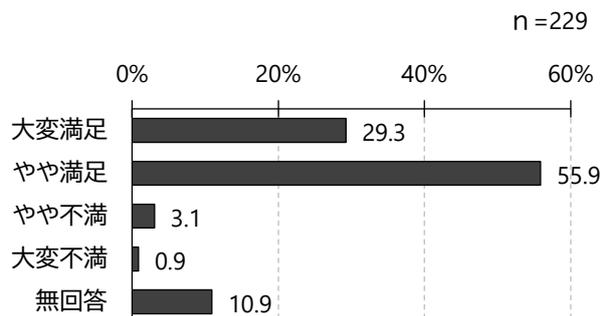
認知度について、「聞いたことがある程度」が50.6%と最も多く、次いで「知らない」が30.4%、「内容を含め、よく知っている」が18.5%となっています。

また、「内容を含め、よく知っている」と回答した方の満足度について、「やや満足」が55.9%と最も多く、次いで「大変満足」が29.3%、「やや不満」が3.1%、「大変不満」が0.9%となっています。

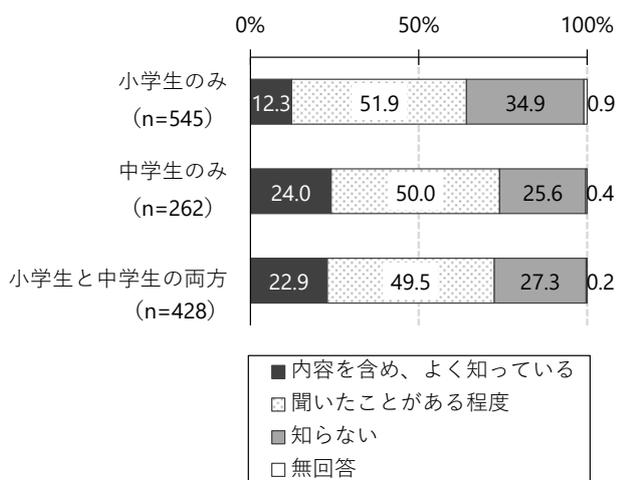
問5 認知度



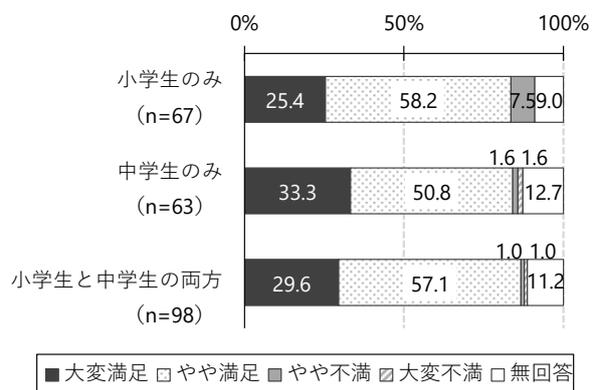
問6 満足度



【参考】問5 認知度
(小中学生又はその両方別)



【参考】問6 満足度
(小中学生又はその両方別)

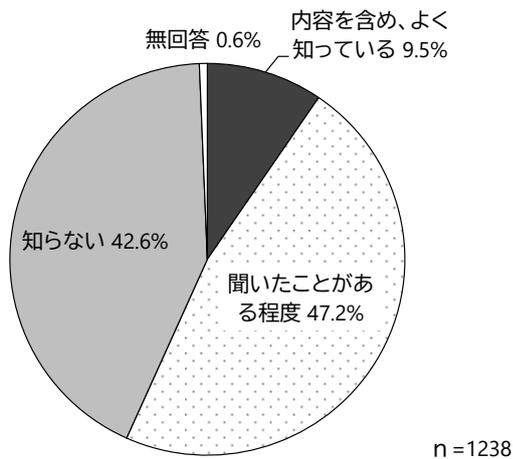


④小中一貫町田っ子カリキュラムによる小中連携の取組

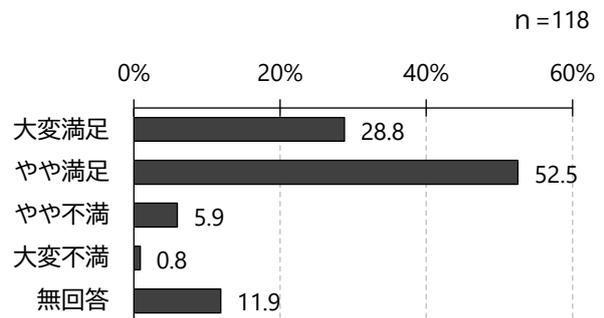
認知度について、「聞いたことがある程度」が47.2%と最も多く、次いで「知らない」が42.6%、「内容を含め、よく知っている」が9.5%となっています。

また、「内容を含め、よく知っている」と回答した方の満足度について、「やや満足」が52.5%と最も多く、次いで「大変満足」が28.8%、「やや不満」が5.9%、「大変不満」が0.8%となっています。

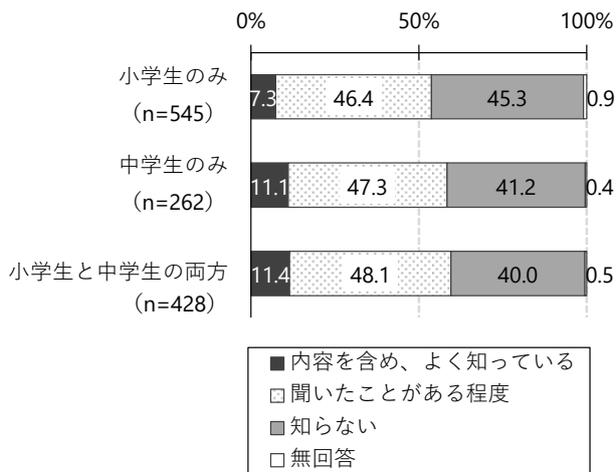
問5 認知度



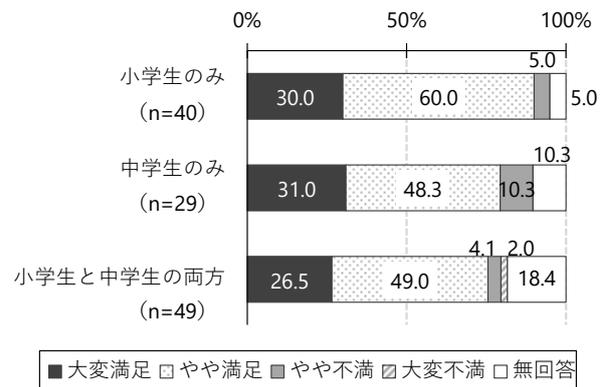
問6 満足度



【参考】問5 認知度
(小中学生又はその両方別)



【参考】問6 満足度
(小中学生又はその両方別)

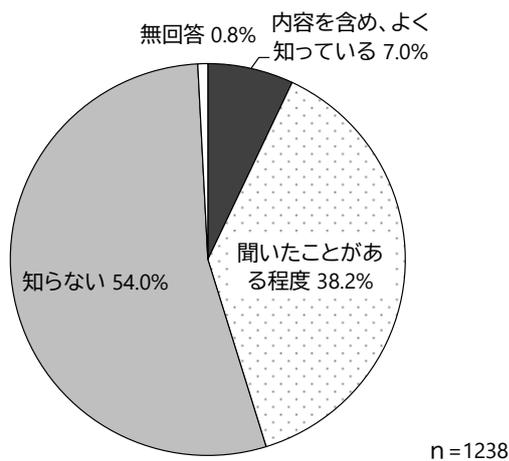


⑤社会的自立、職業的自立に必要な能力を育成する「キャリア教育」の取組

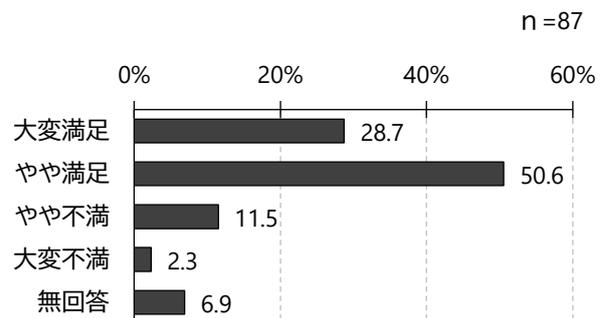
認知度について、「知らない」が54.0%と最も多く、次いで「聞いたことがある程度」が38.2%、「内容を含め、よく知っている」が7.0%となっています。

また、「内容を含め、よく知っている」と回答した方の満足度について、「やや満足」が50.6%と最も多く、次いで「大変満足」が28.7%、「やや不満」が11.5%、「大変不満」が2.3%となっています。

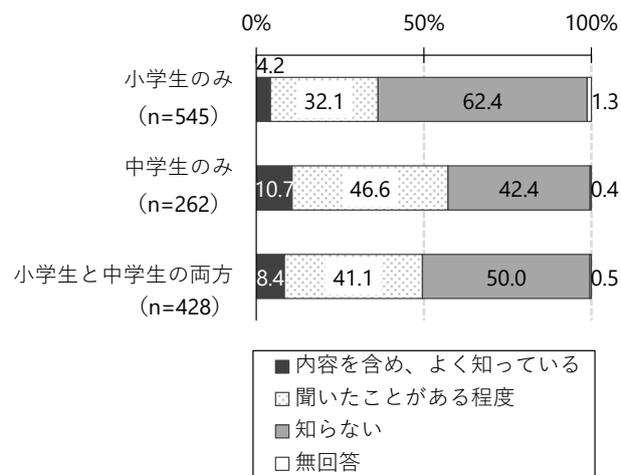
問5 認知度



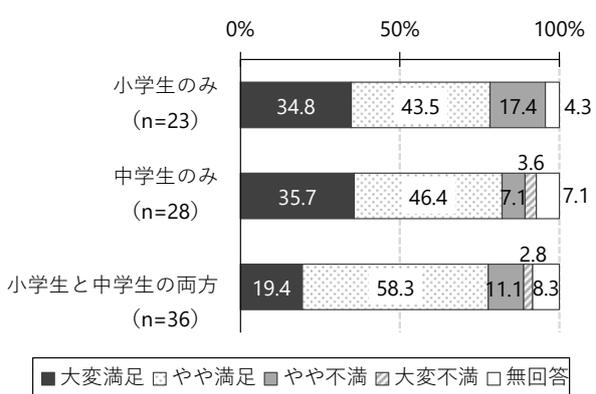
問6 満足度



【参考】問5 認知度
(小中学生又はその両方別)



【参考】問6 満足度
(小中学生又はその両方別)

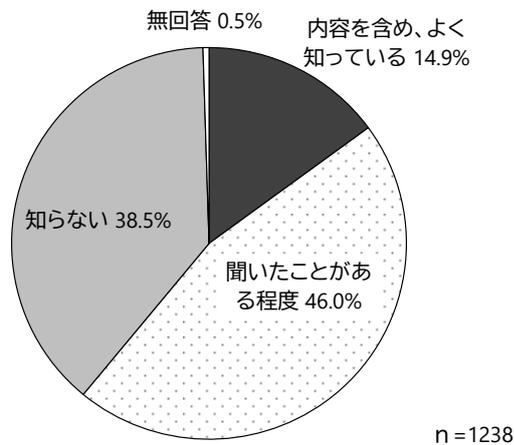


⑥教育センターが実施する教育相談

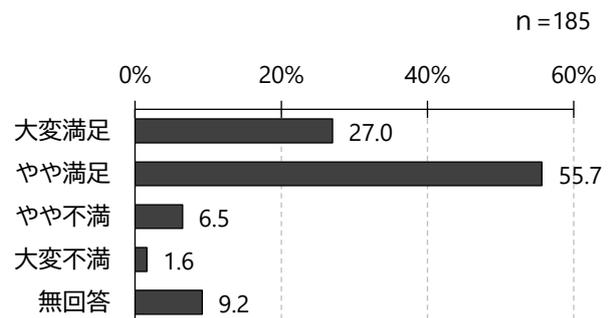
認知度について、「聞いたことがある程度」が46.0%と最も多く、次いで「知らない」が38.5%、「内容を含め、よく知っている」が14.9%となっています。

また、「内容を含め、よく知っている」と回答した方の満足度について、「やや満足」が55.7%と最も多く、次いで「大変満足」が27.0%、「やや不満」が6.5%、「大変不満」が1.6%となっています。

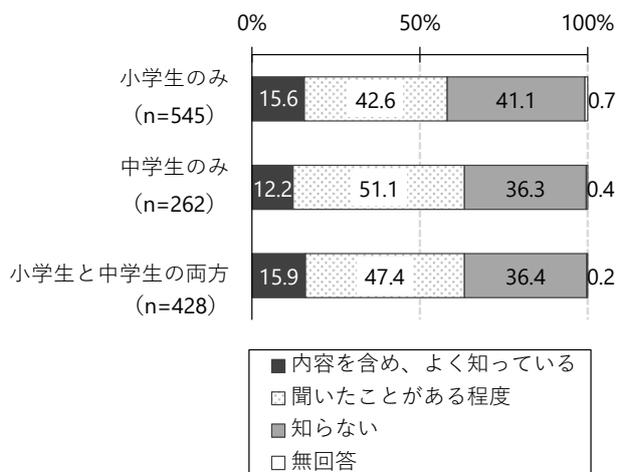
問5 認知度



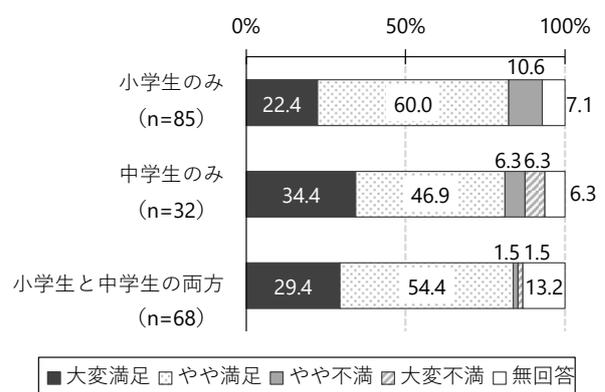
問6 満足度



【参考】問5 認知度
(小中学生又はその両方別)



【参考】問6 満足度
(小中学生又はその両方別)

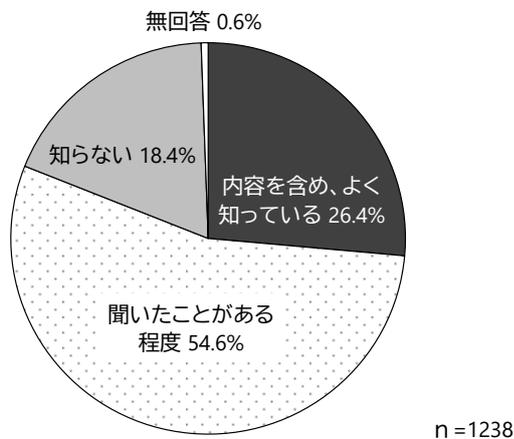


⑦「町田市小学校英語教育カリキュラム」による小学校外国語活動の推進

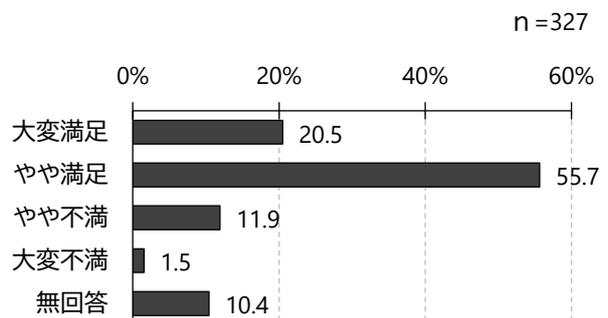
認知度について、「聞いたことがある程度」が54.6%と最も多く、次いで「内容を含め、よく知っている」が26.4%、「知らない」が18.4%となっています。

また、「内容を含め、よく知っている」と回答した方の満足度について、「やや満足」が55.7%と最も多く、次いで「大変満足」が20.5%、「やや不満」が11.9%、「大変不満」が1.5%となっています。

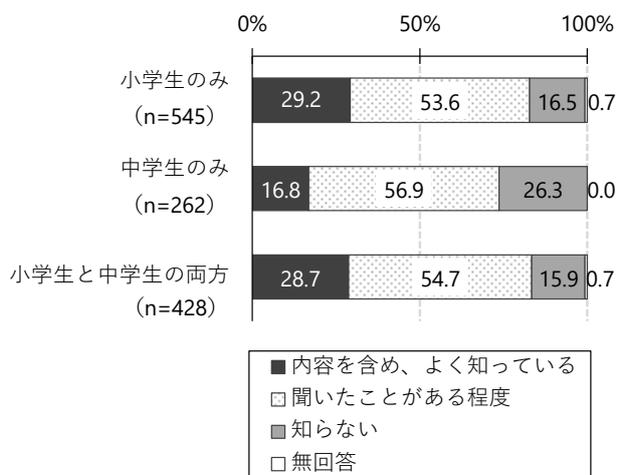
問5 認知度



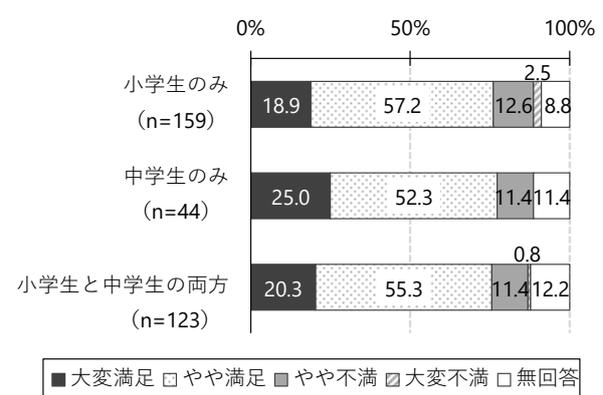
問6 満足度



【参考】問5 認知度
(小中学生又はその両方別)



【参考】問6 満足度
(小中学生又はその両方別)

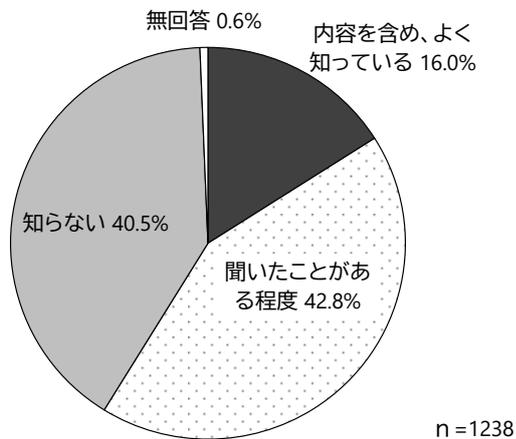


⑧ICT教育「Machida Next Education」による取組

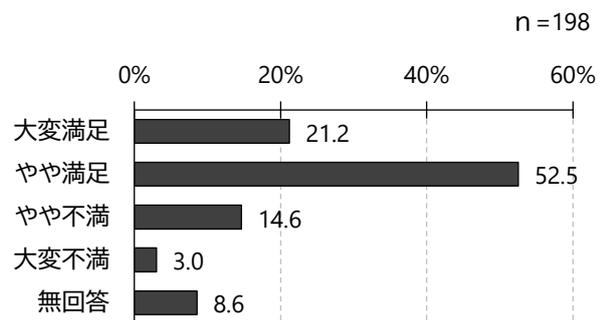
認知度について、「聞いたことがある程度」が42.8%と最も多く、次いで「知らない」が40.5%、「内容を含め、よく知っている」が16.0%となっています。

また、「内容を含め、よく知っている」と回答した方の満足度について、「やや満足」が52.5%と最も多く、次いで「大変満足」が21.2%、「やや不満」が14.6%、「大変不満」が3.0%となっています。

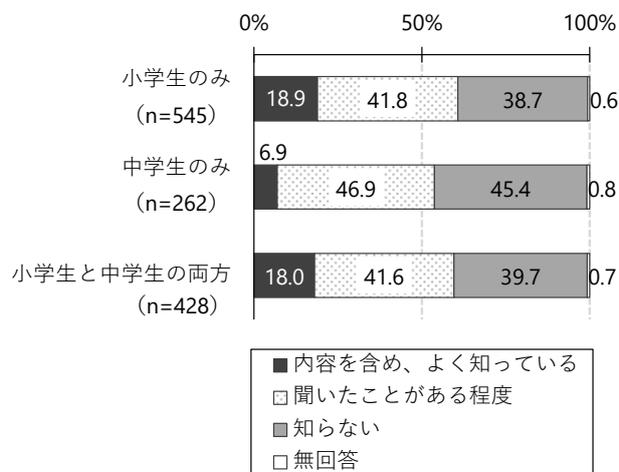
問5 認知度



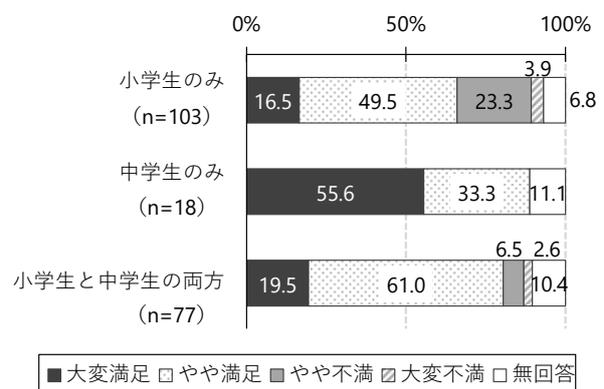
問6 満足度



【参考】問5 認知度
(小中学生又はその両方別)



【参考】問6 満足度
(小中学生又はその両方別)

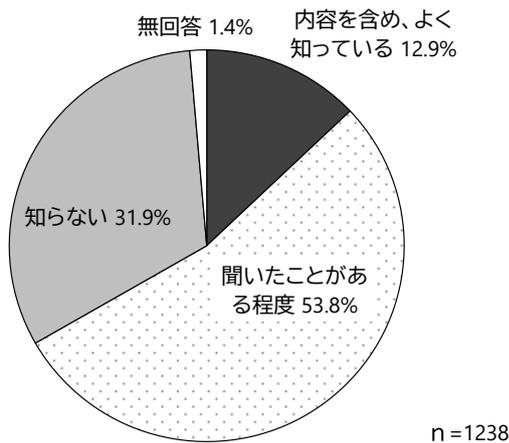


⑨食育についての取組

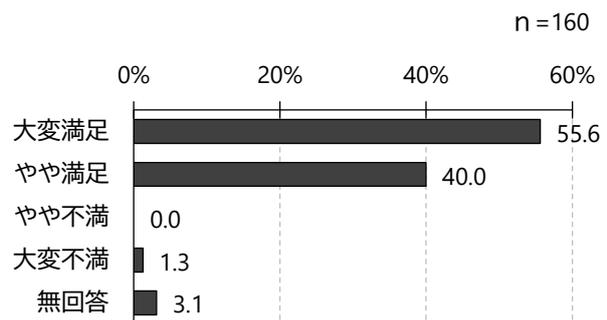
認知度について、「聞いたことがある程度」が53.8%と最も多く、次いで「知らない」が31.9%、「内容を含め、よく知っている」が12.9%となっています。

また、「内容を含め、よく知っている」と回答した方の満足度について、「大変満足」が55.6%と最も多く、次いで「やや満足」が40.0%、「大変不満」が1.3%となっています。

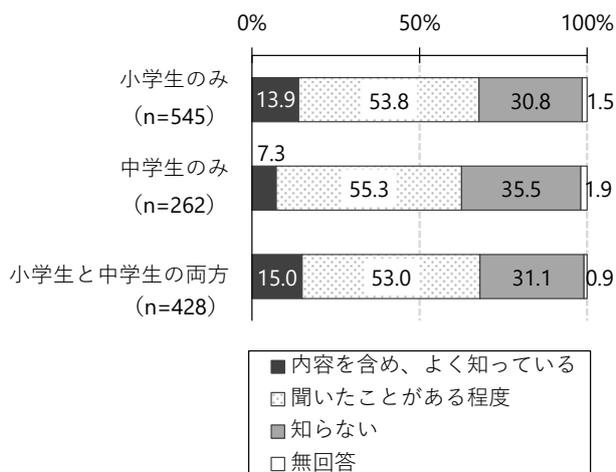
問5 認知度



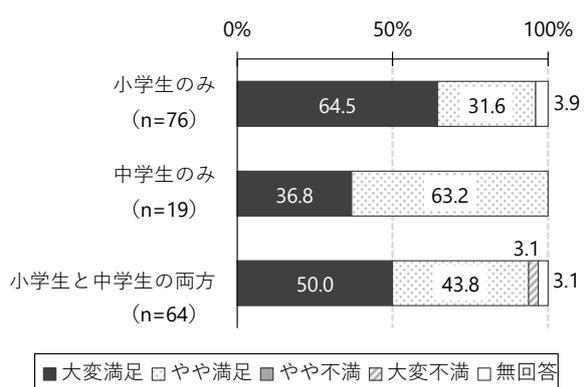
問6 満足度



【参考】問5 認知度
(小中学生又はその両方別)



【参考】問6 満足度
(小中学生又はその両方別)

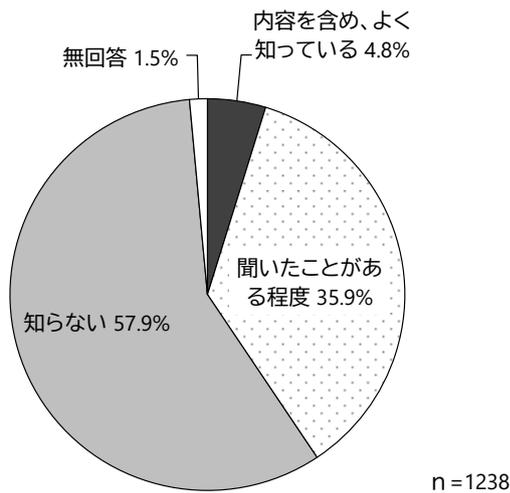


⑩コミュニティスクールを通じた教育活動

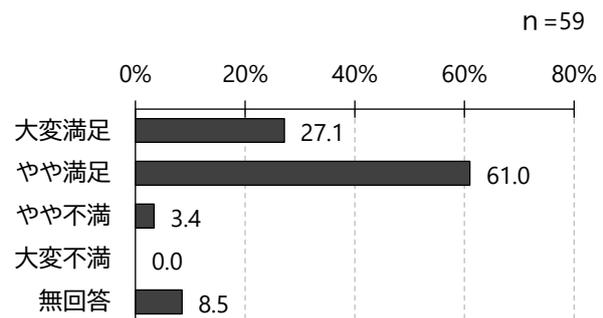
認知度について、「知らない」が57.9%と最も多く、次いで「聞いたことがある程度」が35.9%、「内容を含め、よく知っている」が4.8%となっています。

また、「内容を含め、よく知っている」と回答した方の満足度について、「やや満足」が61.0%と最も多く、次いで「大変満足」が27.1%、「やや不満」が3.4%となっています。

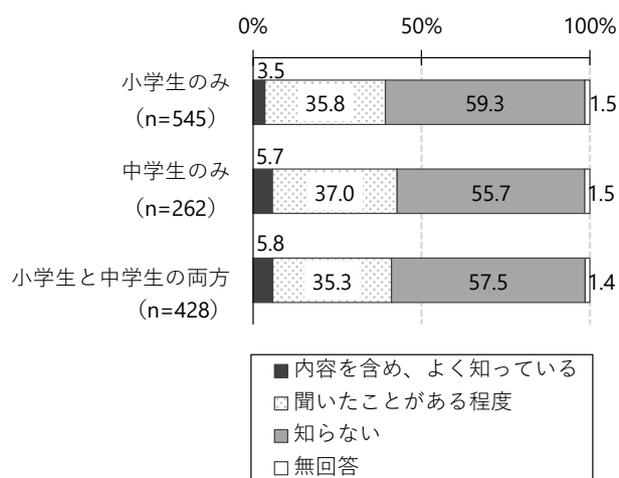
問5 認知度



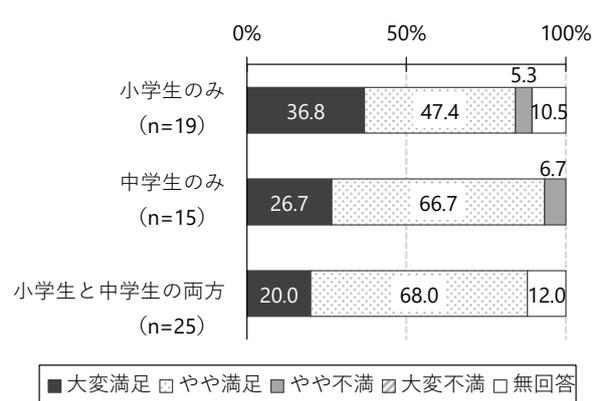
問6 満足度



【参考】問5 認知度
(小中学生又はその両方別)



【参考】問6 満足度
(小中学生又はその両方別)

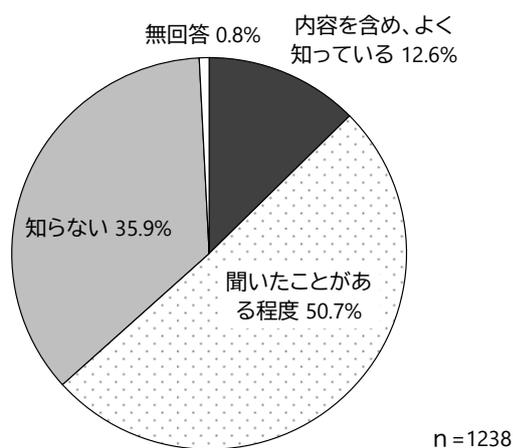


①学校支援ボランティアと連携・協働した教育活動

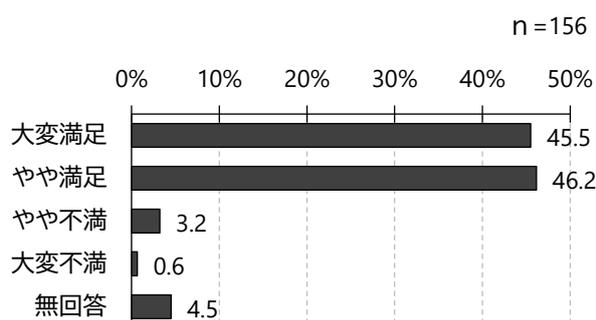
認知度について、「聞いたことがある程度」が50.7%と最も多く、次いで「知らない」が35.9%、「内容を含め、よく知っている」が12.6%となっています。

また、「内容を含め、よく知っている」と回答した方の満足度について、「やや満足」が46.2%と最も多く、次いで「大変満足」が45.5%、「やや不満」が3.2%、「大変不満」が0.6%となっています。

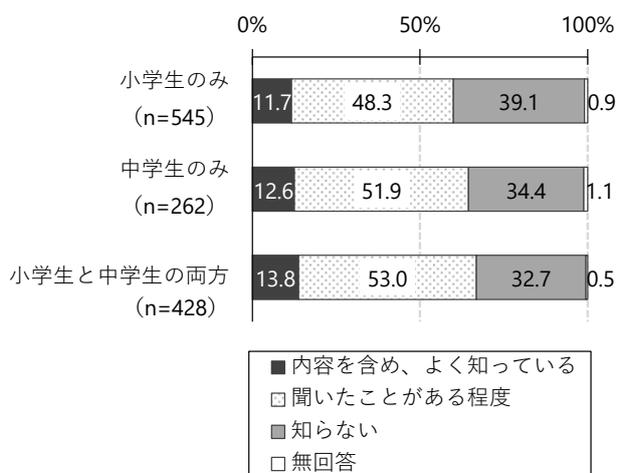
問5 認知度



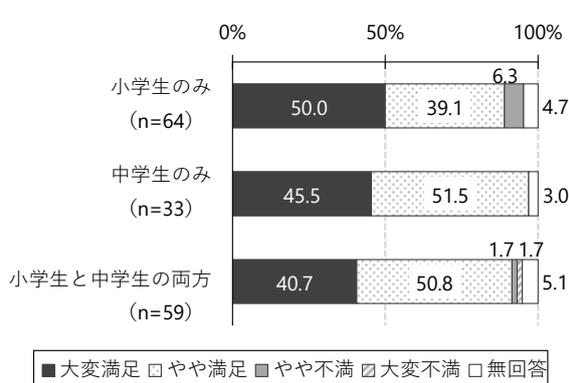
問6 満足度



【参考】問5 認知度
(小中学生又はその両方別)

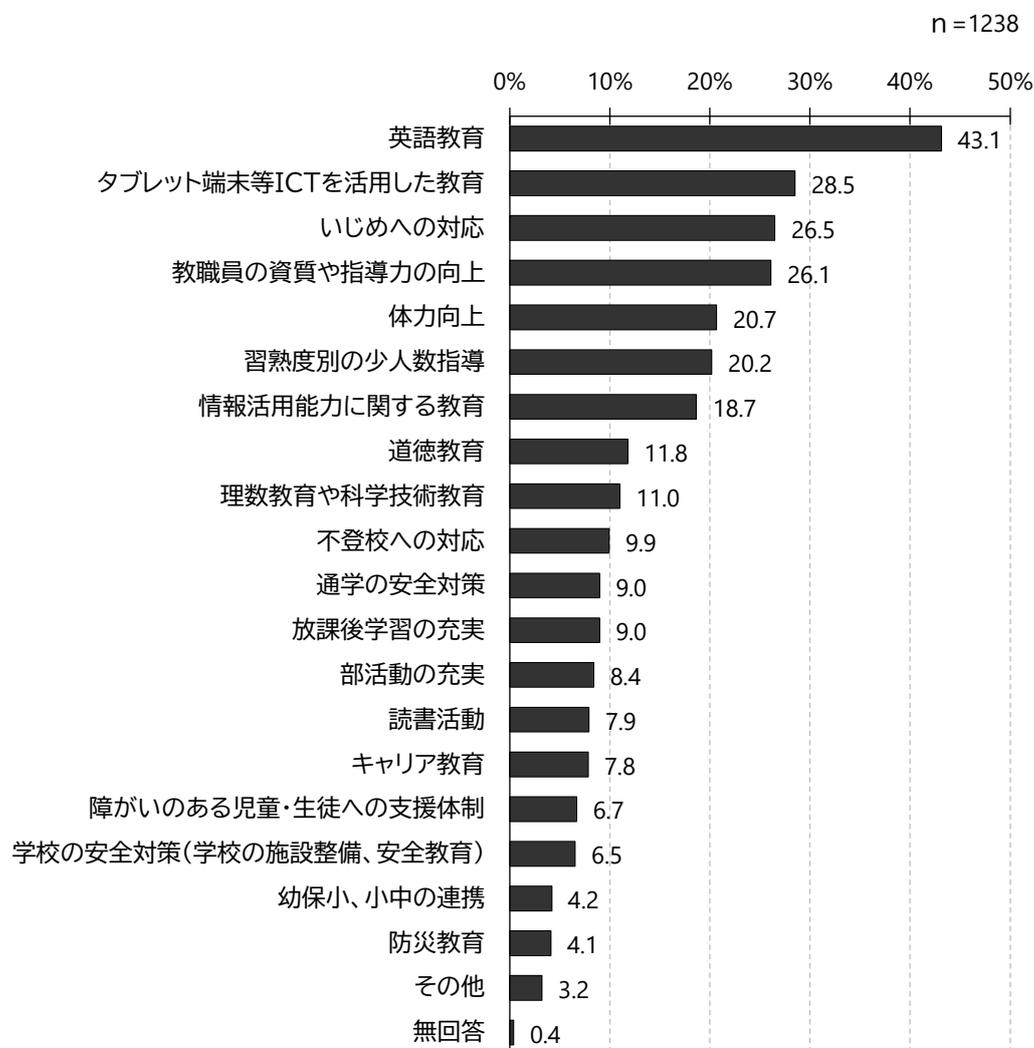


【参考】問6 満足度
(小中学生又はその両方別)



問7 町田市の学校教育では、今後どのような点に力を入れていくのが望ましいと思いますか。
(複数回答)

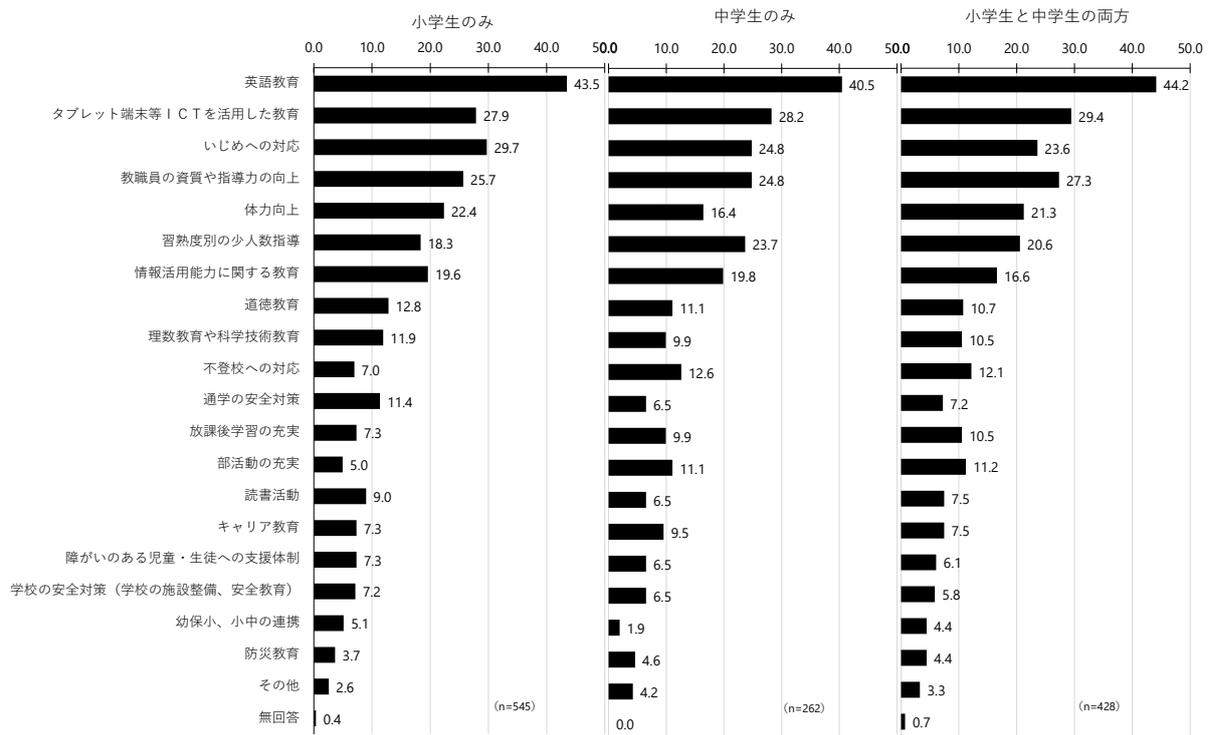
「英語教育」が43.1%と最も多く、次いで「タブレット端末等ICTを活用した教育」が28.5%、「いじめへの対応」が26.5%、「教職員の資質や指導力の向上」が26.1%、「体力向上」が20.7%となっています。



【『その他』の意見(抜粋)】

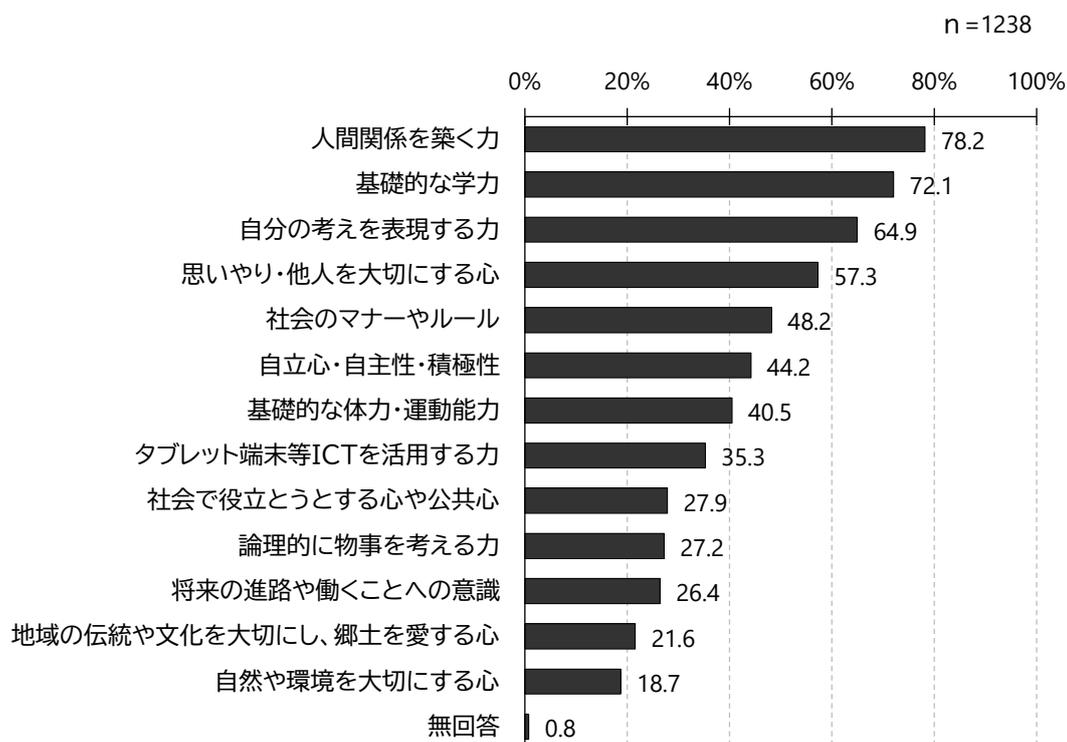
- ・ 様々な分野における外部からの指導員の導入
- ・ 教員の負担を軽減することに市の予算を活用してほしい
- ・ 不登校児童生徒の学びを保障する取組を積極的に進めてほしい
- ・ 先生と生徒との良好な関係をつくるクラスづくり
- ・ サポートルームの充実、少人数クラス・複数担任の実現
- ・ 金融・経済教育、性教育、ディベート授業
- ・ 増加する発達障がい児童への適切な配慮・支援ができる教員の加配と質を向上してほしい

【参考】問7 市の学校教育で今後力を入れていくべきこと(小中学生又はその両方別)

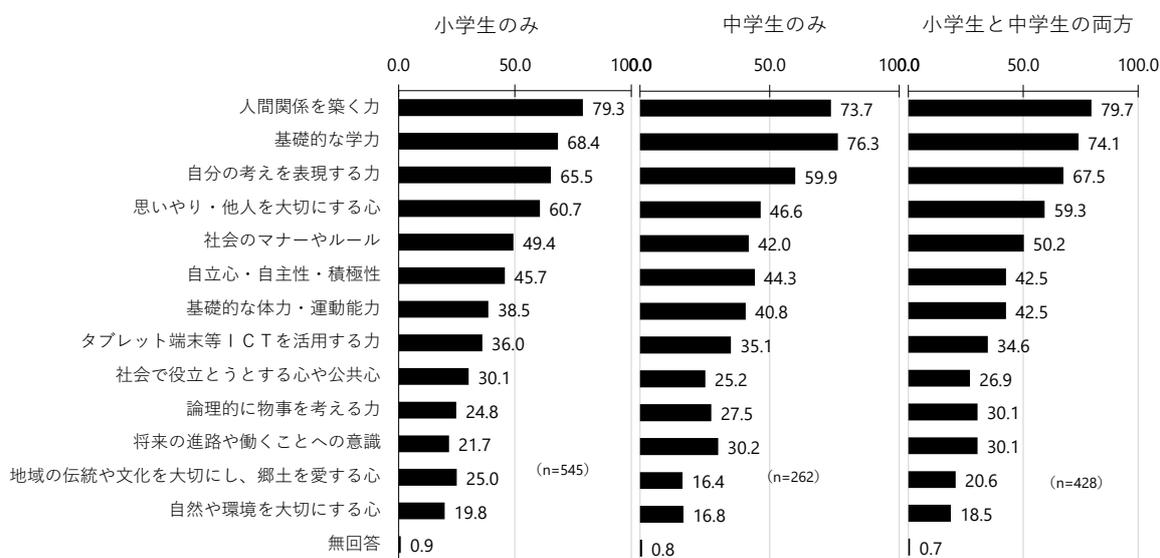


問8 以下に掲げるものをお子さんに身につけさせるにあたって「学校」で身につける方が効果的だと思うものはどれですか。(複数回答)

「人間関係を築く力」が78.2%と最も多く、次いで「基礎的な学力」が72.1%、「自分の考えを表現する力」が64.9%、「思いやり・他人を大切にできる心」が57.3%、「社会のマナーやルール」が48.2%となっています。

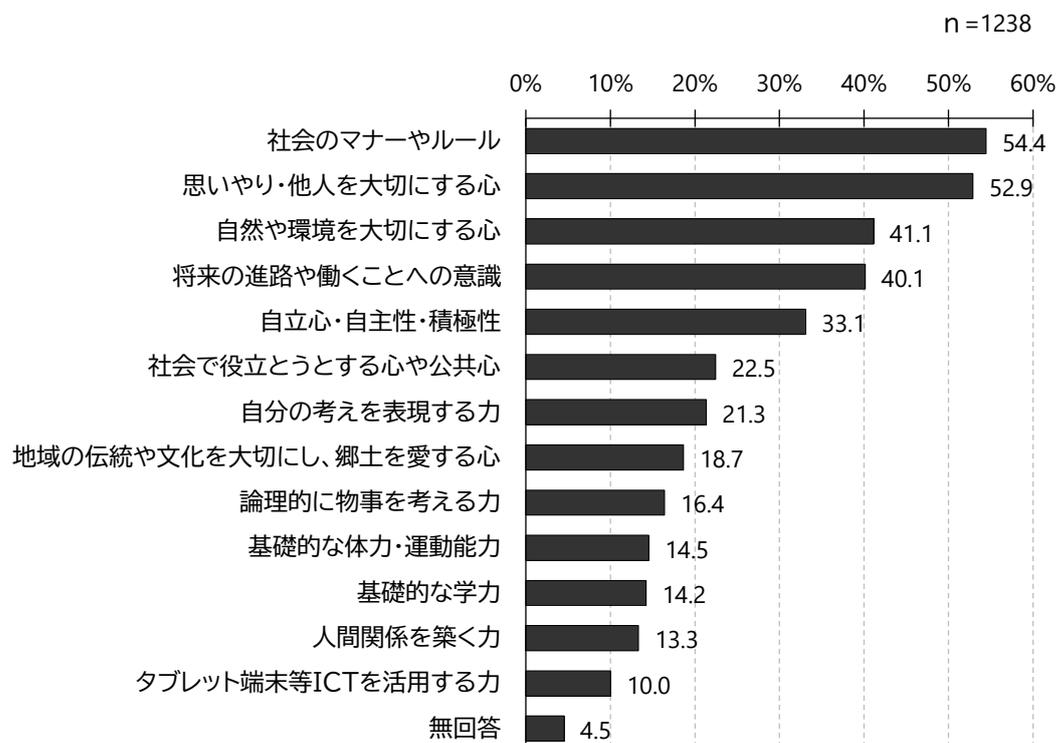


【参考】問8 学校で身につける方が効果的だと思うもの(小中学生又はその両方別)

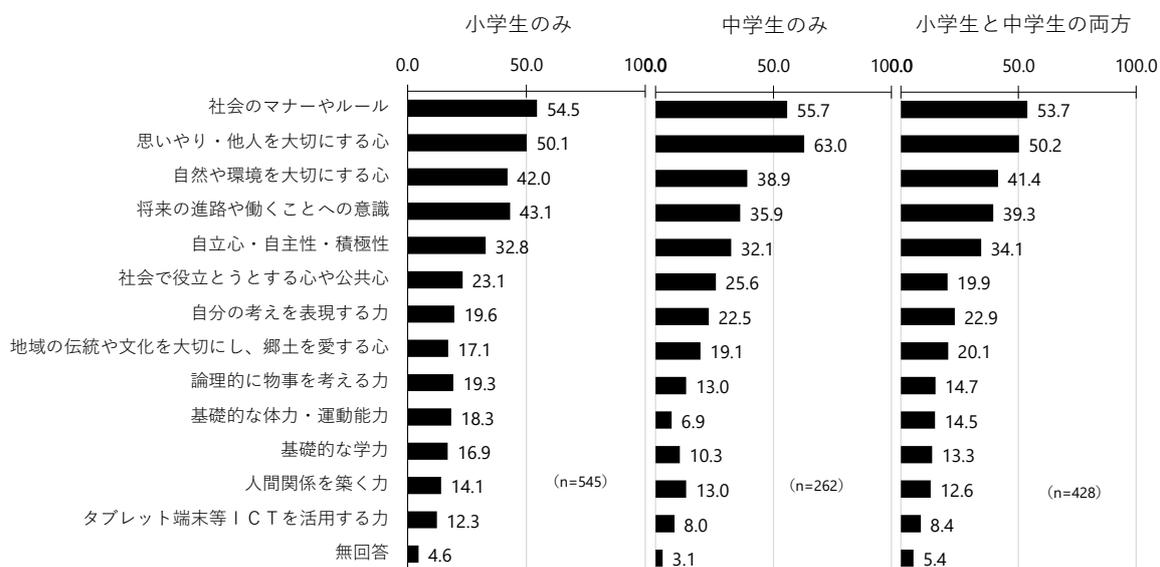


問9 以下に掲げるものをお子さんに身につけさせるにあたって「家庭」で身につける方が効果的だと思うものはどれですか。(複数回答)

「社会のマナーやルール」が54.4%と最も多く、次いで「思いやり・他人を大切にする心」が52.9%、「自然や環境を大切にする心」が41.1%、「将来の進路や働くことへの意識」が40.1%、「自立心・自主性・積極性」が33.1%となっています。



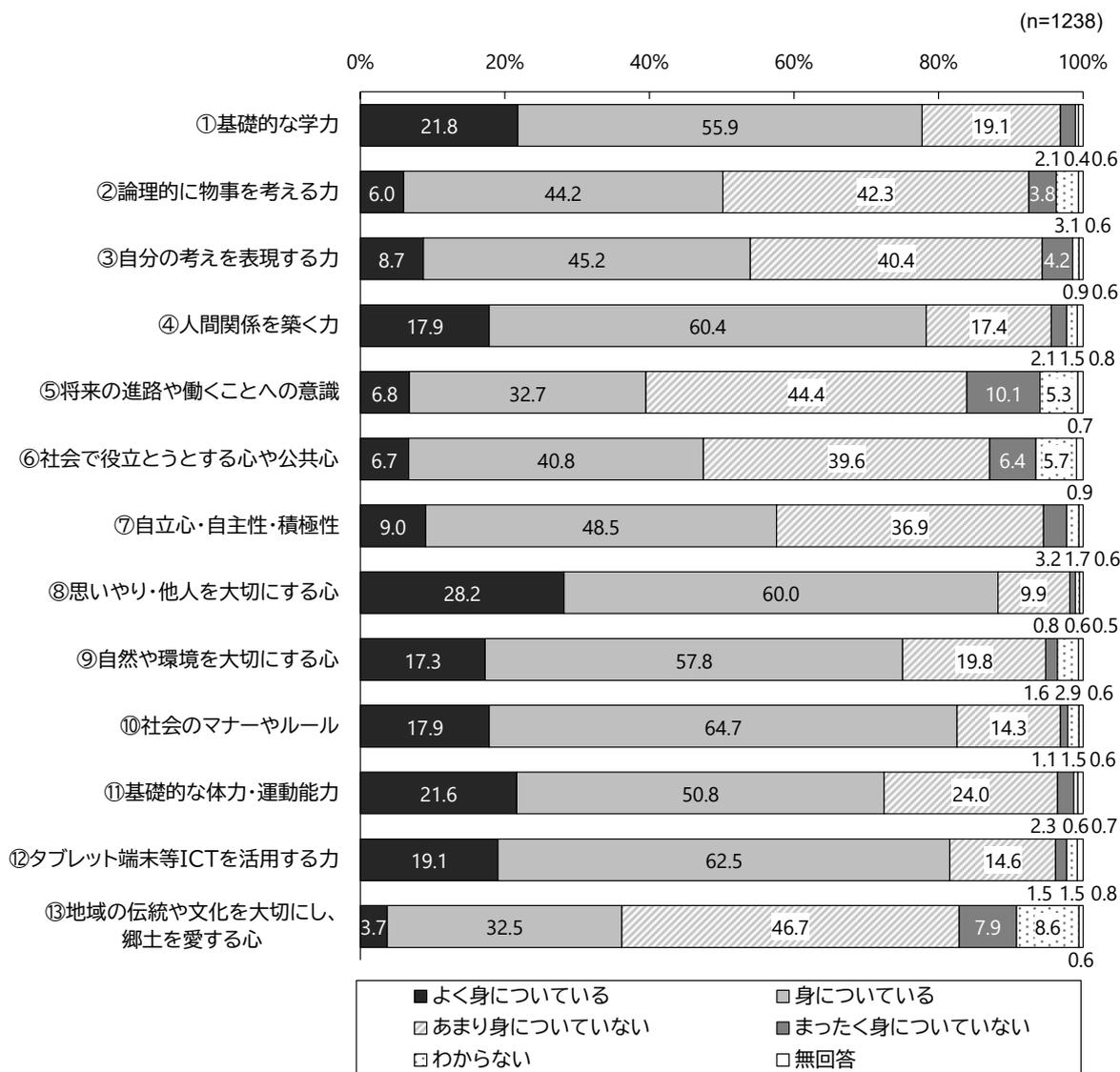
【参考】 問9 家庭で身につける方が効果的だと思うもの(小中学生又はその両方別)



問 10 アンケート用紙を持ち帰ったお子さんには、以下に掲げるものがどの程度身についていると思いますか。

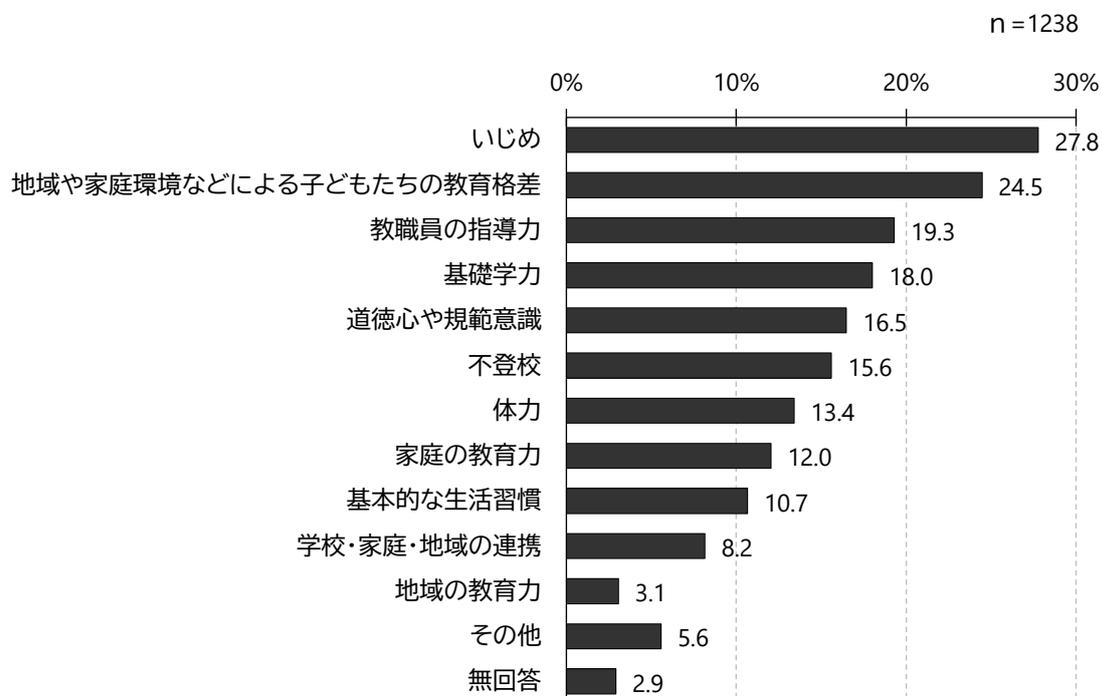
「よく身についている」「身についている」との回答が多いものは順に、⑧思いやり・他人を大切に
 する心、⑩社会のマナーやルール、⑫タブレット端末等 ICT を活用する力となっています。

反対に「あまり身につけていない」「まったく身につけていない」との回答が多いものは順に、
 ⑬地域の伝統や文化を大切に、郷土を愛する心、⑤将来の進路や働くことへの意識、②論理的
 に物事を考える力となっています。



問 11 子どもたちの教育や環境について、課題と感じていることは何ですか。(複数回答)

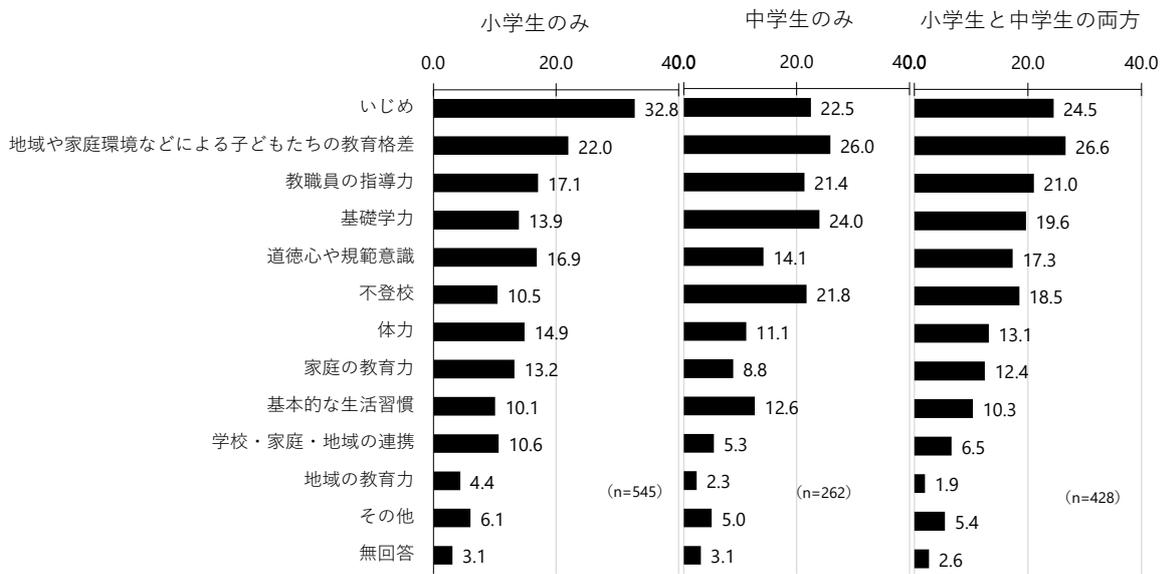
「いじめ」が 27.8%と最も多く、次いで「地域や家庭環境などによる子どもたちの教育格差」が 24.5%、「教職員の指導力」が 19.3%、「基礎学力」が 18.0%、「道徳心や規範意識」が 16.5% となっています。



【『その他』の意見(抜粋)】

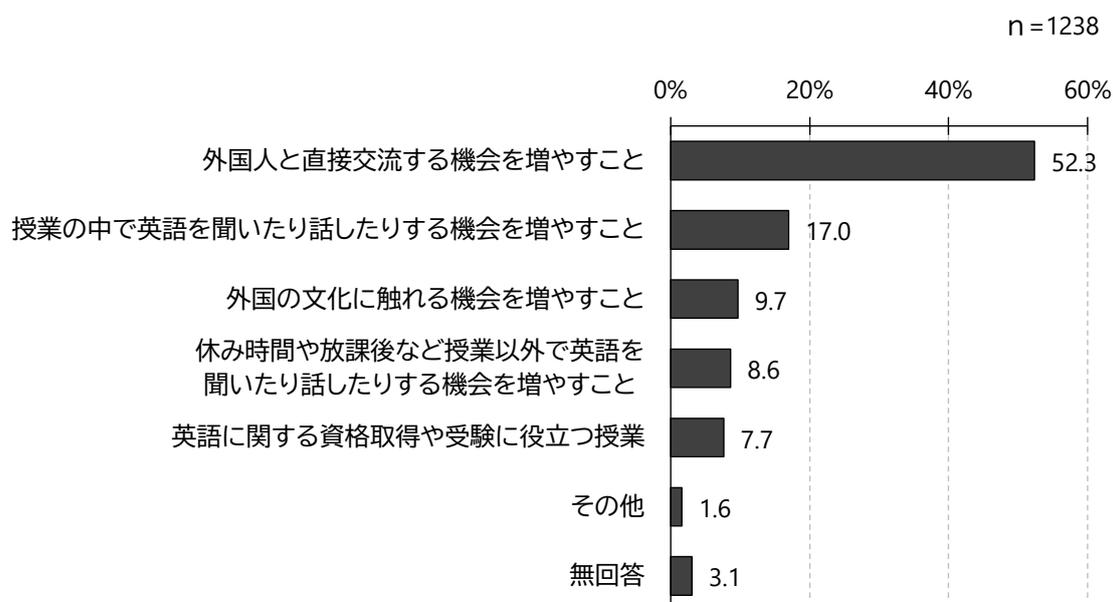
- ・ 教員の説明力、最先端技術に対する知識力・技術力、課題解決力の不足
- ・ スマートフォンの使い方の指導、Google Chrome に適切なアプリを導入してほしい
- ・ グレーゾーンの子どもの学習をサポートする放課後学習に取り組んでほしい
- ・ 登下校時の子どもの荷物が重すぎる
- ・ 1クラスの人数が多すぎる
- ・ 発達にばらつきのある子どもへの個別指導
- ・ 急速に進む ICT 教育の普及に伴う身体的（視力等）、精神的な健康面への配慮
- ・ 子どもの自宅での学習、習い事、創作や遊びの時間が少ない
- ・ ゲームや YouTube、スマートフォンに夢中になりすぎる
- ・ 子どもたちの学び合いや主体性・自主性を育む教育プログラム
- ・ 英語授業の日数が少ない、内容が中途半端
- ・ 塾に通っている子どもと通っていない子どもとの学力差

【参考】問 11 教育や環境で課題と感ずること(小中学生又はその両方別)



問 12 町田市では英語教育の推進に取り組んでいます。どのようなことに力を入れていくことが最も望ましいと思いますか。

「外国人と直接交流する機会を増やすこと」が52.3%と最も多く、次いで「授業の中で英語を聞いたり話したりする機会を増やすこと」が17.0%、「外国の文化に触れる機会を増やすこと」が9.7%、「休み時間や放課後など授業以外で英語を聞いたり話したりする機会を増やすこと」が8.6%、「英語に関する資格取得や受験に役立つ授業」が7.7%となっています。

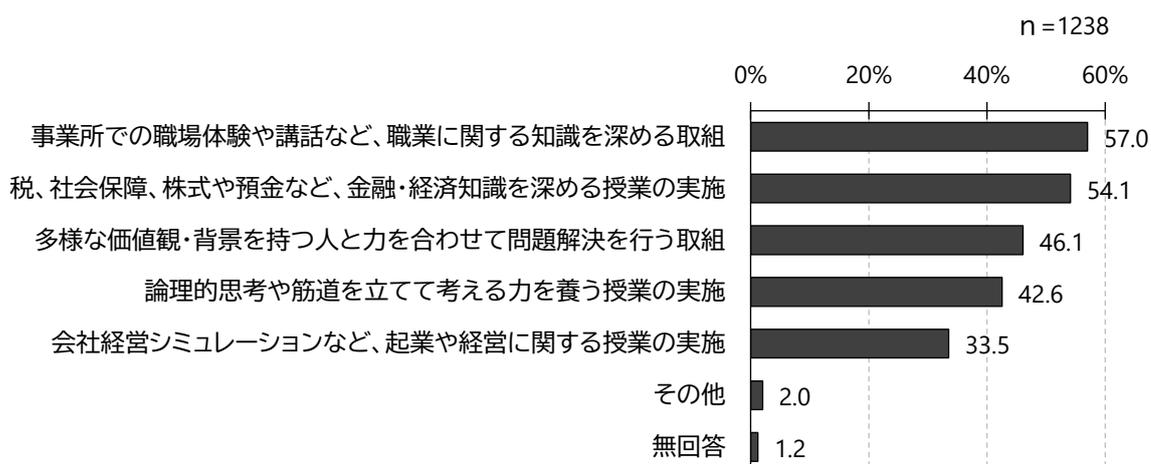


【『その他』の意見(抜粋)】

- ・英語への苦手意識を植え付けないこと
- ・受験のための英語ではなく、日常会話ができるような英語教育
- ・ネイティブ教員を増やして、日本人教員とともに授業や課外活動ができるように
- ・英語が楽しいと感じられ、好きになれる授業 ・まずは国語力を身につけてほしい
- ・授業以外でも音楽など、英語に触れる機会を増やす
- ・文法の理解が必要 ・イングリッシュキャンプの実施
- ・とにかく英語の授業や英語に触れる時間を増やすこと

問 13 町田市では、お子さんの将来的な社会的・職業的自立に向けて必要となる能力や態度を育成する「キャリア教育」を推進しています。以下の項目の中で実施すべき、または、さらに力を入れて取り組むべきと思うものはどれですか。(複数回答)

「事業所での職場体験や講話など、職業に関する知識を深める取組」が57.0%と最も多く、次いで「税、社会保障、株式や預金など、金融・経済知識を深める授業の実施」が54.1%、「多様な価値観・背景を持つ人と力を合わせて問題解決を行う取組」が46.1%、「論理的思考や筋道を立てて考える力を養う授業の実施」が42.6%、「会社経営シミュレーションなど、起業や経営に関する授業の実施」が33.5%となっています。

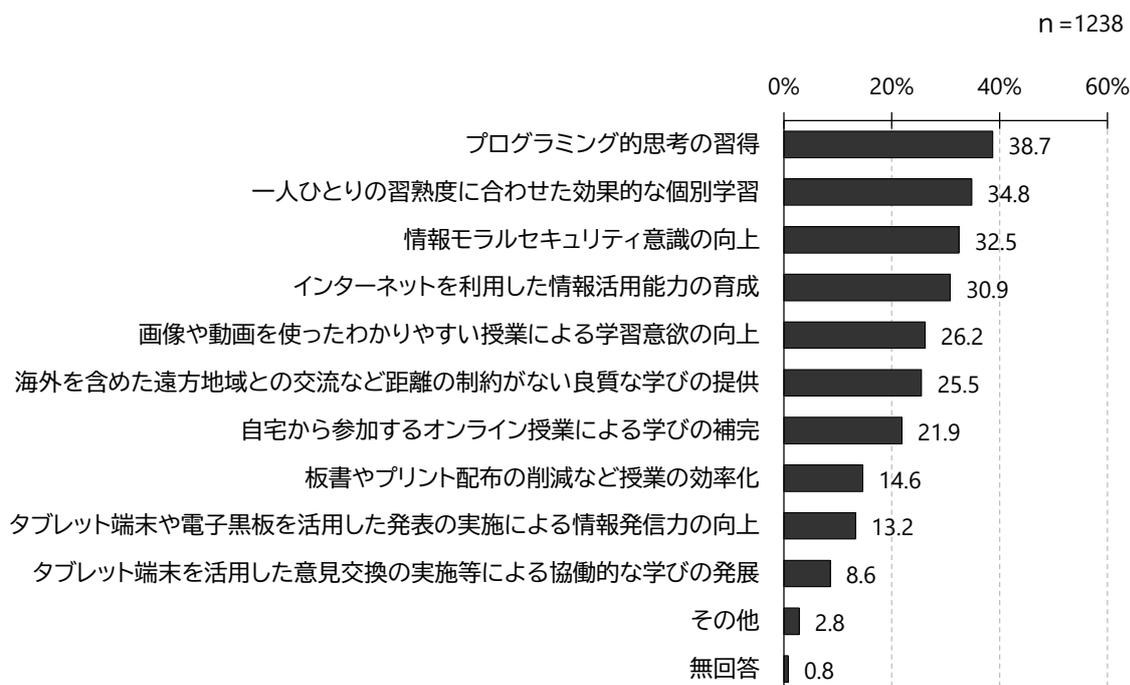


【『その他』の意見(抜粋)】

- ・ 様々なキャリアを歩んできた大人たちのロールモデルを示す
- ・ 一人ひとりの得意な能力が生かせる教育
- ・ 自分に合いそうな仕事を選べるような体験機会
- ・ それぞれの道のスペシャリストによる授業
- ・ 国の仕組みや選挙、政治について学ぶ授業
- ・ 海外で学ぶ、グローバル人材を育てる授業

問 14 町田市では、ICTを活用した教育を推進しています。あなたがICTの活用に関心することとは何ですか。(複数回答)

「プログラミング的思考の習得」が38.7%と最も多く、次いで「一人ひとりの習熟度に合わせた効果的な個別学習」が34.8%、「情報モラルセキュリティ意識の向上」が32.5%、「インターネットを利用した情報活用能力の育成」が30.9%、「画像や動画を使ったわかりやすい授業による学習意欲の向上」が26.2%となっています。



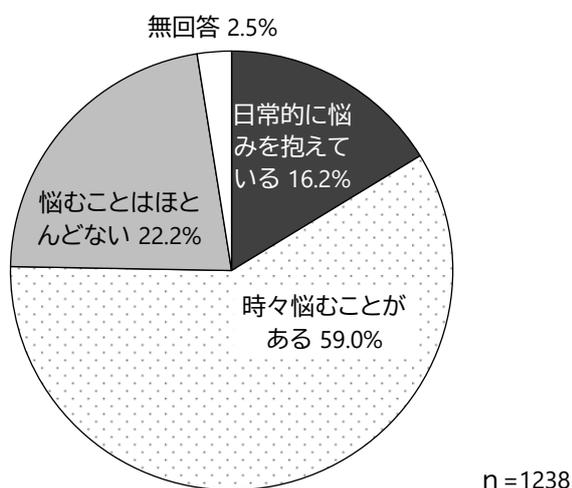
【『その他』の意見(抜粋)】

- ・家に持ち帰る教科書の削減 ・教科書等の電子化 ・欠席連絡の簡易化
- ・仕事等で使う書類の作成ルールのようなものを教える
- ・ネットがある、わかるのが当然で話が進んでいる為ついていけない。
- ・情報取得の仕方(ネットと書籍の両立)それぞれを状況に合わせて使い分ける能力の育成。
- ・インフルやコロナ等で長期の休みをした時に、自宅からリモート授業が出来るような環境。
- ・不登校や学校に通えなくてもオンライン授業がしっかり受けられるようにしてほしい。

教育に関する相談についておうかがいします

問 15 お子さんの教育に関して、現在困ったり悩んだりしていることはありますか。

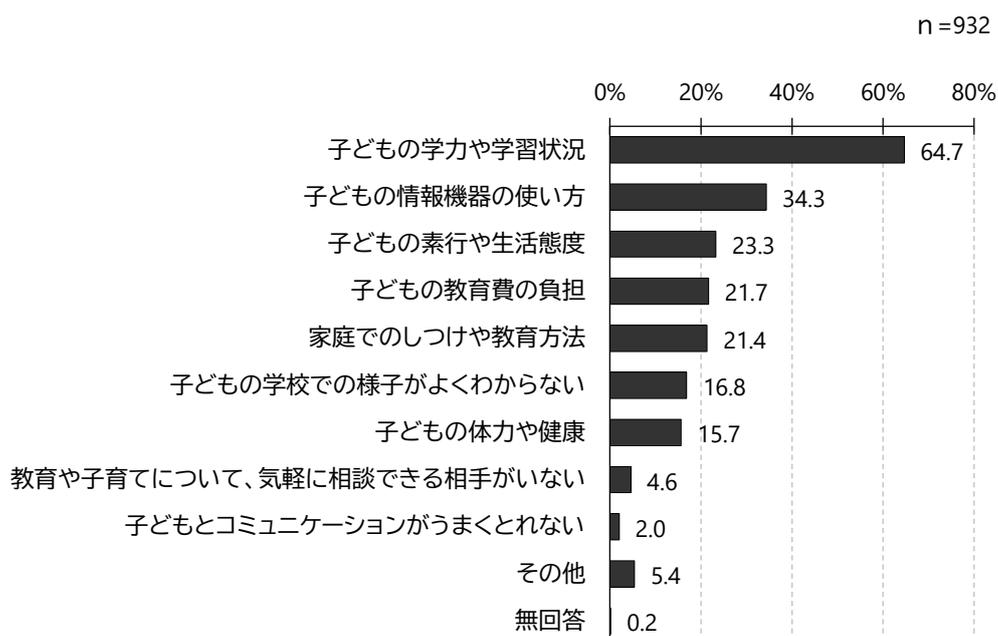
「時々悩むことがある」が 59.0%と最も多く、次いで「悩むことはほとんどない」が 22.2%、「日常的に悩みを抱えている」が 16.2%となっています。



問 15 で「日常的に悩みを抱えている」「時々悩むことがある」を選んだ方におうかがいします。

問 16 困ったり悩んだりしていることは、どのようなことですか。(複数回答)

「子どもの学力や学習状況」が 64.7%と最も多く、次いで「子どもの情報機器（携帯電話、スマートフォン、インターネットなど）の使い方」が 34.3%、「子どもの素行や生活態度」が 23.3%、「子どもの教育費の負担」が 21.7%、「家庭でのしつけや教育方法」が 21.4%となっています。

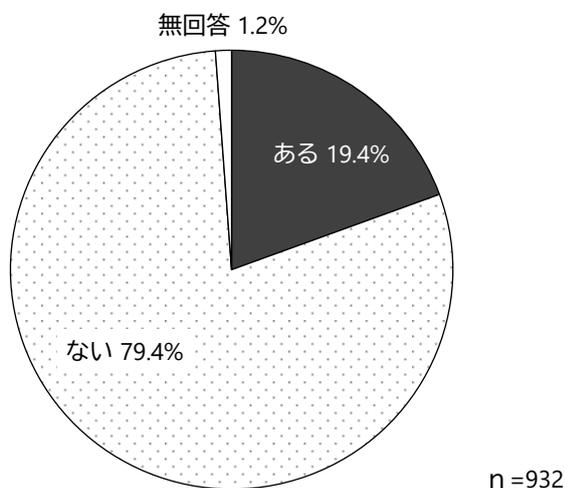


※『その他』の意見（抜粋）は P36 にまとめています。

問 15 で「日常的に悩みを抱えている」「時々悩むことがある」を選んだ方におうかがいします。

問 17 各小・中学校にはスクールカウンセラーを配置していますが、相談したことはありますか。

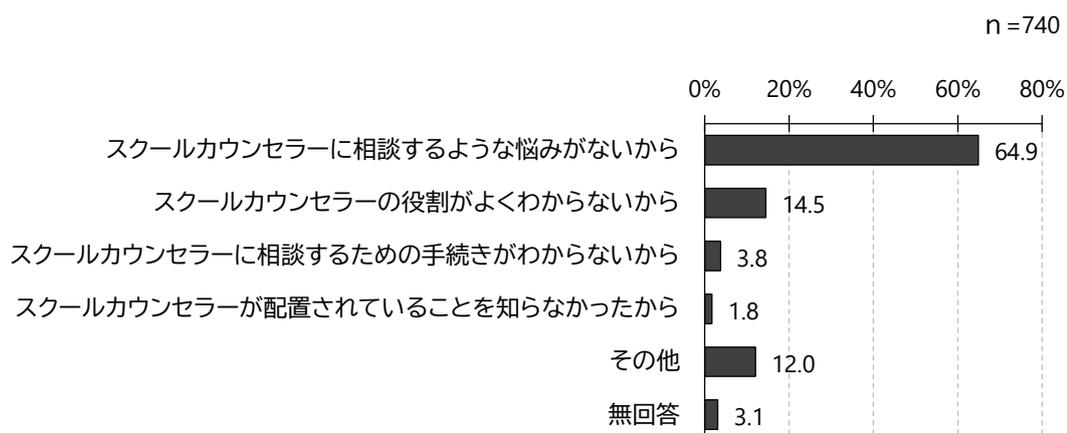
「ある」が 19.4%、「ない」が 79.4%となっています。



問 17 で「(相談したことは)ない」を選んだ方におうかがいします。

問 18 スクールカウンセラーに相談したことがない最も大きな理由は何ですか。

「スクールカウンセラーに相談するような悩みがないから」が 64.9%と最も多く、次いで「スクールカウンセラーの役割がよくわからないから」が 14.5%、「スクールカウンセラーに相談するための手続きがわからないから」が 3.8%、「スクールカウンセラーが配置されていることを知らなかったから」が 1.8%となっています。また、「その他」が 12.0%となっています。

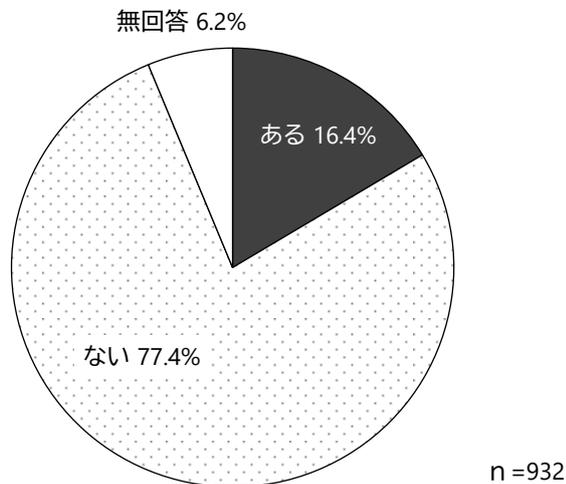


※『その他』の意見（抜粋）は P36 にまとめています。

問 17 で「(相談したことが)ある」を選んだ方におうかがいします。

問 19 教育センターの教育相談を利用したことがありますか。

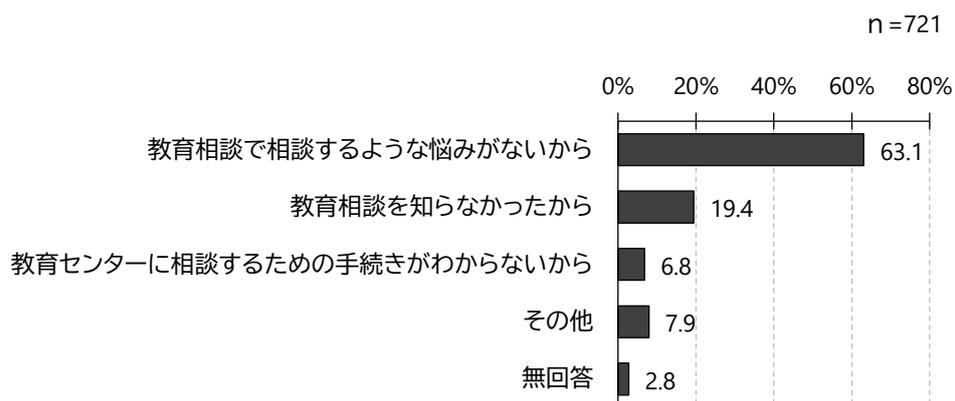
「ある」が 16.4%、「ない」が 77.4%となっています。



問 19 で「(利用したことが)ない」を選んだ方におうかがいします。

問 20 教育相談を利用したことがない最も大きな理由は何ですか。

「教育相談で相談するような悩みがないから」が 63.1%と最も多く、次いで「教育相談を知らなかったから」が 19.4%、「教育センターに相談するための手続きがわからないから」が 6.8%となっています。また、「その他」が 7.9%となっています。



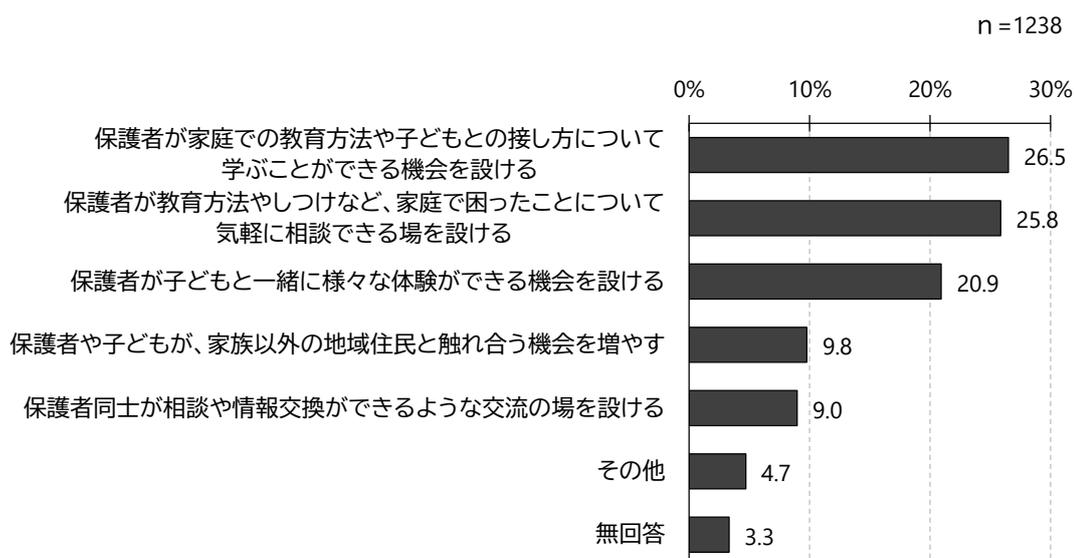
※『その他』の意見（抜粋）は P36 にまとめています。

設 問	【『その他』の意見(抜粋)】
問 16 困ったり悩んだりすること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの進路 ・ 子どもの友人関係や性格 ・ 仕事があり、子どもと十分に関わる時間がない ・ 不登校 ・ いじめっこへの対応
問 18 スクールカウンセラーに相談したことがない最大の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 億劫、相談するほどではない ・ 忙しい、スケジュールが合わない ・ 相談の範囲が分からない ・ 家庭や担任、サポートルームで対応できる ・ 敷居が高い、抵抗を感じる ・ 子どもが相談することを拒否する ・ 親自身に余裕がない ・ スクールカウンセラーが何に特化しているのか分からない ・ 学校関係者のため相談しにくい
問 20 教育相談を利用したことがない最大の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕組みや相談範囲がよくわからない ・ 相談しても解決は難しい悩みだと思うから ・ スクールカウンセラーや保健師、教員に対応してもらっている ・ 相談するほど深刻な悩みではない ・ 平日は時間がない ・ かえって大ごとになりそう ・ 子どもと話し合っている ・ 気おくれ、相談しづらい、相談内容の幅が狭い

学校・家庭・地域の連携についておうかがいします

問 21 家庭の教育力をより高めていくために、どのような取組が最も必要だと思いますか。

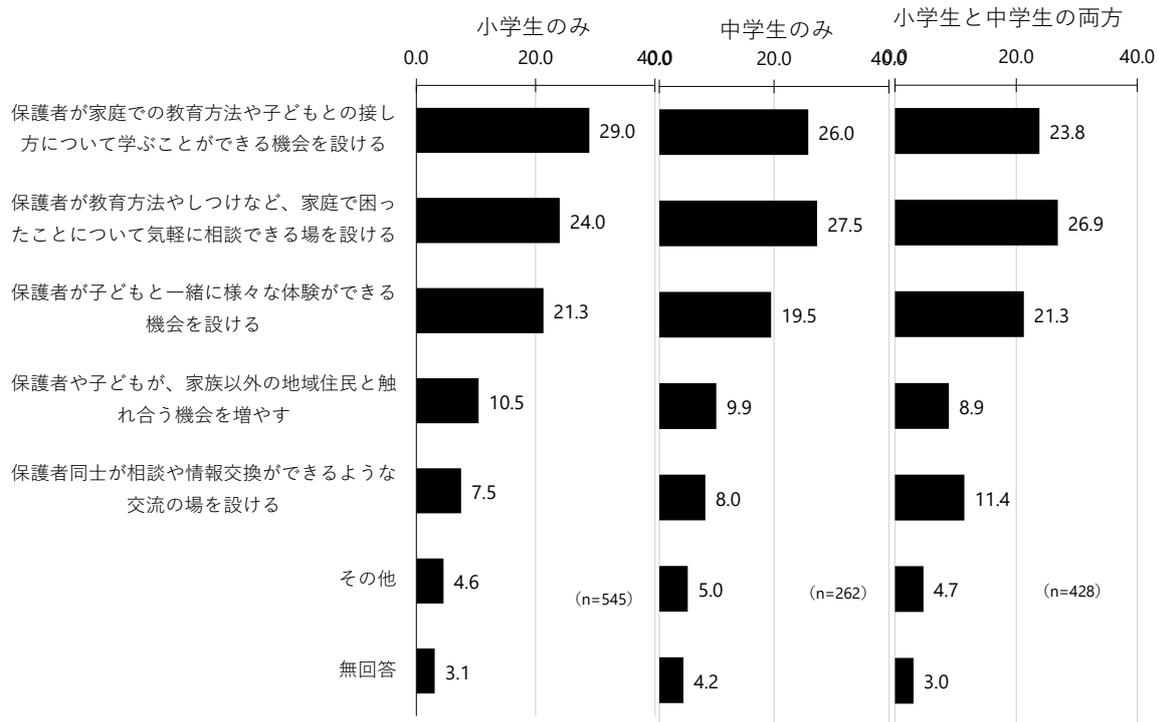
「保護者が家庭での教育方法や子どもとの接し方について学ぶことができる機会を設ける」が26.5%と最も多く、次いで「保護者が教育方法やしつけなど、家庭で困ったことについて気軽に相談できる場を設ける」が25.8%、「保護者が子どもと一緒に様々な体験ができる機会を設ける」が20.9%、「保護者や子どもが、家族以外の地域住民と触れ合う機会を増やす」が9.8%、「保護者同士が相談や情報交換ができるような交流の場を設ける」が9.0%となっています。



【『その他』の意見(抜粋)】

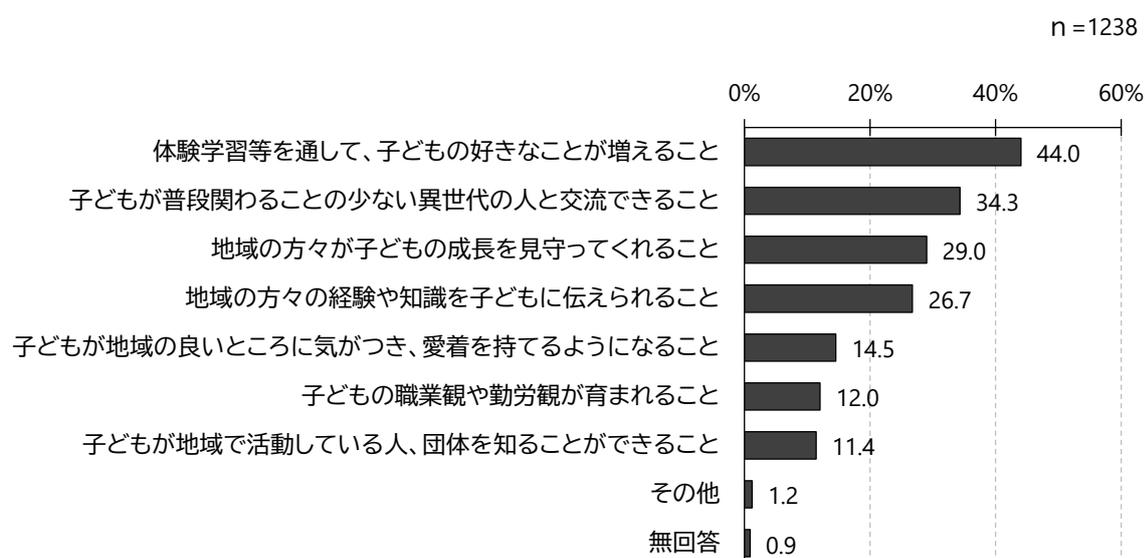
- ・ 保護者だけでは時間的にも限界があるため、第三者機関の介入が必要
- ・ 障がいのある子どもとそうでない子どもが日頃から交流できる場を設ける
- ・ 保護者と子どもがコミュニケーションを取れる時間を確保する
- ・ 学校の課題で保護者を巻き込む内容にする
- ・ もっと子どもに関心を持つようにして、子どものことを知るよう努める

【参考】問 21 家庭の教育力を高めるために必要なこと(小中学生又はその両方別)



問 22 町田市では、2021 年度からすべての学校をコミュニティスクール(※)に移行しました。今後も学校・家庭・地域に住む方々が協力をして子どもたちの成長を支えることに取り組んでいきますが、地域の方々が学校の授業や運営に参画していただくことに期待することは何ですか。(複数回答)

「体験学習等を通して、子どもの好きなことが増えること」が 44.0%と最も多く、次いで「子どもが普段関わることの少ない異世代の人と交流できること」が 34.3%、「地域の方々が子どもの成長を見守ってくれること」が 29.0%、「地域の方々の経験や知識を子どもに伝えられること」が 26.7%、「子どもが地域の良いところに気がつき、愛着を持てるようになること」が 14.5%となっています。

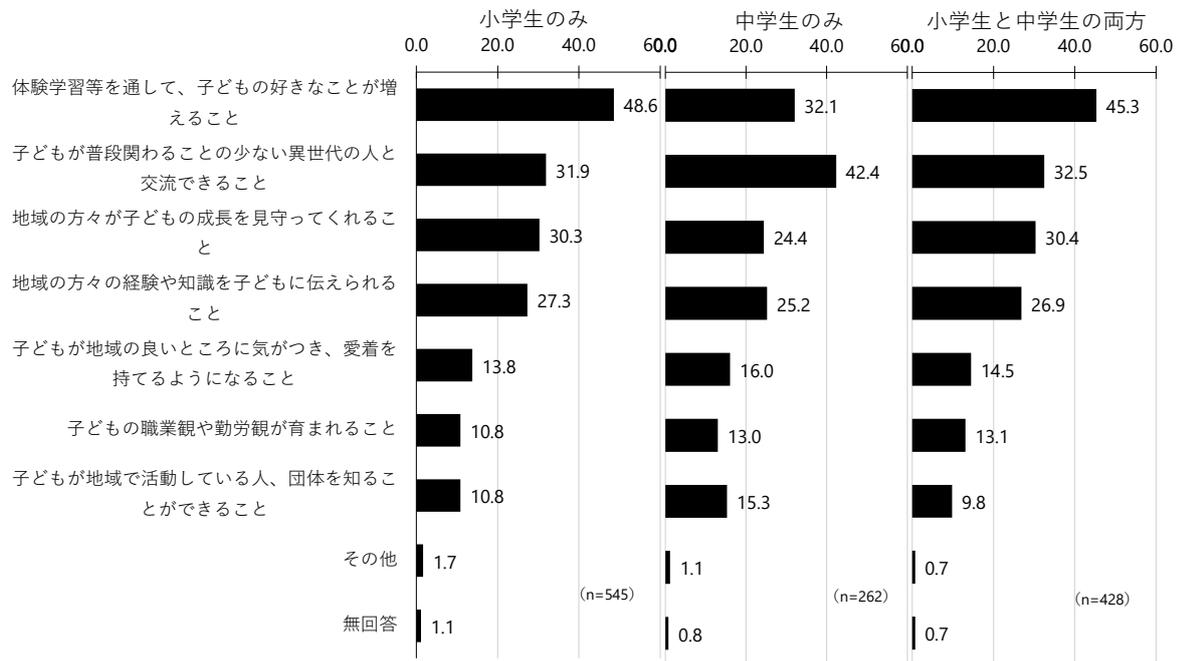


※コミュニティスクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める取組です。

【『その他』の意見(抜粋)】

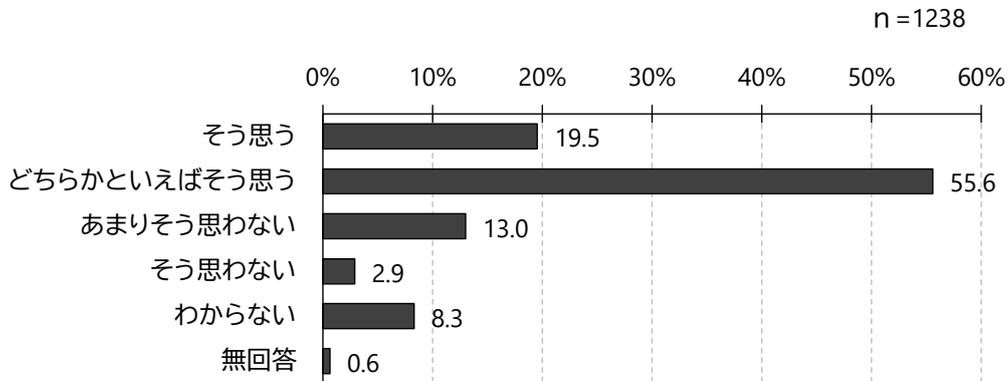
- ・地域の大人が子どもに関心を持ち続けること
- ・子どもを見守る大人の目が増えること
- ・教員ができないプログラミング教育のサポート

【参考】問 22 地域住民が学校に関わる際に期待すること(小中学生又はその両方別)

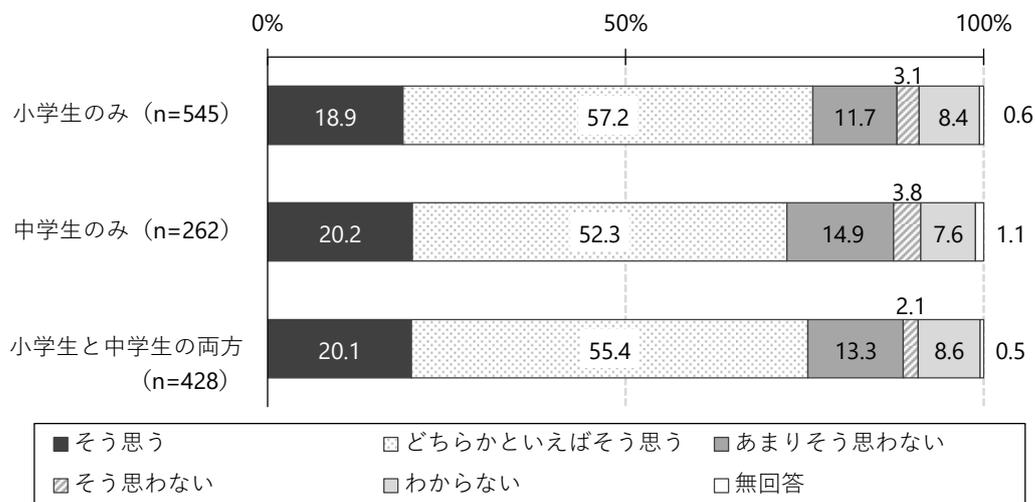


問 23 学校は学校の情報を保護者や地域住民へ提供していると思いますか。

「どちらかといえばそう思う」が 55.6%と最も多く、次いで「そう思う」が 19.5%、「あまりそう思わない」が 13.0%、「わからない」が 8.3%、「そう思わない」が 2.9%となっています。



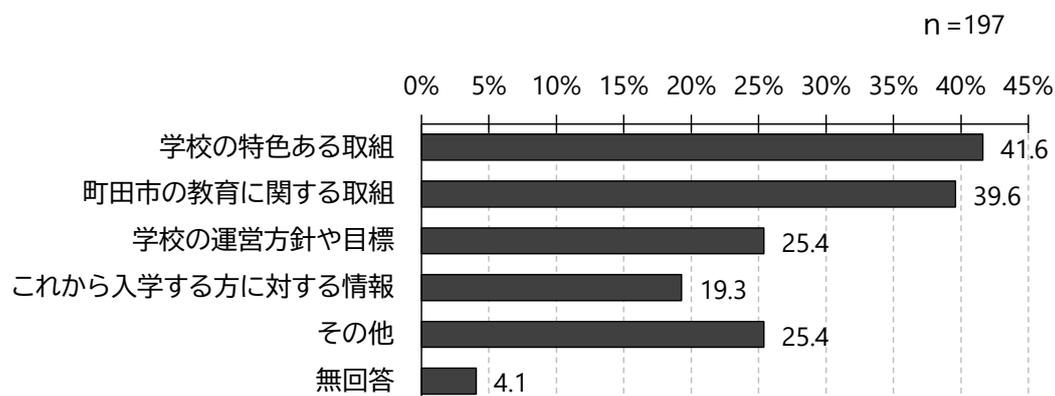
【参考】 問 23 学校が保護者や地域へ情報提供をしているか(小中学生又はその両方別)



問 23 で「あまりそう思わない」「そう思わない」を選んだ方におうかがいします。

問 24 どのような情報が十分に提供されていないと思いますか。(複数回答)

「学校の特色ある取組」が 41.6%と最も多く、次いで「町田市の教育に関する取組」が 39.6%、「学校の運営方針や目標」が 25.4%、「これから入学する方に対する情報」が 19.3%となっています。また、「その他」が 25.4%となっています。



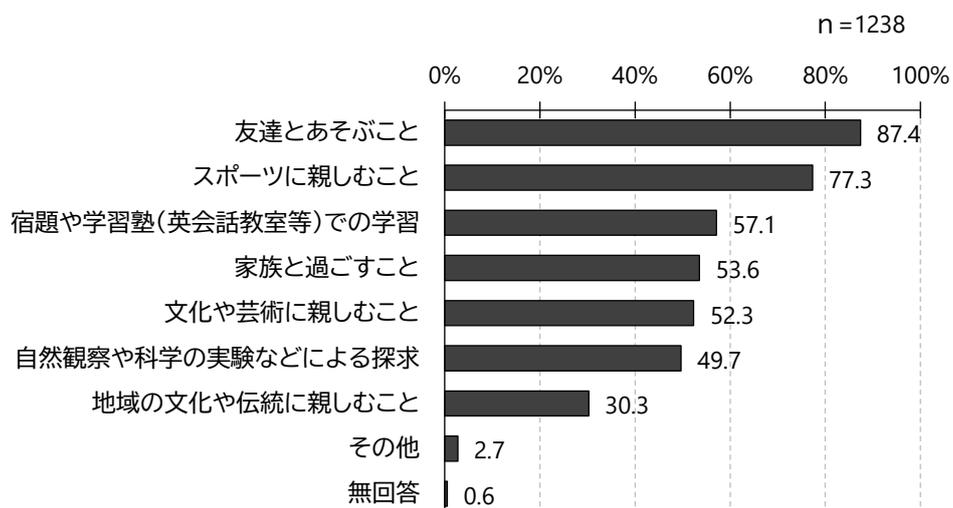
【『その他』の意見(抜粋)】

- ・子どもたちが学校で過ごす様子が見えづらい
- ・学校での新型コロナウイルス感染症の状況が共有されなかった
- ・情報提供の手段が一方向的、情報が少ない
- ・学校内で上がっている問題、課題解決に向けた取組
- ・校則など学校のルールの根拠 ・学校の取組の指標や目標達成度
- ・教育、学校方針、取組状況を学校のホームページに掲載するなど情報発信してほしい
- ・子どもの進路先 ・学校のホームページに年間行事予定が掲載されない

放課後の活動についておうかがいします

問 25 学校の時間以外で、お子さんに多くの時間を過ごしてほしいことは何ですか。(複数回答)

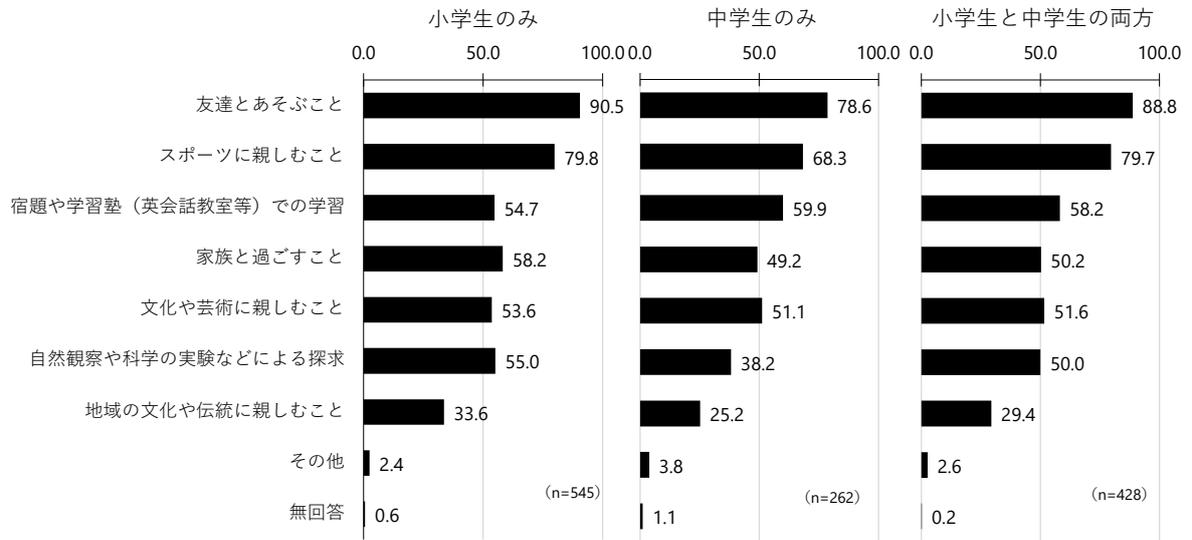
「友達とあそぶこと」が87.4%と最も多く、次いで「スポーツに親しむこと」が77.3%、「宿題や学習塾（英会話教室等）での学習」が57.1%、「家族と過ごすこと」が53.6%、「文化や芸術に親しむこと」が52.3%となっています。



【『その他』の意見(抜粋)】

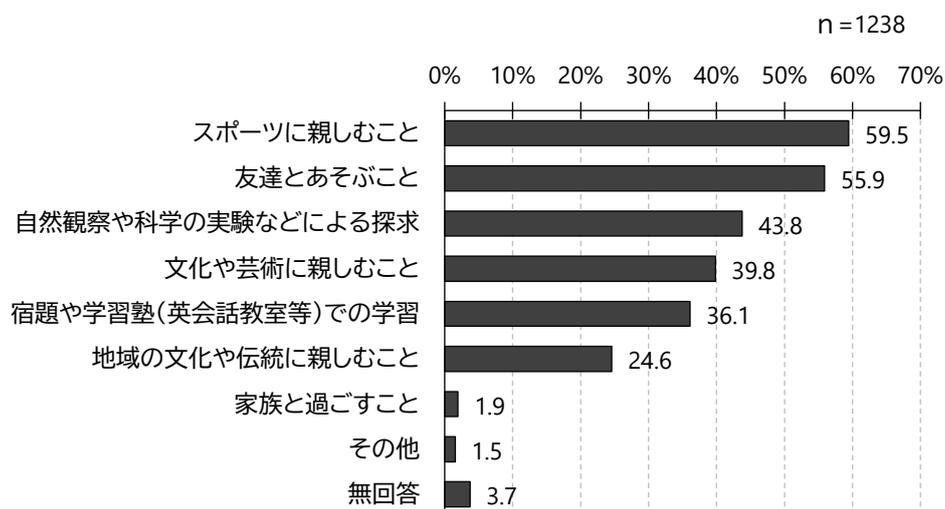
- ・自分の好きなことや趣味に取り組む時間
- ・多世代、地域の大人との交流
- ・自宅学習、読書、創作
- ・ゆっくりする時間
- ・地域のボランティア活動
- ・教員との交流

【参考】問 25 学校時間外で子どもに多く過ごしてほしいこと(小中学生又はその両方別)

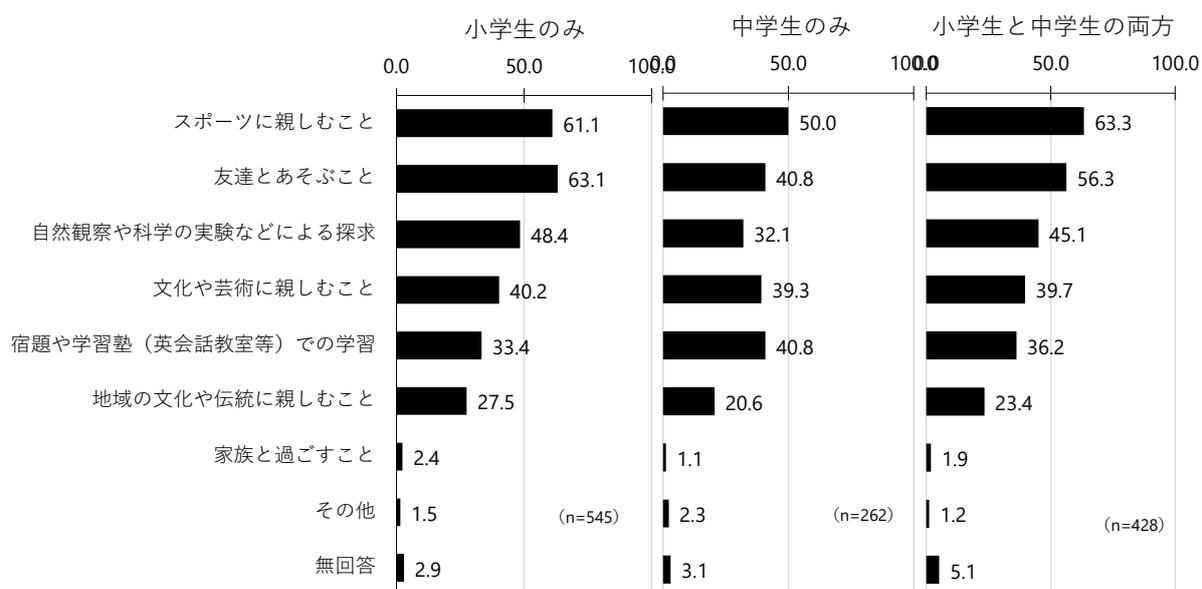


問 26 問 25 でお答えいただいたことのうち、学校施設を活用してできたらいいと思うものは何ですか。(複数回答)

「スポーツに親しむこと」が 59.5%と最も多く、次いで「友達とあそぶこと」が 55.9%、「自然観察や科学の実験などによる探求」が 43.8%、「文化や芸術に親しむこと」が 39.8%、「宿題や学習塾（英会話教室等）での学習」が 36.1%となっています。



【参考】 問 26 学校施設を活用して、学校時間外で子どもに多く過ごしてほしいこと (小中学生又はその両方別)

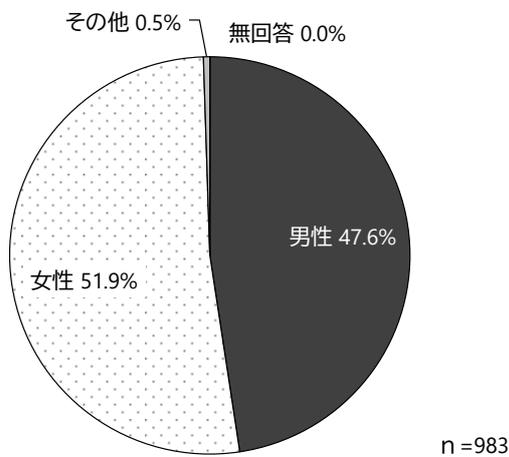


教員票 集計結果

あなた自身のことについておうかがいします

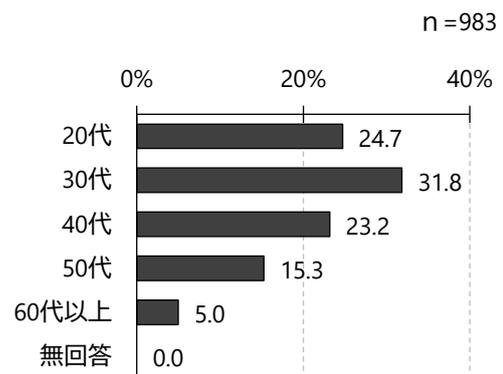
問1 あなたの性別を教えてください。

「女性」が51.9%と最も多く、次いで「男性」が47.6%、「その他」が0.5%となっています。



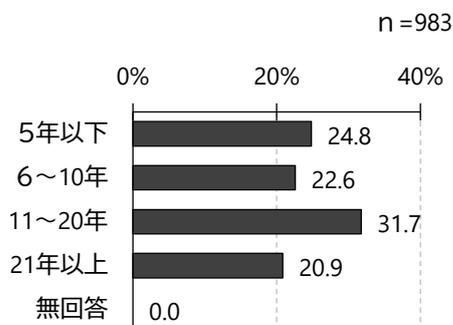
問2 あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。

「30代」が31.8%と最も多く、次いで「20代」が24.7%、「40代」が23.2%、「50代」が15.3%、「60代以上」が5.0%となっています。



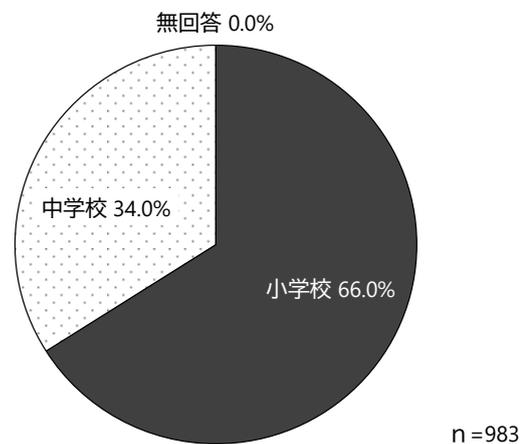
問3 あなたの教員としての経験年数は何年ですか。

「11～20年」が31.7%と最も多く、次いで「5年以下」が24.8%、「6～10年」が22.6%、「21年以上」が20.9%となっています。



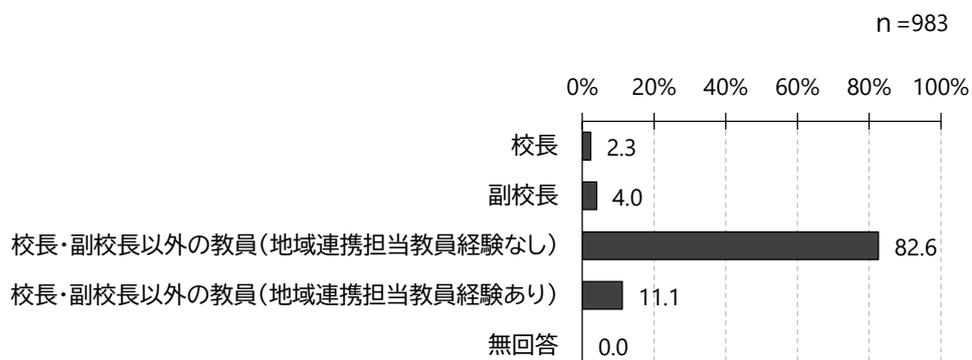
問4 あなたの勤務先はどちらですか。

「小学校」が66.0%、「中学校」が34.0%となっています。



問5 あなたの職名は何ですか。

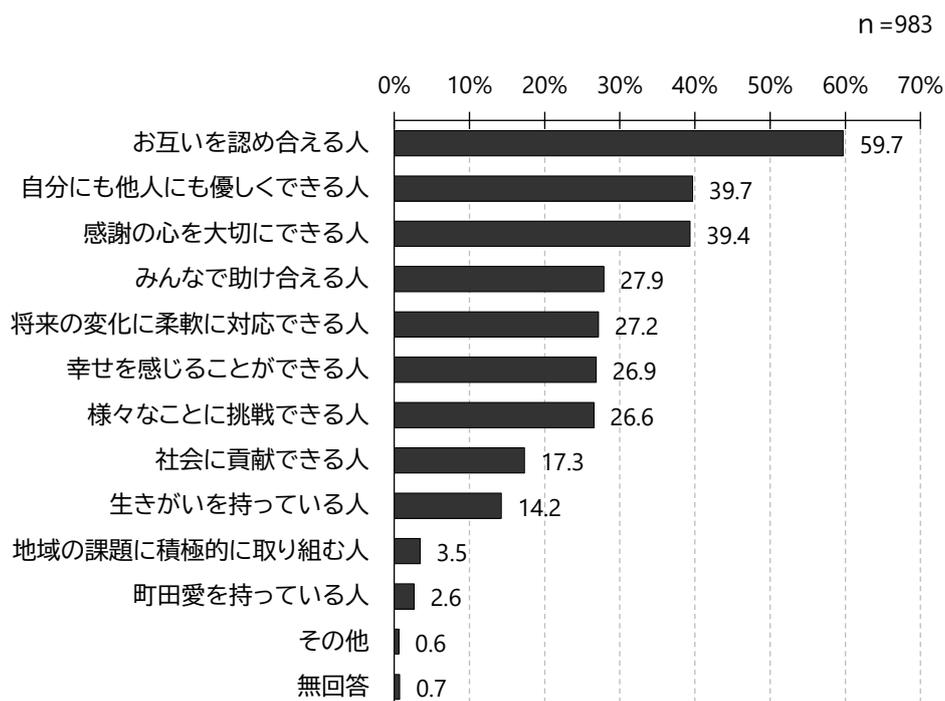
「校長・副校長以外の教員（地域連携担当教員経験なし）」が82.6%と最も多くなっています。



町田市の教育において、「みんなが目指す姿」についておうかがいします

問6 2040年の未来を見据えて、町田市の教育において「みんなが目指す姿」についてのご意見をお聞かせください。あなたが児童・生徒に、こういう人になってほしいと思うものを選んでください。(複数回答)

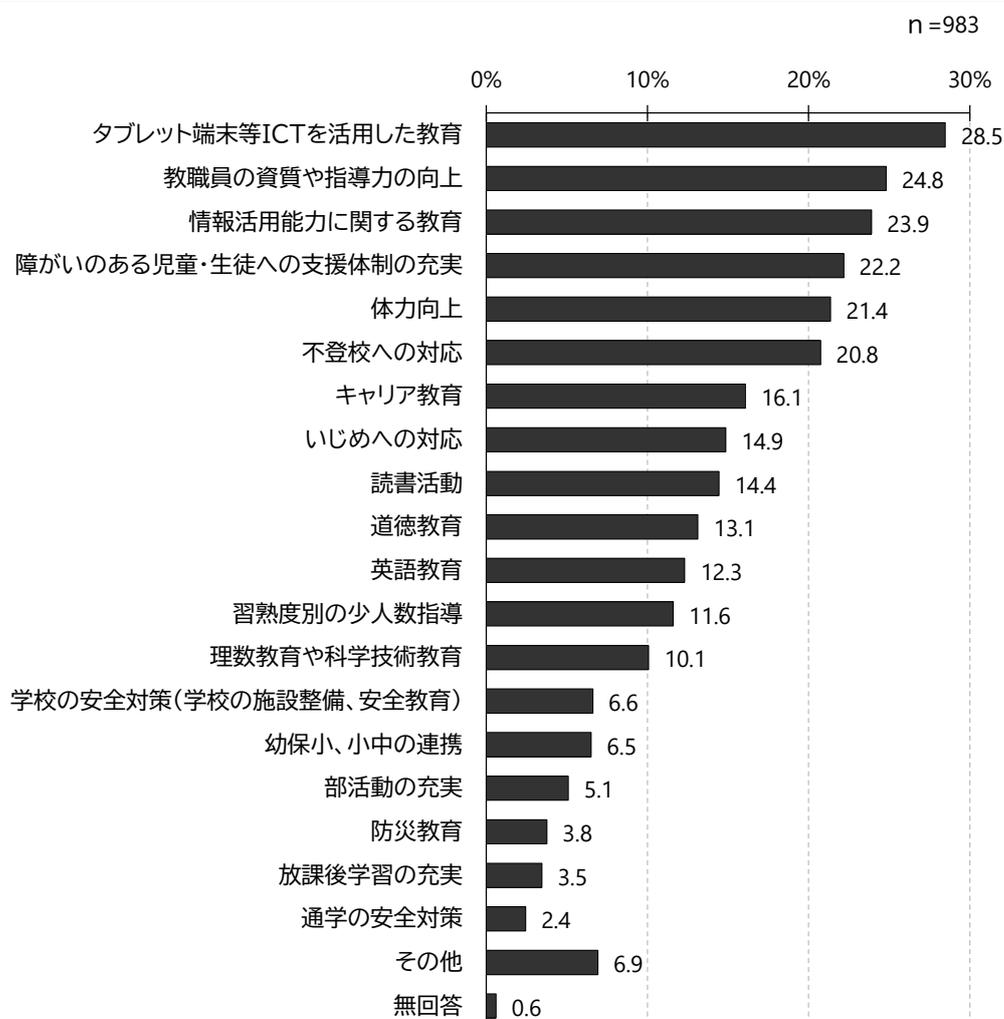
「お互いを認め合える人」が59.7%と最も多く、次いで「自分にも他人にも優しくできる人」が39.7%、「感謝の心を大切にできる人」が39.4%、「みんなで助け合える人」が27.9%、「将来の変化に柔軟に対応できる人」が27.2%となっています。



町田市の学校教育についておうかがいします

問7 町田市の学校教育では、今後どのような点に力を入れていくのが望ましいと思いますか。
(複数回答)

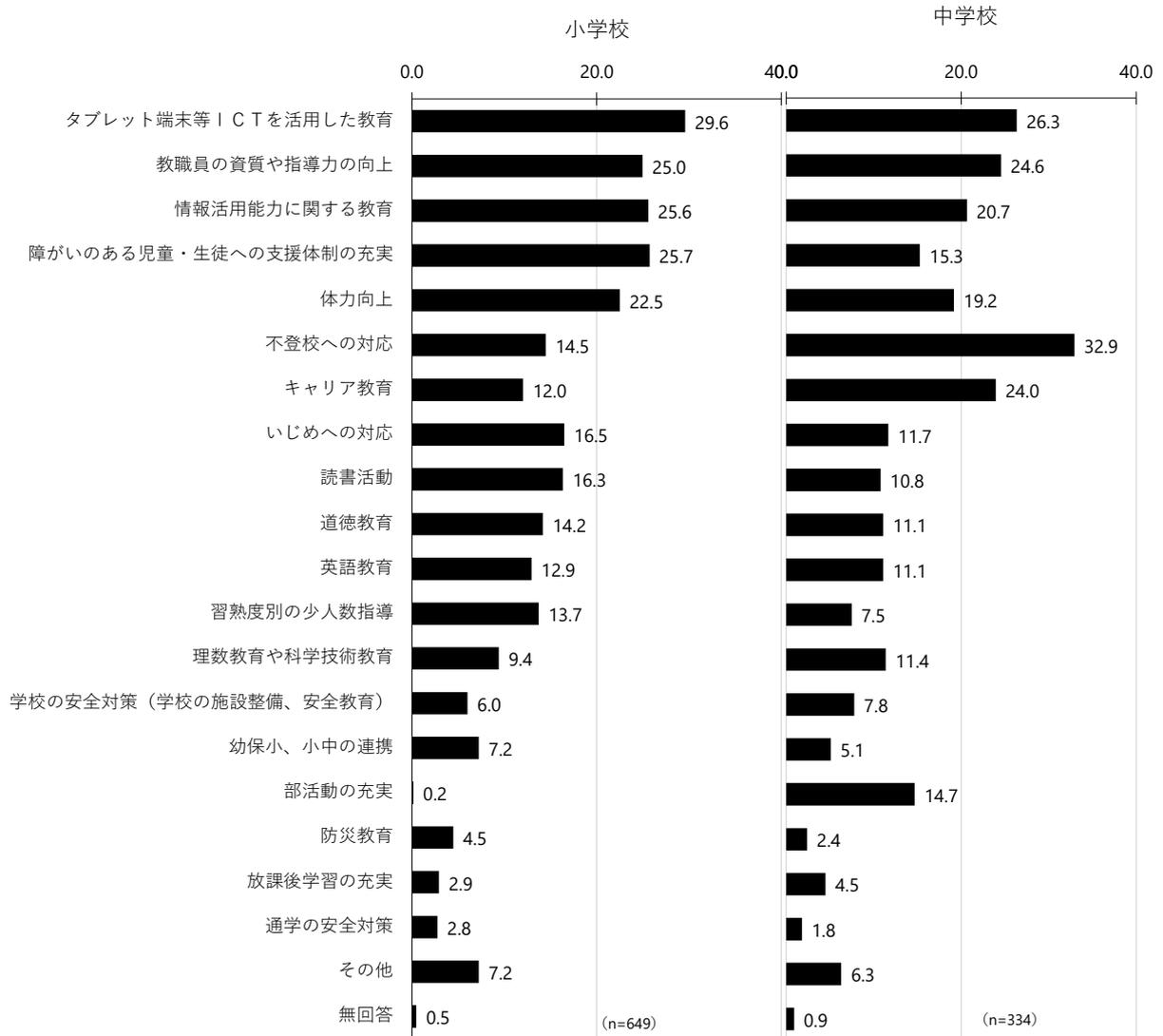
「タブレット端末等 ICT を活用した教育」が 28.5%と最も多く、次いで「教職員の資質や指導力の向上」が 24.8%、「情報活用能力に関する教育」が 23.9%、「障がいのある児童・生徒への支援体制の充実」が 22.2%、「体力向上」が 21.4%となっています。



【『その他』の意見(抜粋)】

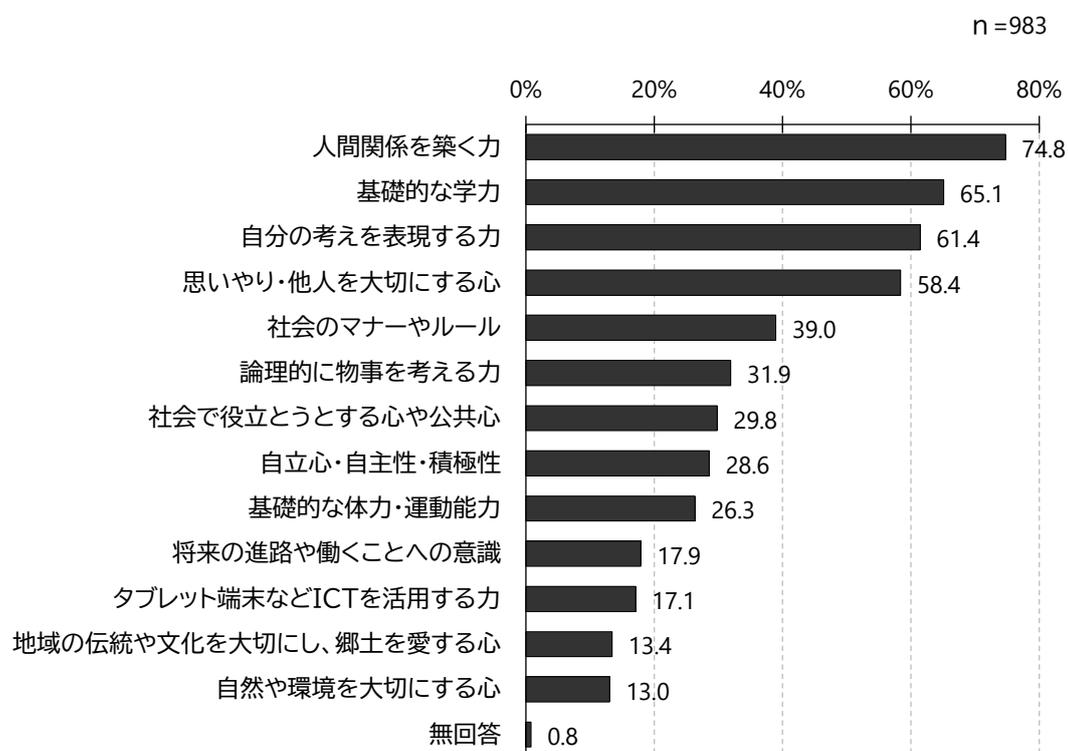
- ・教員の負担軽減・働き方改革 ・基礎学力の向上
- ・特別支援学級の児童生徒への指導技術を有する正規職員の導入による支援体制
- ・小学校の教科担当制、副担当の加配、少人数制教室
- ・教育の魅力を高め教員を増やすこと
- ・家庭学習、規範教育、特別支援教育、音楽教育、特別活動、金融教育、芸術文化、環境教育、読解能力の向上、人権教育、人間関係形成力向上教育、産業教育、心の教育、LGBT教育、情報リテラシー教育、金融経済教育

【参考】問7 市の教育で力を入れていくこと(小中学校別)

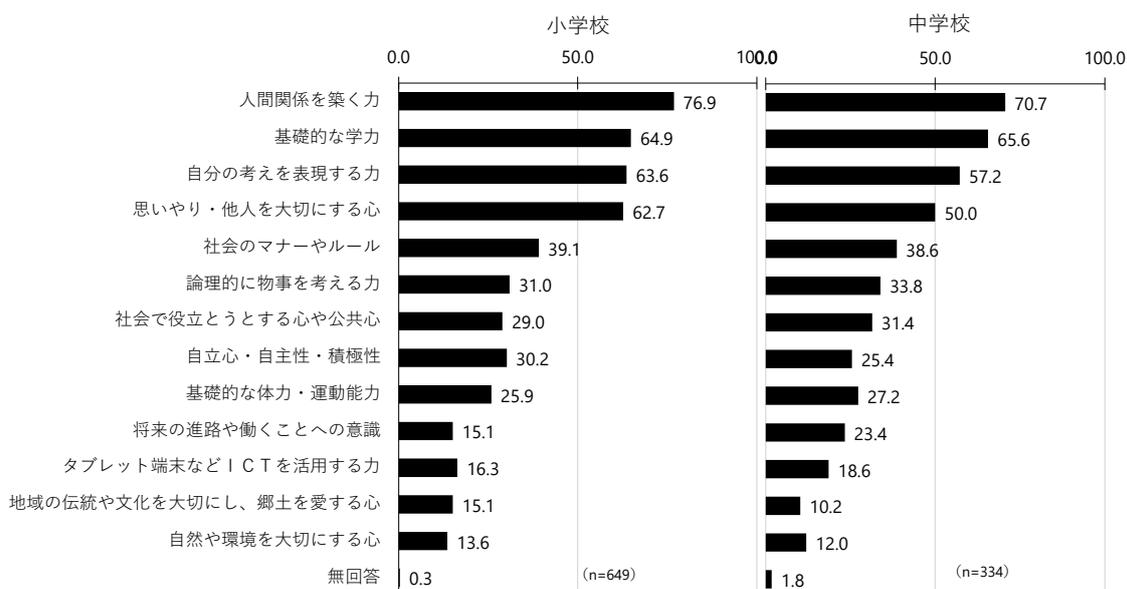


問8 以下に掲げるものを児童・生徒に身につけさせるにあたって「学校」で身につける方が効果的だと思うものはどれですか。(複数回答)

「人間関係を築く力」が74.8%と最も多く、次いで「基礎的な学力」が65.1%、「自分の考えを表現する力」が61.4%、「思いやり・他人を大切にできる心」が58.4%、「社会のマナーやルール」が39.0%となっています。

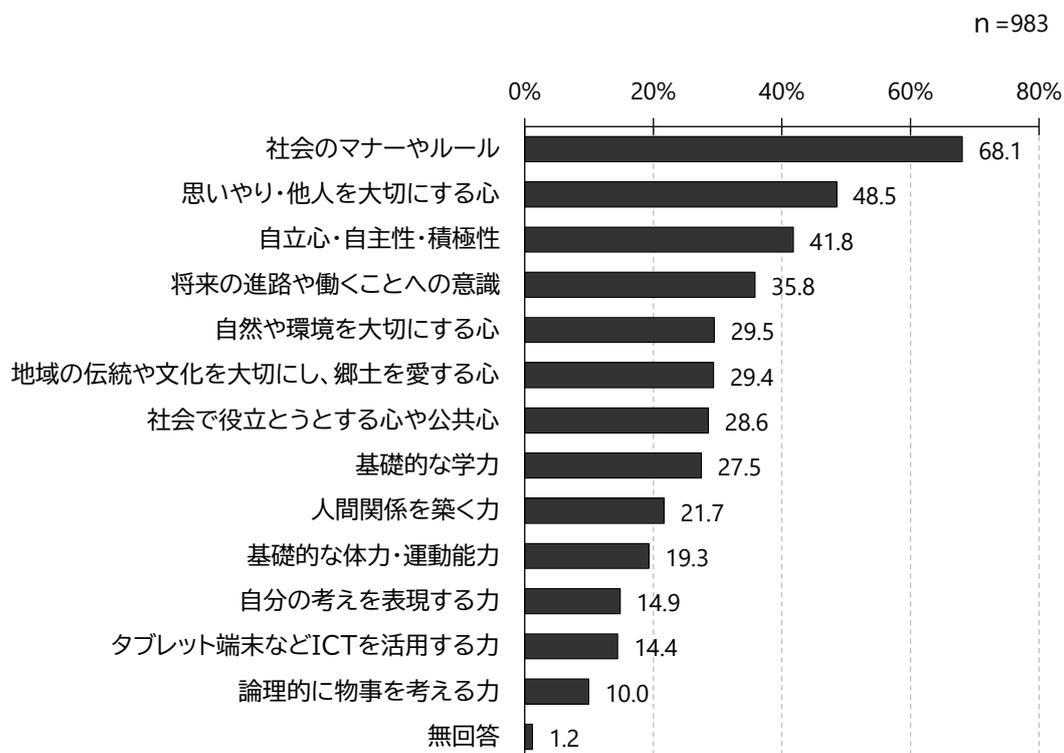


【参考】問8 学校で身につける方が効果的だと思うもの(小中学校別)

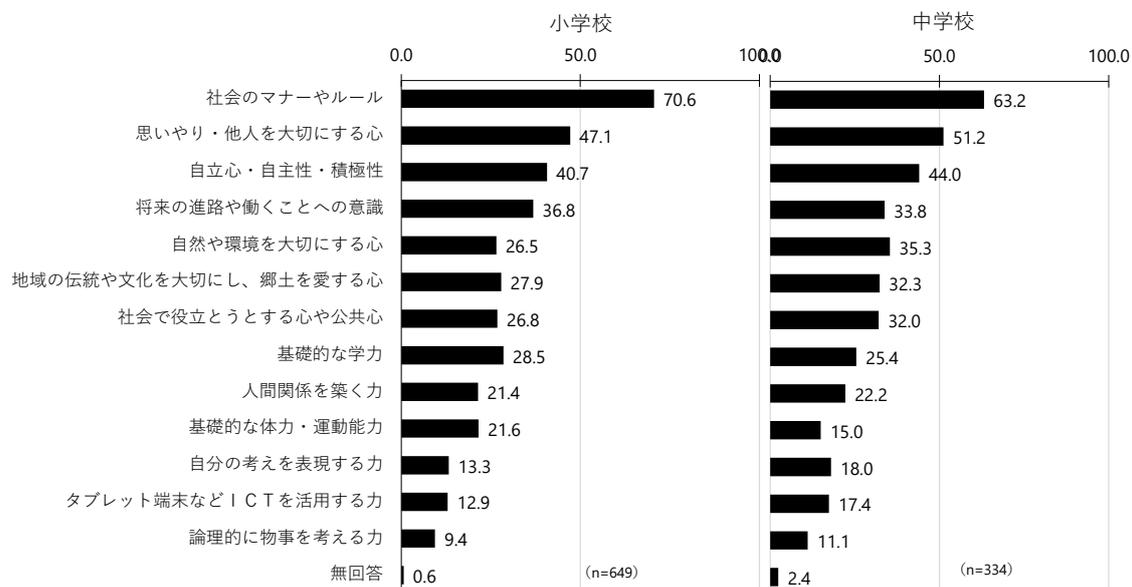


問9 以下に掲げるものを児童・生徒に身につけさせるにあたって「家庭」で身につける方が効果的だと思うものはどれですか。(複数回答)

「社会のマナーやルール」が68.1%と最も多く、次いで「思いやり・他人を大切にできる心」が48.5%、「自立心・自主性・積極性」が41.8%、「将来の進路や働くことへの意識」が35.8%、「自然や環境を大切にできる心」が29.5%となっています。



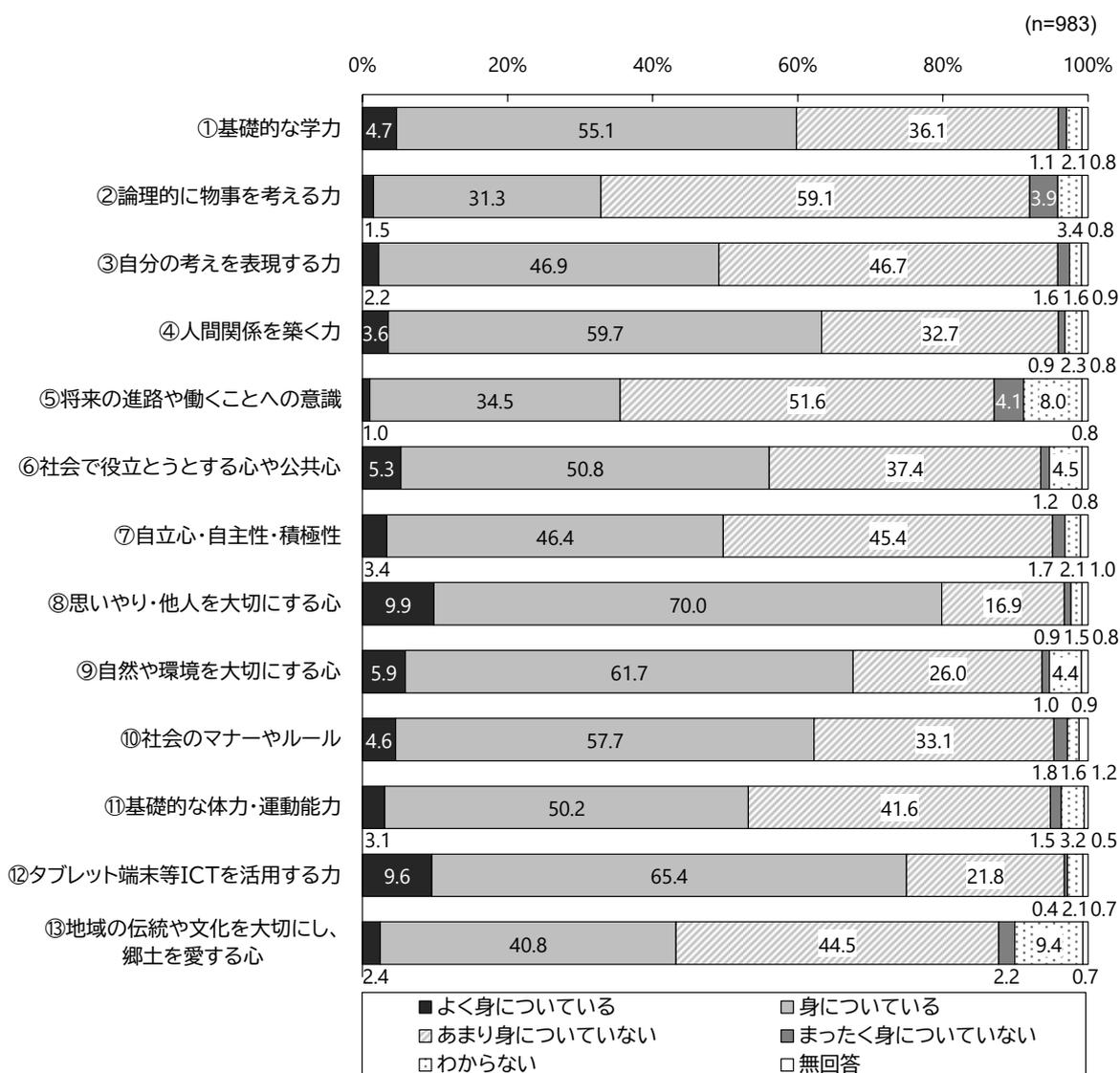
【参考】問9 家庭で身につける方が効果的だと思うもの(小中学校別)



問 10 あなたの学校の児童・生徒には、以下に掲げるものがどの程度身についていると思いますか。

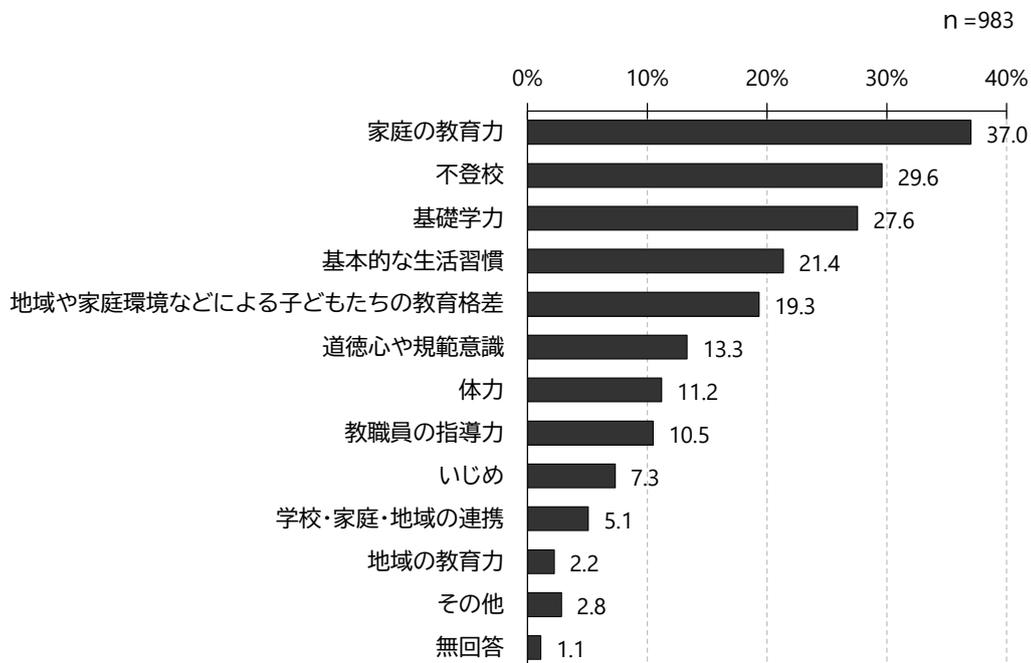
「よく身についている」「身についている」との回答が多いものは順に、⑧思いやり・他人を大切に作る心、⑫タブレット端末等 ICT を活用する力、⑨自然や環境を大切に作る心となっています。

反対に「あまり身につけていない」「まったく身につけていない」との回答が多いものは順に、②論理的に物事を考える力、⑤将来の進路や働くことへの意識、③自分の考えを表現する力となっています。



問 11 児童・生徒の教育や環境について、課題と感じていることは何ですか。(複数回答)

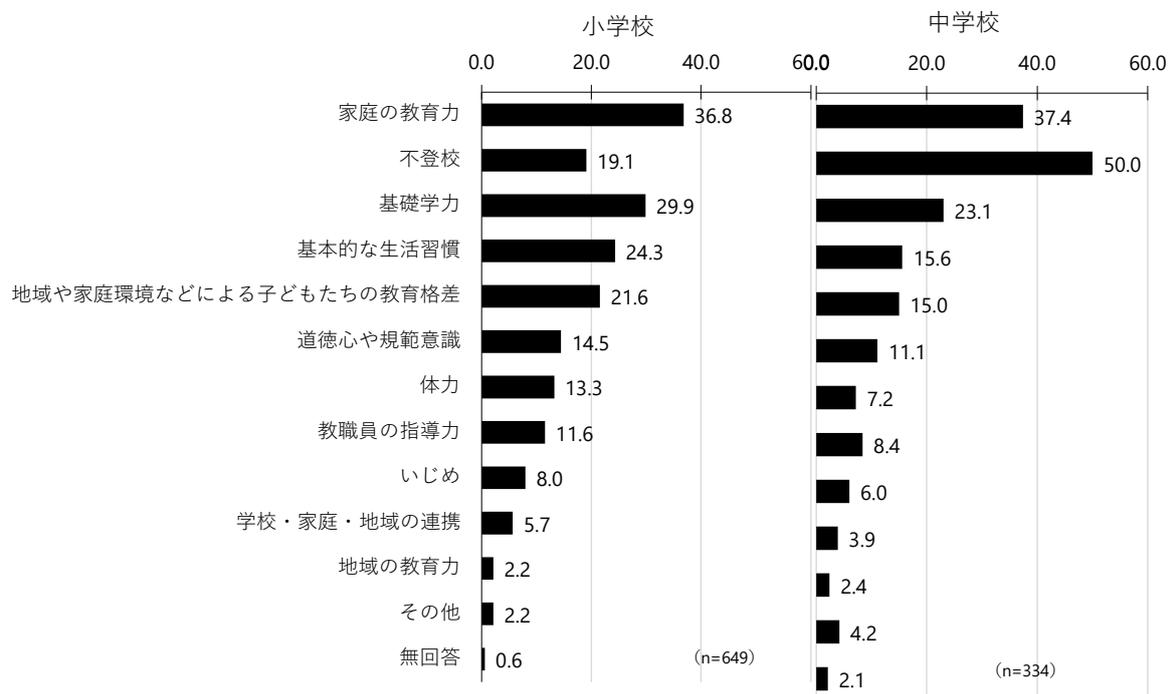
「家庭の教育力」が 37.0%と最も多く、次いで「不登校」が 29.6%、「基礎学力」が 27.6%、「基本的な生活習慣」が 21.4%、「地域や家庭環境などによる子どもたちの教育格差」が 19.3%となっています。



【『その他』の意見(抜粋)】

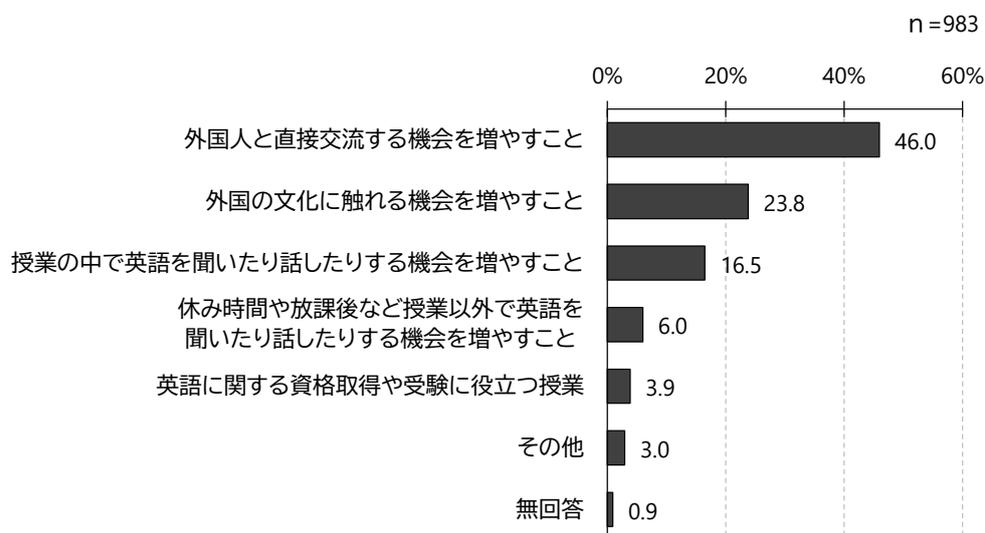
- ・教員の労働環境（人員不足、業務過多） ・教育格差
- ・ICT 環境(ネットワーク環境の弱さ等) ・学級の児童生徒数の減少
- ・人との関わり方 ・親と子どもの関係 ・スマートフォンの管理
- ・他者の目を極端に気にする姿、他者の行動に対して厳しい見方
- ・心の健康、聞く力、ルールやマナーを守ること ・発達障がいへの理解の欠如

【参考】問 11 児童・生徒の教育や環境で課題と感ずること(小中学校別)



問 12 英語教育の推進について、どのようなことに力を入れていくことが最も望ましいと思いますか。

「外国人と直接交流する機会を増やすこと」が46.0%と最も多く、次いで「外国の文化に触れる機会を増やすこと」が23.8%、「授業の中で英語を聞いたり話したりする機会を増やすこと」が16.5%、「休み時間や放課後など授業以外で英語を聞いたり話したりする機会を増やすこと」が6.0%、「英語に関する資格取得や受験に役立つ授業」が3.9%となっています。

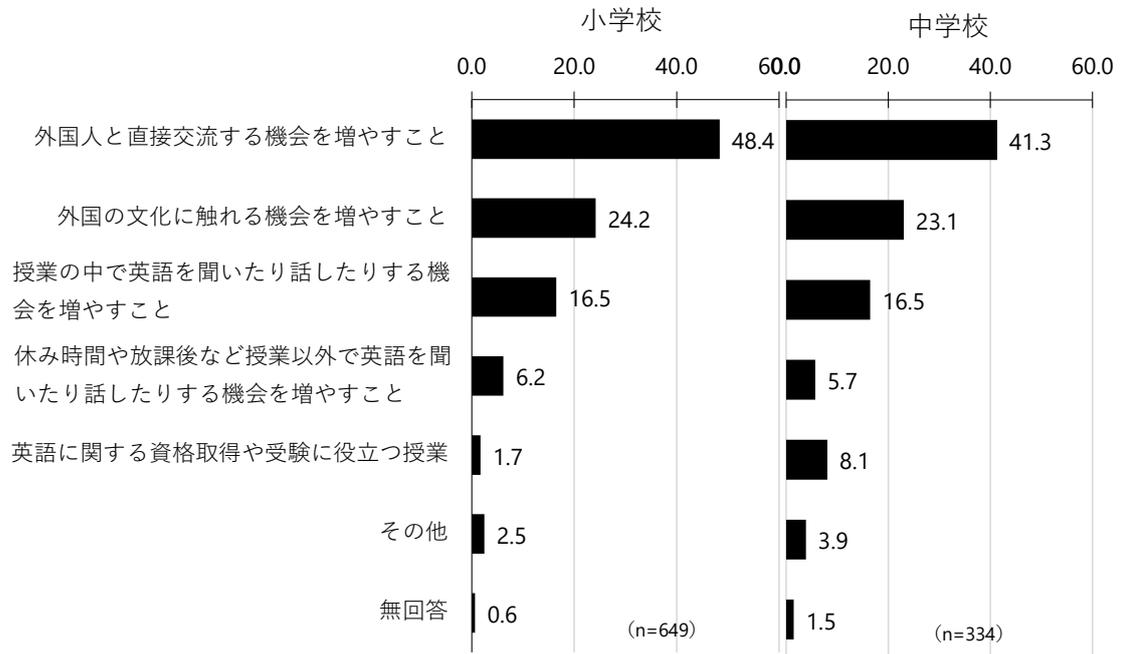


【『その他』の意見(抜粋)】

- ・ 専門性のある教員の授業 ・ 外国語専科の設置
- ・ 日常で英語を使う必要性、必然性が高い環境をつくって英語力強化につなげる
- ・ ALT (外国語指導助手) の授業を増やす ・ 教員の指導力向上
- ・ 英語を話したいと思える環境やシチュエーションを作る
- ・ 外国人と英語で話し、自信につなげる ・ 希望者への短期留学
- ・ 英語を学び利用する具体的な場面を体験させること (TGG[※]等)

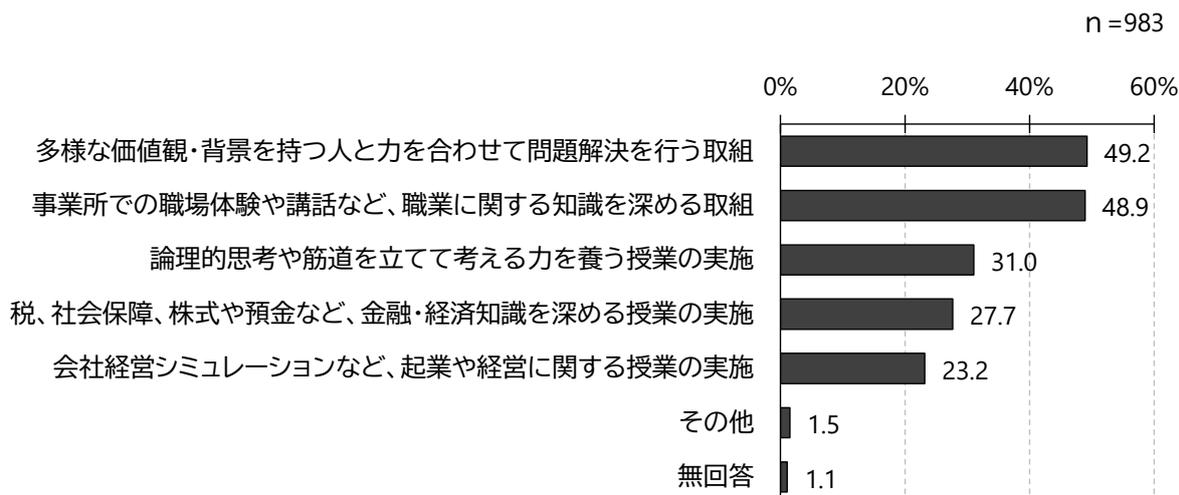
※TGG とは、TOKYO GLOBAL GATEWAY の略で、東京都教育委員会と株式会社 TOKYO GLOBAL GATEWAY が提供する体験型英語学習施設のことです。生活習慣・文化・価値観などの多様性や人権が尊重され、誰もが幸せを共感でき、そこに住み続けたいと思える「世界一の都市・東京」の実現を目指して取り組んでいます。

【参考】問 12 英語教育の推進で力を入れていくべきこと(小中学校別)



問 13 「キャリア教育」の推進について、以下の項目の中で実施すべき、または、さらに力を入れて取り組むべきと思うものはどれですか。(複数回答)

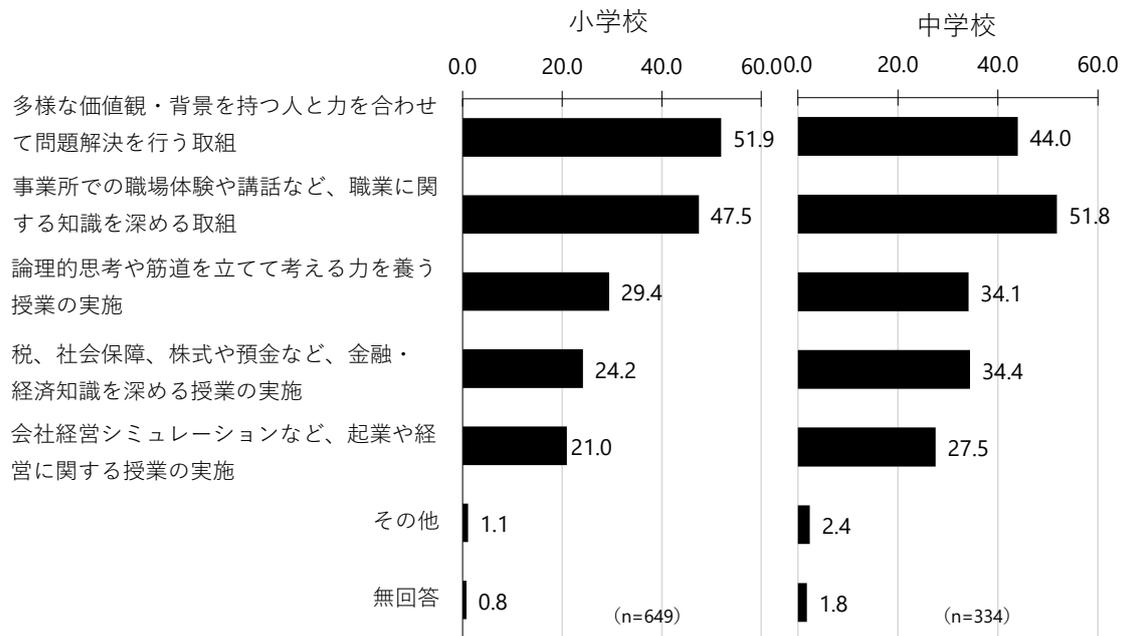
「多様な価値観・背景を持つ人と力を合わせて問題解決を行う取組」が49.2%と最も多く、次いで「事業所での職場体験や講話など、職業に関する知識を深める取組」が48.9%、「論理的思考や筋道を立てて考える力を養う授業の実施」が31.0%、「税、社会保障、株式や預金など、金融・経済知識を深める授業の実施」が27.7%、「会社経営シミュレーションなど、起業や経営に関する授業の実施」が23.2%となっています。



【『その他』の意見(抜粋)】

- ・ 現場見学、実習
- ・ 舞台観劇やマスコミ (TV局、新聞社、出版社)、漁業、林業、農業など第一次産業や特色ある職業体験や職場見学や社会見学など
- ・ 人の役に立つ仕事 (ボランティア研修) や、職業調べ・インタビューなど
- ・ 職に就くことと勉強のつながりを明確化

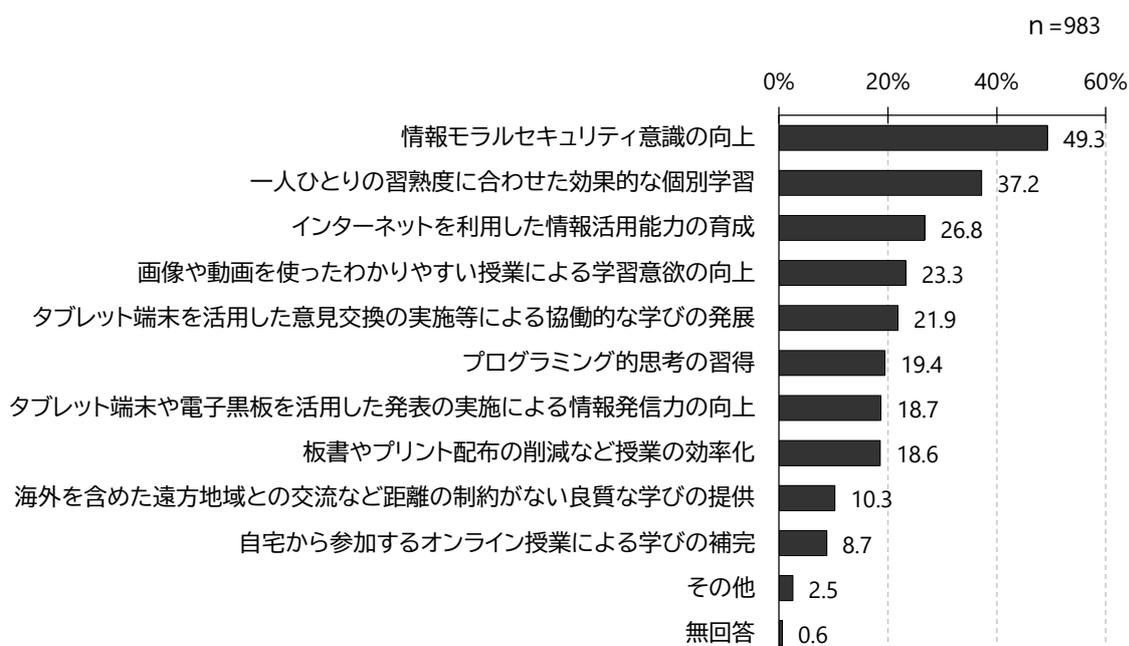
【参考】問 13 キャリア教育の推進で力を入れていくべきこと(小中学校別)



問 14 ICT教育の推進に関して、さらに力を入れて取り組むべきと思うものはどれですか。

(複数回答)

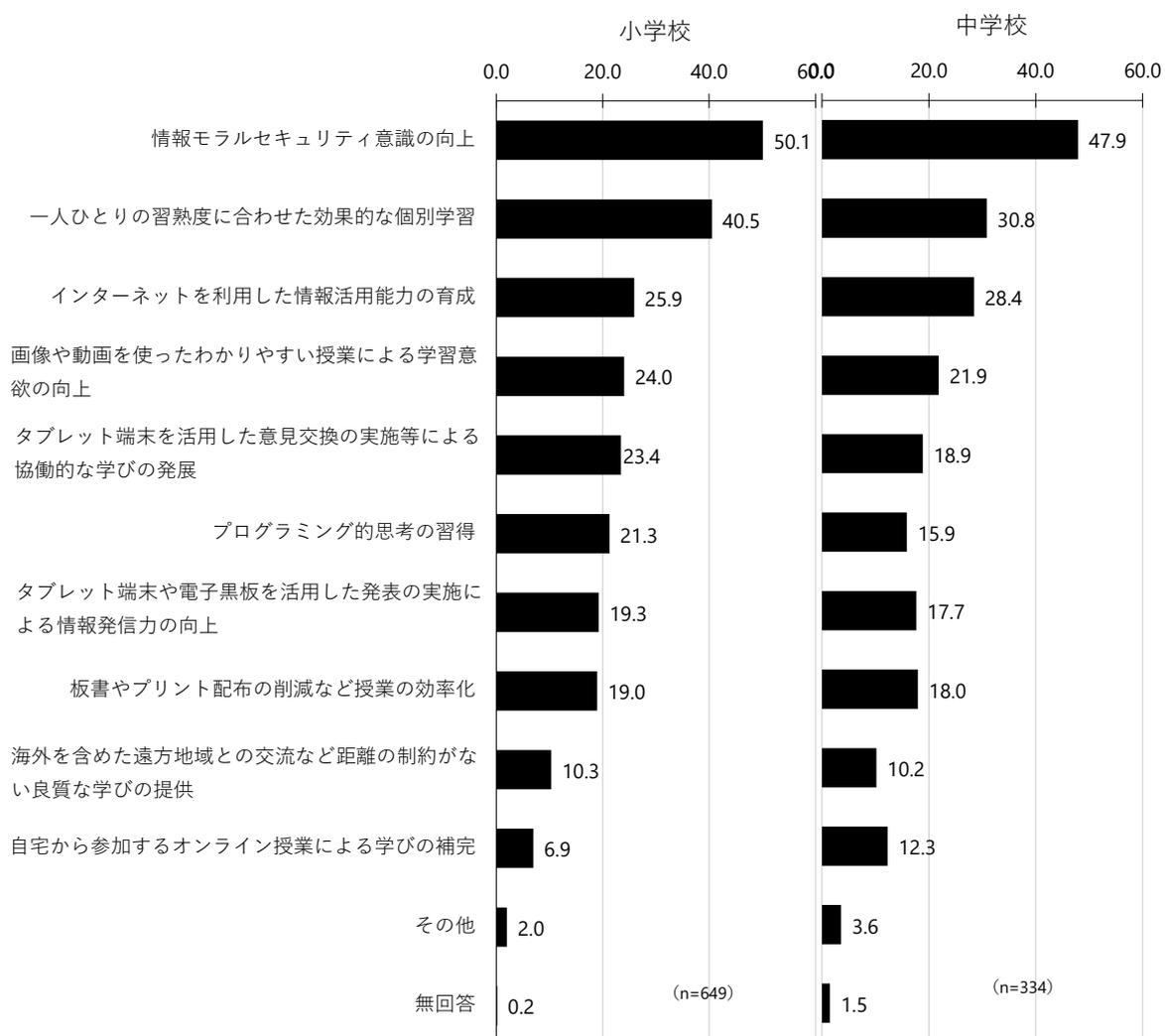
「情報モラルセキュリティ意識の向上」が49.3%と最も多く、次いで「一人ひとりの習熟度に合わせた効果的な個別学習」が37.2%、「インターネットを利用した情報活用能力の育成」が26.8%、「画像や動画を使ったわかりやすい授業による学習意欲の向上」が23.3%、「タブレット端末を活用した意見交換の実施等による協働的な学びの発展」が21.9%となっています。



【『その他』の意見(抜粋)】

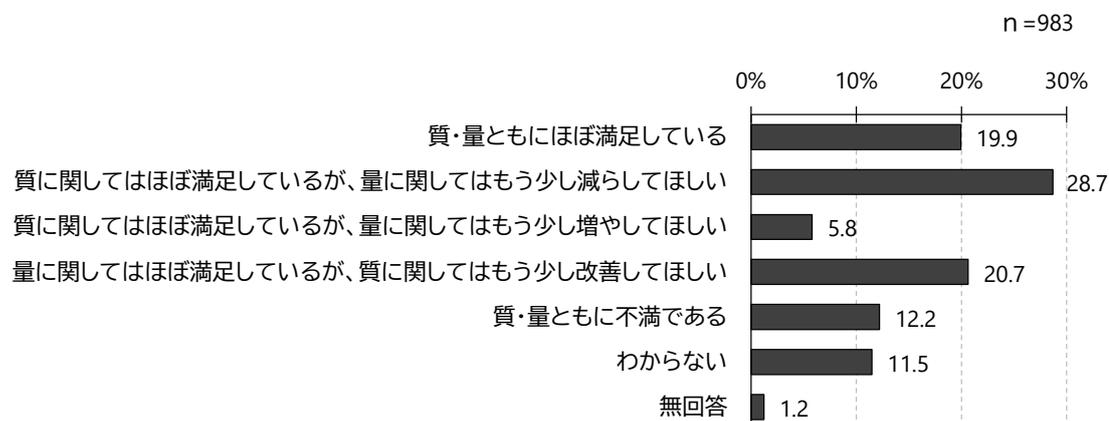
- ・ 予備や配信用クロームブックの台数をもっと増やすこと
- ・ デジタル教科書の導入、活用
- ・ Wi-Fi 環境を整える
- ・ 授業で活用できる ICT 教材の開発
- ・ 情報モラル、ネットマナーの教育
- ・ タブレット端末、ICT 機器のスペックの向上、ニーズの高いソフトの導入
- ・ タブレット端末の使い方、規制範囲の検討
- ・ タイピング能力

【参考】問 14 ICT 教育の推進で力を入れていくべきこと(小中学校別)

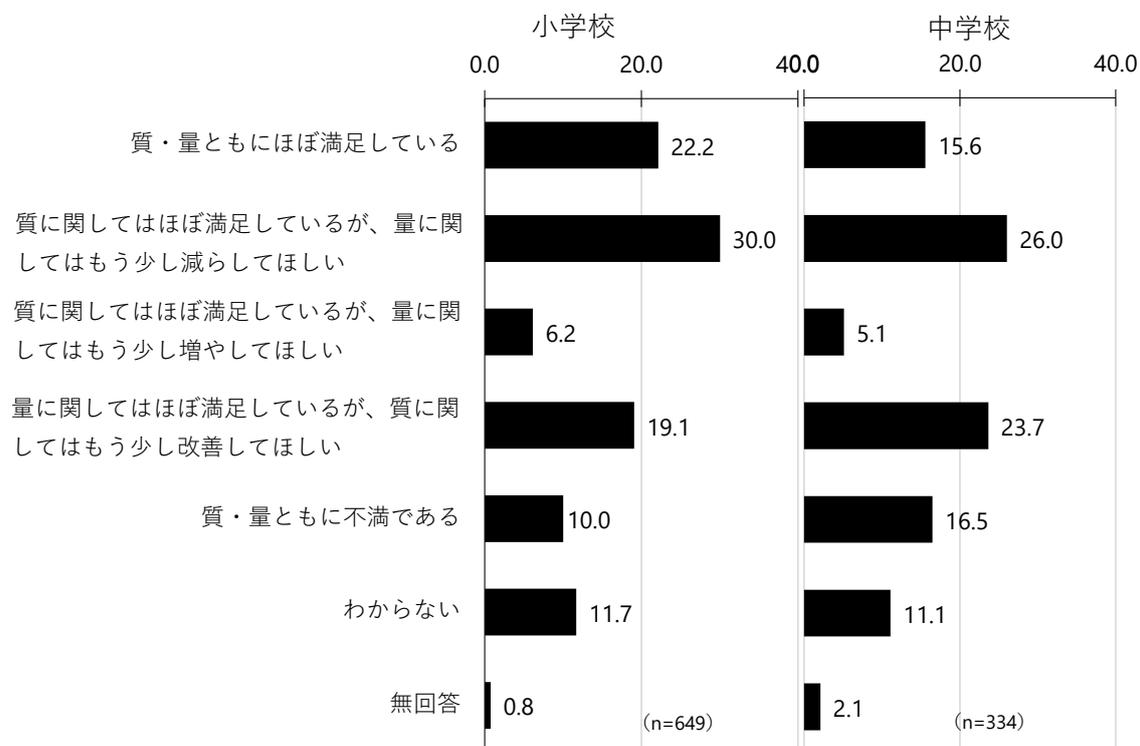


問 15 現在の教員研修制度についてどう感じていますか。

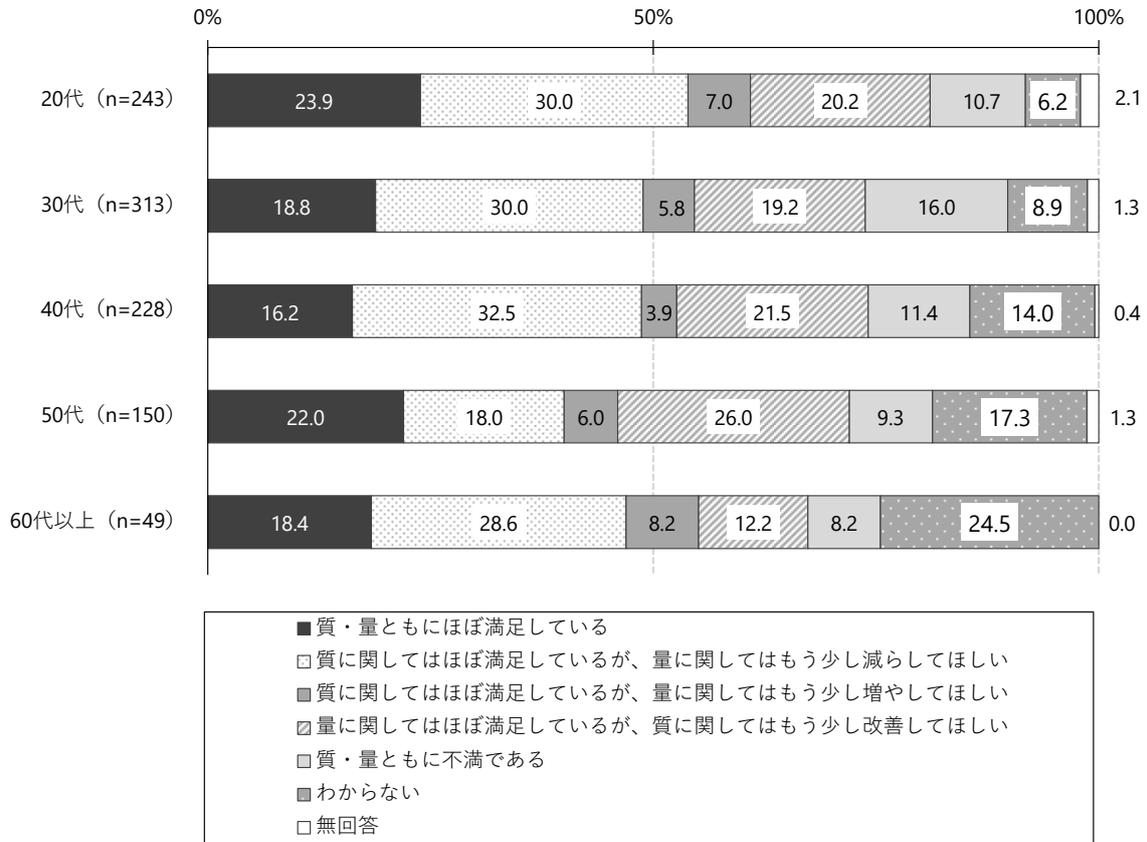
「質に関してはほぼ満足しているが、量に関してはもう少し減らしてほしい」が 28.7%と最も多く、次いで「量に関してはほぼ満足しているが、質に関してはもう少し改善してほしい」が 20.7%、「質・量ともにほぼ満足している」が 19.9%、「質・量ともに不満である」が 12.2%となっています。



【参考】 問 15 教育研修制度について感じていること(小中学校別)

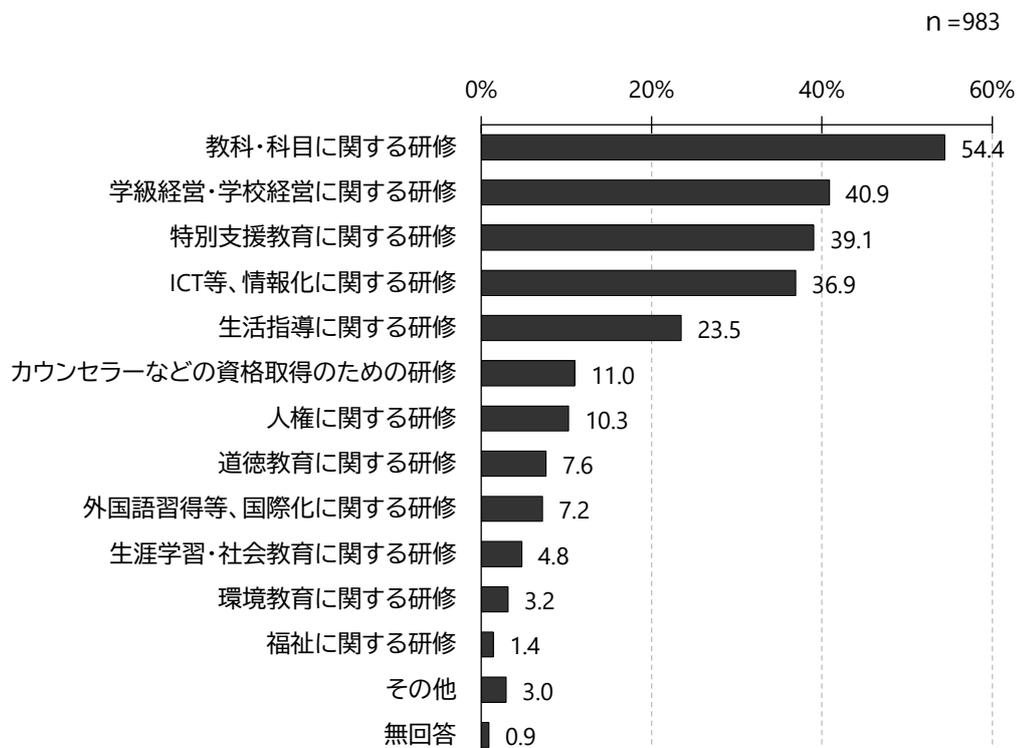


【参考】問15 教育研修制度について感じていること(教員の年齢別)



問 16 教員研修制度の内容として重要だと思われるものは何ですか。(複数回答)

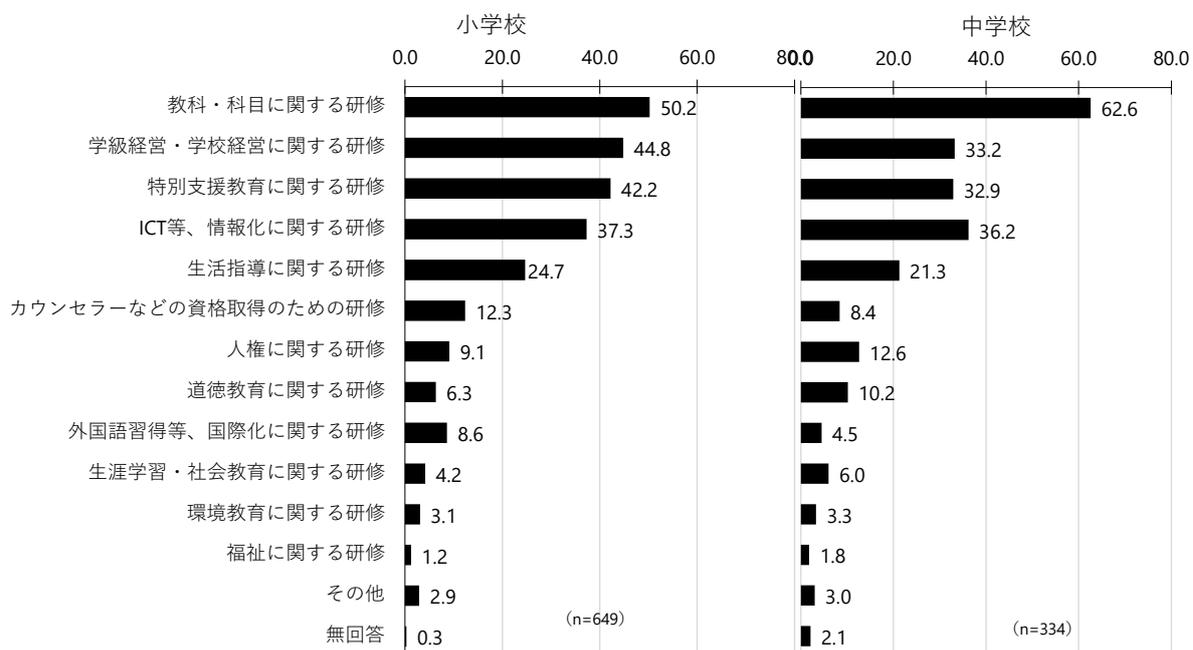
「教科・科目に関する研修」が 54.4%と最も多く、次いで「学級経営・学校経営に関する研修」が 40.9%、「特別支援教育に関する研修」が 39.1%、「ICT 等、情報化に関する研修」が 36.9%、「生活指導に関する研修」が 23.5%となっています。



【『その他』の意見(抜粋)】

- ・ 概論ではなく、最新の情報にアップデートされた具体・臨床的な研修
- ・ 校務、教育格差、キャリア教育、平和教育、不登校生徒の対応、学習指導要領、様々な指導方法、教育技術
- ・ 学級経営や生活指導など授業以外の基礎・基本的な社会人スキル研修（保護者対応、タイムマネジメント）
- ・ 地域の専門機関を把握する研修
- ・ 教員のキャリアに応じた専門的選択的な研修
- ・ 実例に対する対処法を議論・検討するケーススタディ的な研修
- ・ 対話をベースとした職場環境づくり、リーダーシップのあり方

【参考】問 16 教育研修制度として重要だと思われるもの(小中学校別)

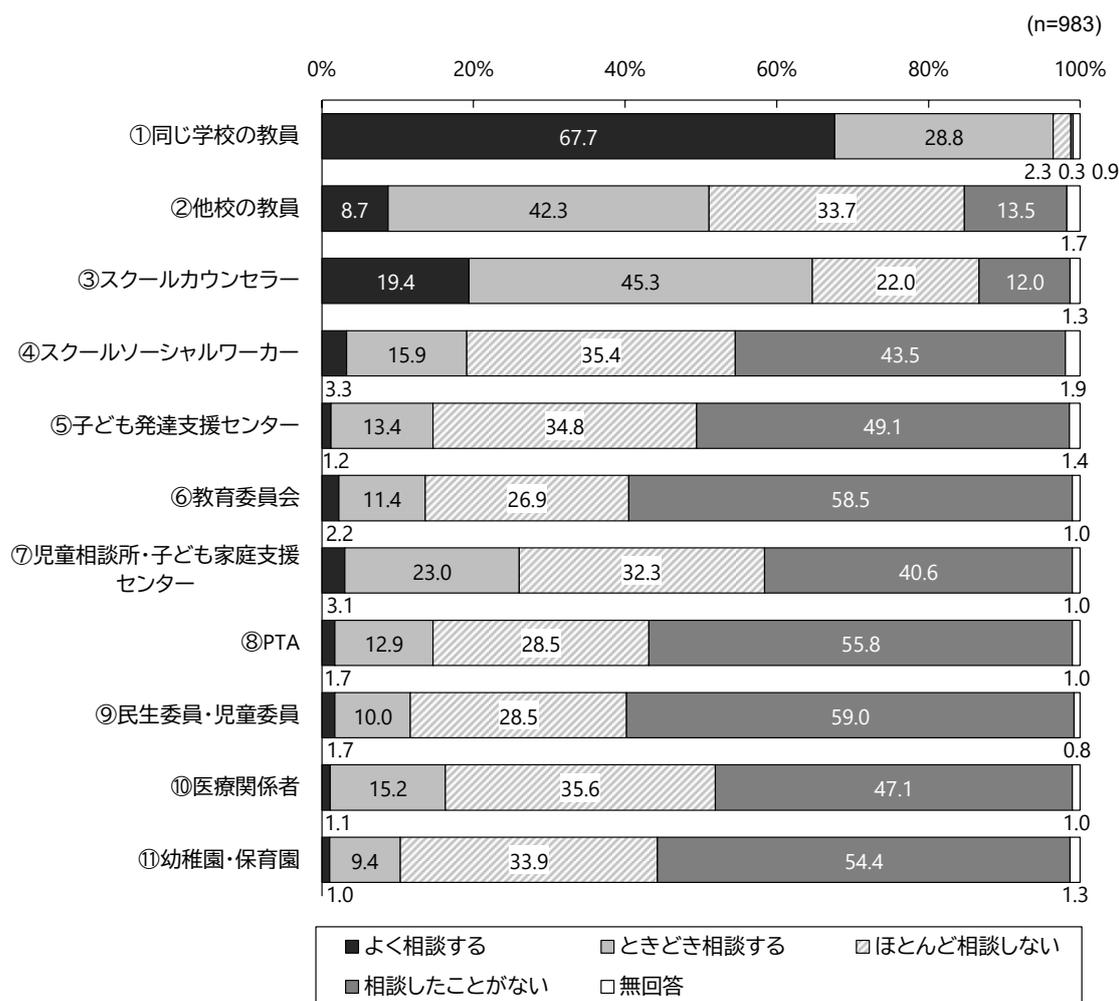


教育に関する相談についておうかがいします

問 17 あなたは、児童・生徒に関する相談をする際、以下に掲げる相手に対してどの程度相談していますか。

「よく相談する」「ときどき相談する」との回答が多いものは順に、①同じ学校の教員、③スクールカウンセラー、②他校の教員となっています。

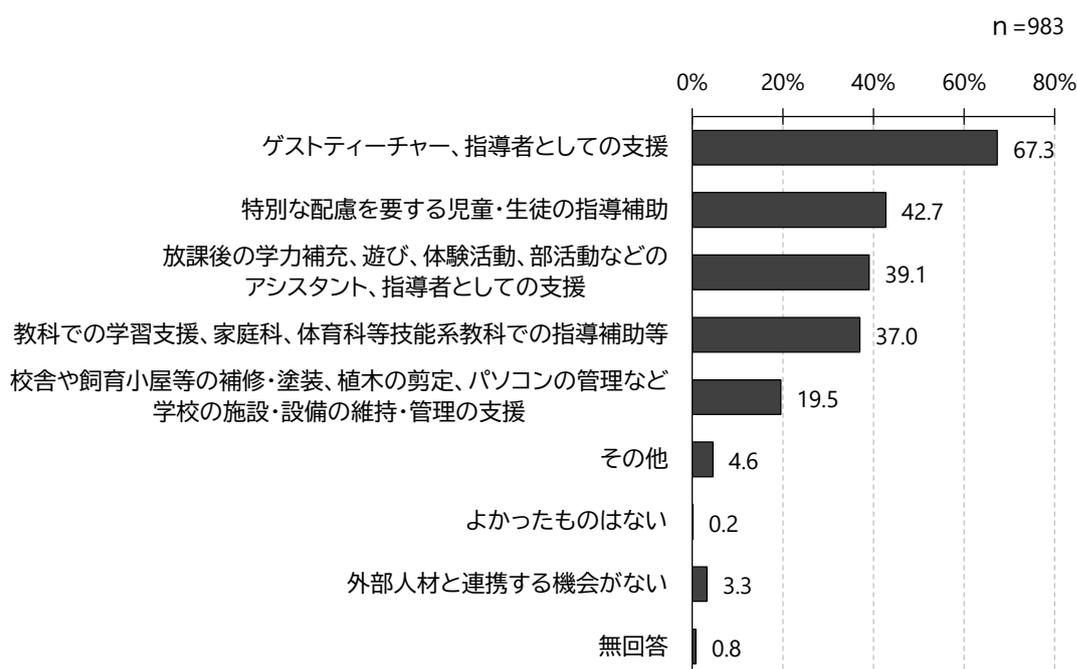
反対に「ほとんど相談しない」「相談したことがない」との回答が多いものは順に、⑪幼稚園・保育園、⑨民生委員・児童委員、⑥教育委員会となっています。



学校・家庭・地域の連携についておうかがいします

問 18 あなたは、どのような分野で地域の方をはじめとする外部の方(以下、外部人材という)と連携していますか。(複数回答)

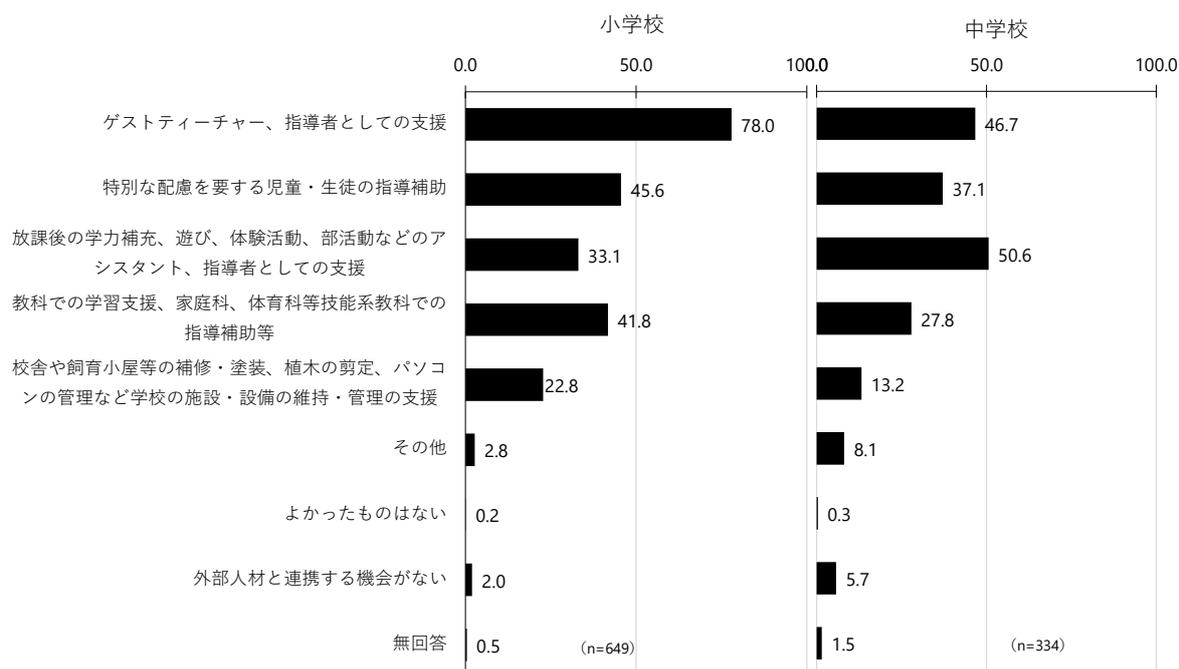
「ゲストティーチャー、指導者としての支援」が 67.3%と最も多く、次いで「特別な配慮を要する児童・生徒の指導補助」が 42.7%、「放課後の学力補充、遊び、体験活動、部活動などのアシスタント、指導者としての支援」が 39.1%、「教科での学習支援、家庭科、体育科等技能系教科での指導補助等」が 37.0%、「校舎や飼育小屋等の補修・塗装、植木の剪定、パソコンの管理など学校の施設・設備の維持・管理の支援」が 19.5%となっています。



【『その他』の意見(抜粋)】

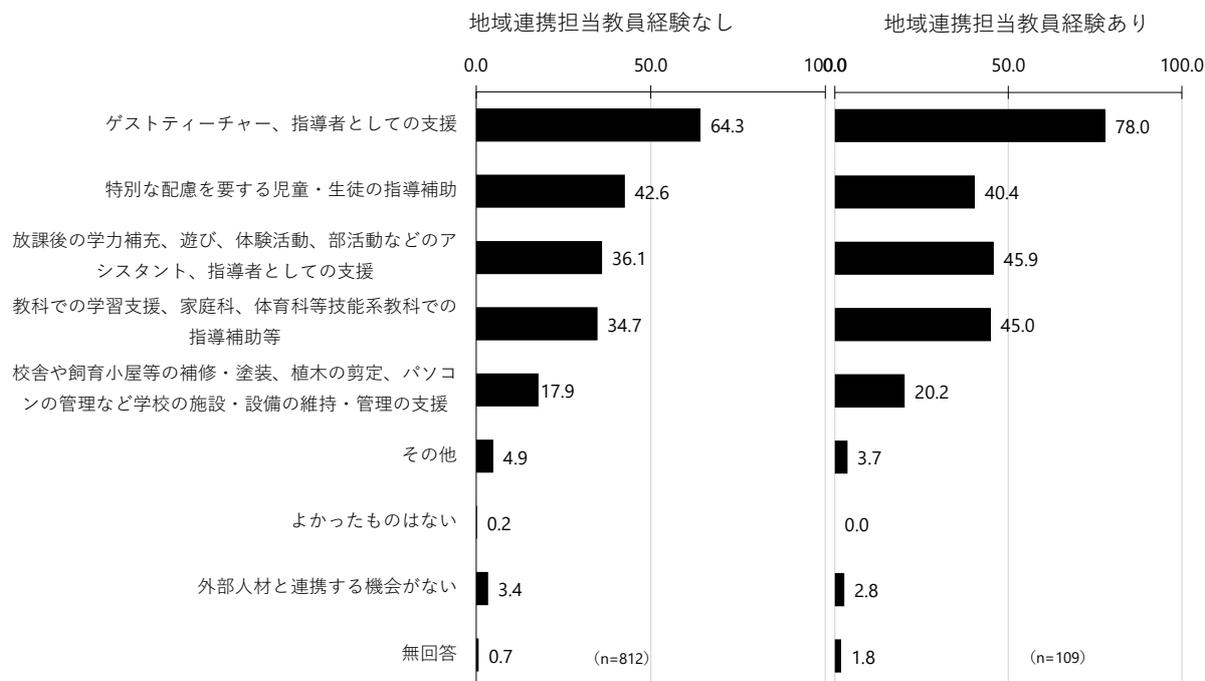
- ・総合的な学習の時間で実施している地域交流会
- ・地域の活動、安全の確保
- ・校外学習への引率ボランティア
- ・入学直後の1年生の生活指導補助
- ・校舎内の環境改善作業

【参考】問 18 外部の方との連携分野(小中学校別)



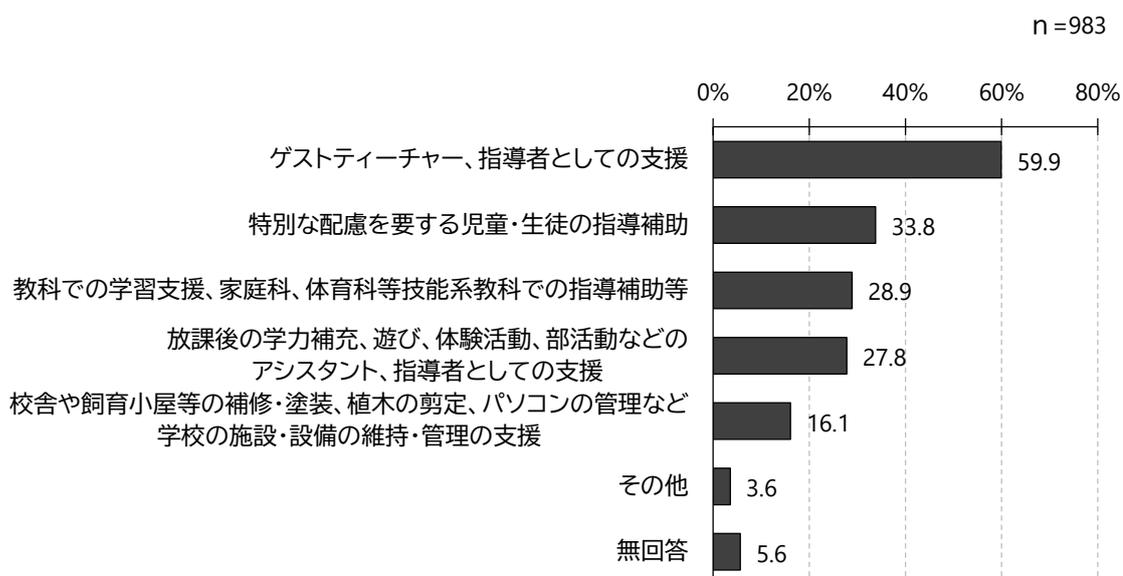
【参考】問 18 外部の方との連携分野(地域連携担当教員の経験有無別)

※校長・副校長以外の教員のみ



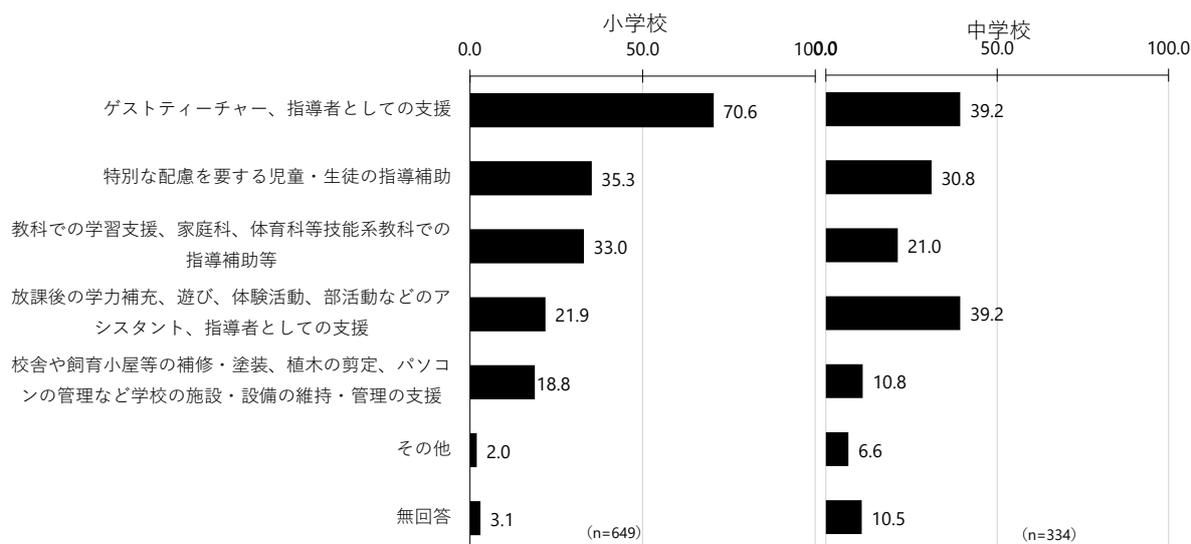
問 19 あなたが外部人材と連携して、よかったものはどれですか。(複数回答)

「ゲストティーチャー、指導者としての支援」が 59.9%と最も多く、次いで「特別な配慮を要する児童・生徒の指導補助」が 33.8%、「教科での学習支援、家庭科、体育科等技能系教科での指導補助等」が 28.9%、「放課後の学力補充、遊び、体験活動、部活動などのアシスタント、指導者としての支援」が 27.8%、「校舎や飼育小屋等の補修・塗装、植木の剪定、パソコンの管理など学校の施設・設備の維持・管理の支援」が 16.1%となっています。



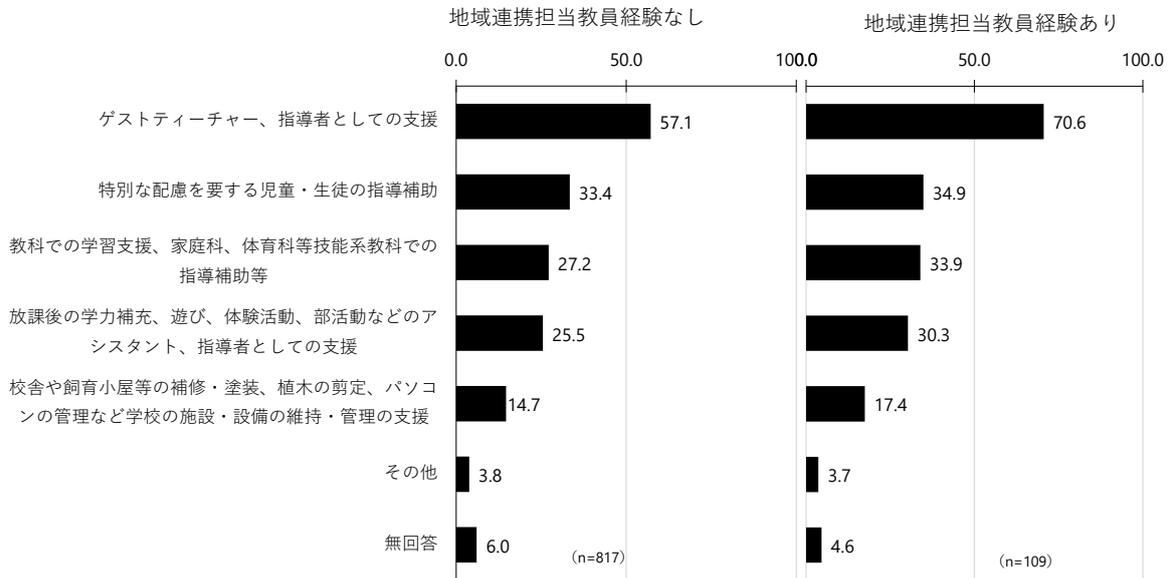
※「その他」の意見は問 18 と同じ

【参考】 問 19 外部の方と連携してよかったもの(小中学校別)



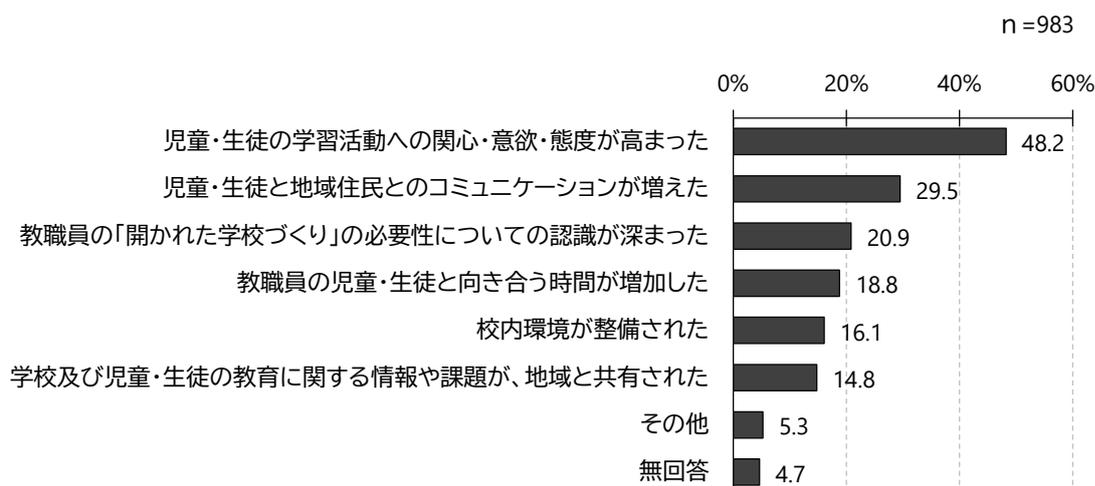
【参考】問 19 外部の方と連携してよかったもの(地域連携担当教員の経験有無別)

※校長・副校長以外の教員のみ



問 20 学校現場に外部人材が入るようになったことで、学校や児童・生徒はどのように変わったと感じていますか。(複数回答)

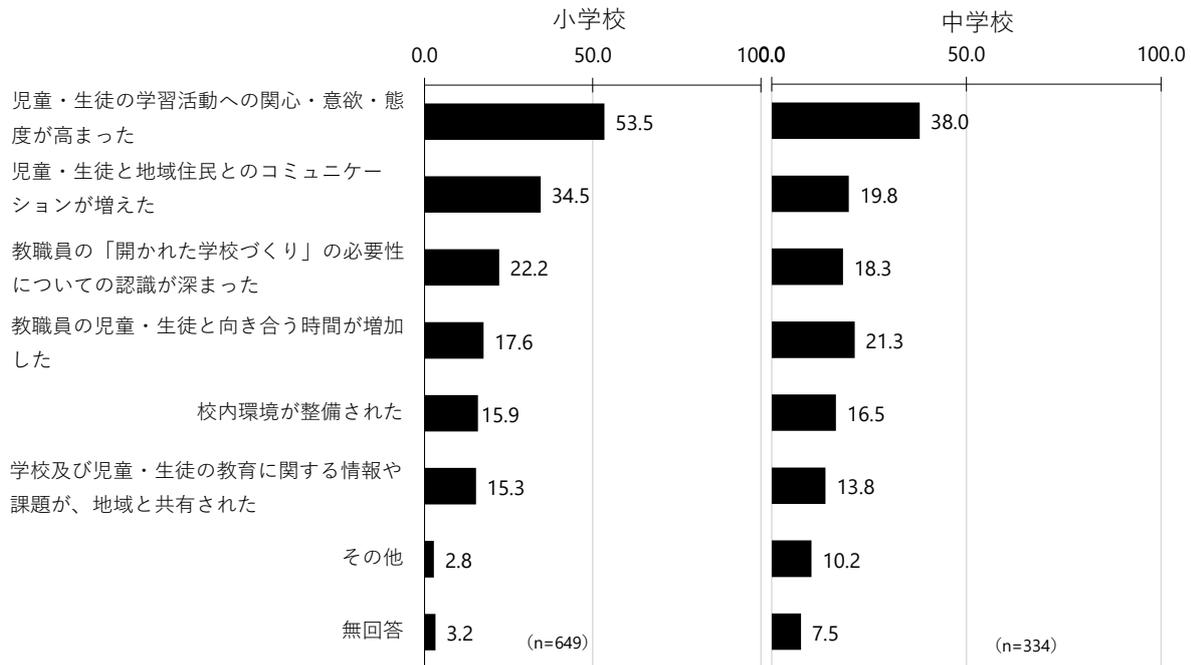
「児童・生徒の学習活動への関心・意欲・態度が高まった」が48.2%と最も多く、次いで「児童・生徒と地域住民とのコミュニケーションが増えた」が29.5%、「教職員の「開かれた学校づくり」の必要性についての認識が深まった」が20.9%、「教職員の児童・生徒と向き合う時間が増加した」が18.8%、「校内環境が整備された」が16.1%となっています。



【『その他』の意見(抜粋)】

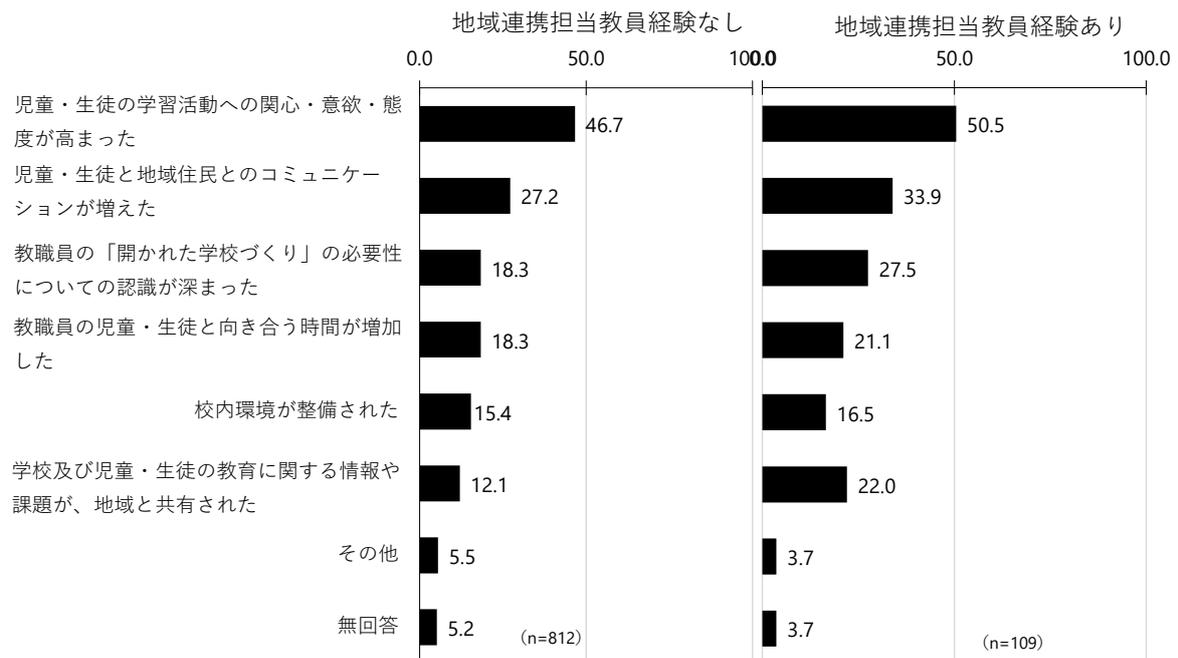
- ・教員の負担が減った、別の業務の時間が得られるようになった
- ・部活動指導員は助かっている ・一部の不登校生徒の対応ができるようになった
- ・教員の労働環境の改善が少しずつ進んできている
- ・一斉指導では指導しきれない児童への支援ができた ・興味関心の幅が広がった
- ・教員が地域の方と接する機会が増えた ・生徒の進路に対する意識が向上した
- ・部活動における技術向上 ・学校の抱える問題を多面的に捉え解決する糸口がつかめた

【参考】問 20 外部人材導入による学校、児童・生徒の変化(小中学校別)



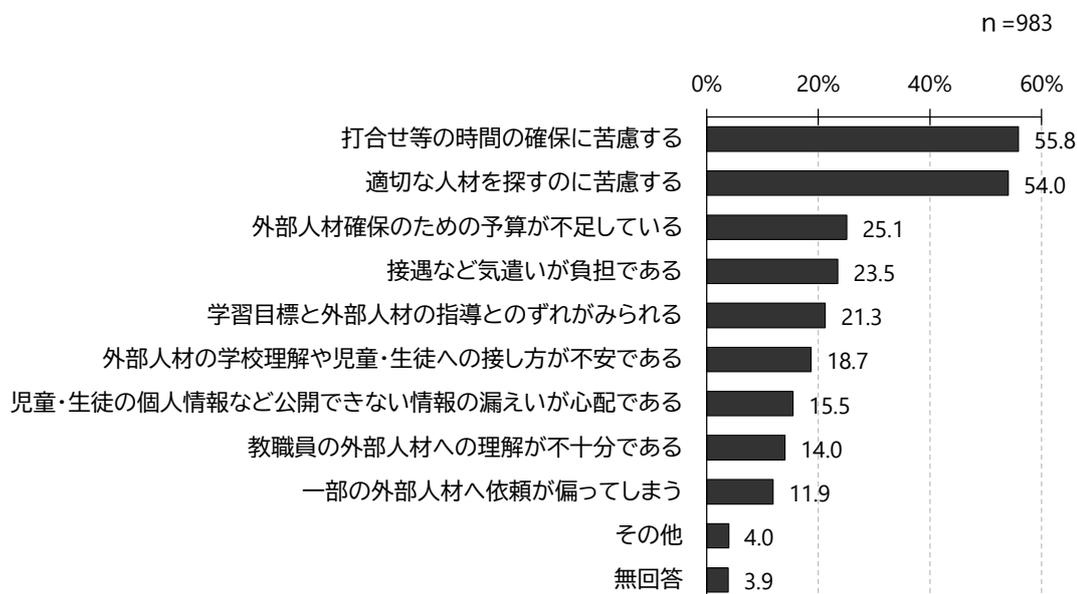
【参考】問 20 外部人材導入による学校、児童・生徒の変化
(地域連携担当教員の経験有無別)

※校長・副校長以外の教員のみ



問 21 学校現場に外部人材が入ることによる問題点は何ですか。(複数回答)

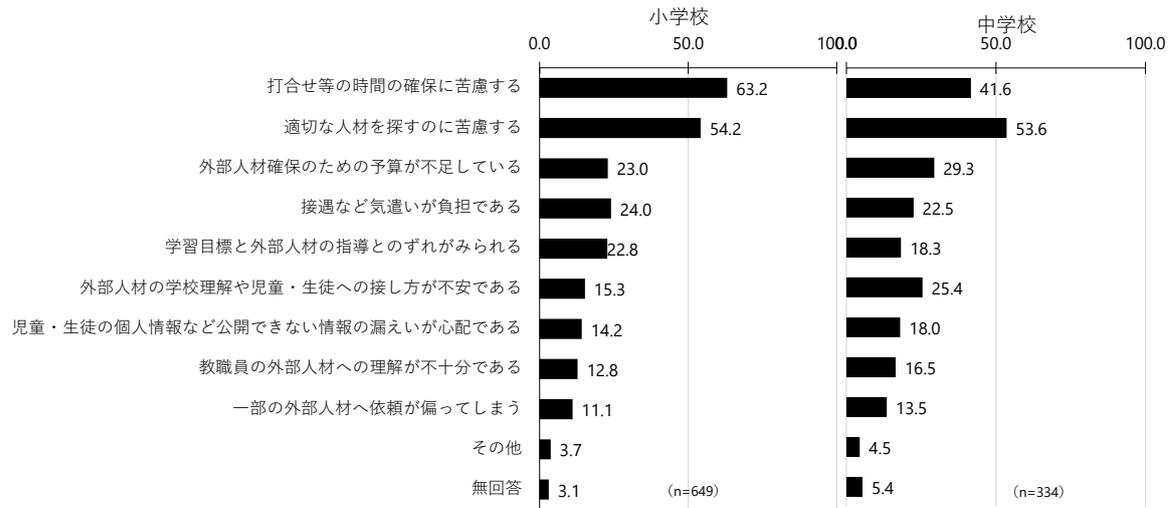
「打合せ等の時間の確保に苦慮する」が 55.8%と最も多く、次いで「適切な人材を探すのに苦慮する」が 54.0%、「外部人材確保のための予算が不足している」が 25.1%、「待遇など気遣いが負担である」が 23.5%、「学習目標と外部人材の指導とのずれがみられる」が 21.3%となっています。



【『その他』の意見(抜粋)】

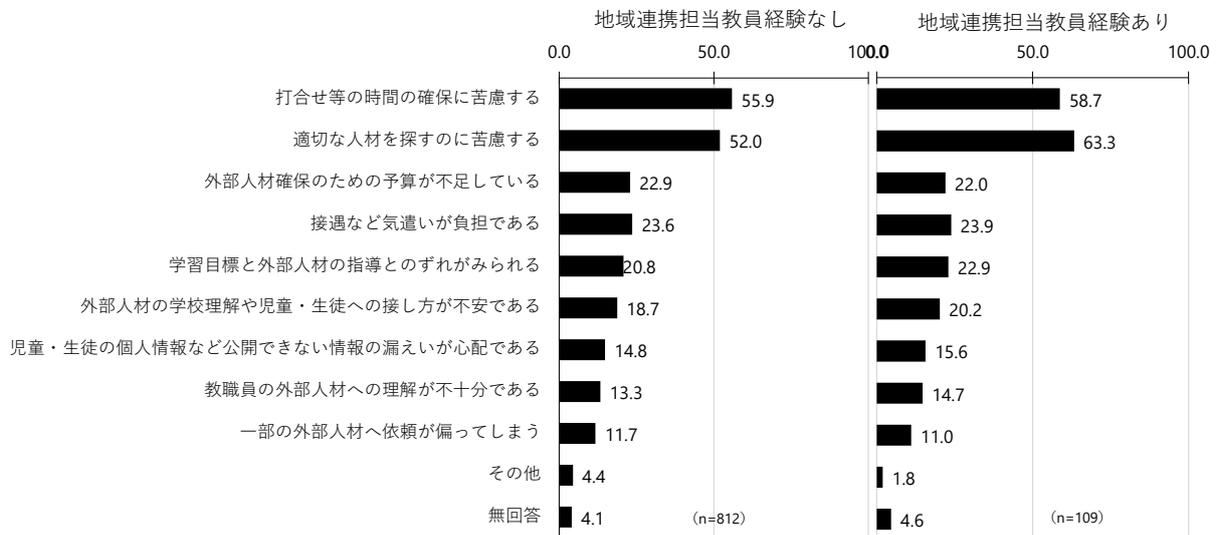
- ・打ち合わせ等で勤務時間超過が発生する
- ・管理職、教員による連絡・調整の負担が増える
- ・学校のルールを理解してもらえないことがある
- ・外部の講師が来ても結局顧問が部活をしなくてはいけないので、負担の軽減にならない
- ・探し方がわからない

【参考】問 21 外部人材導入による問題(小中学校別)



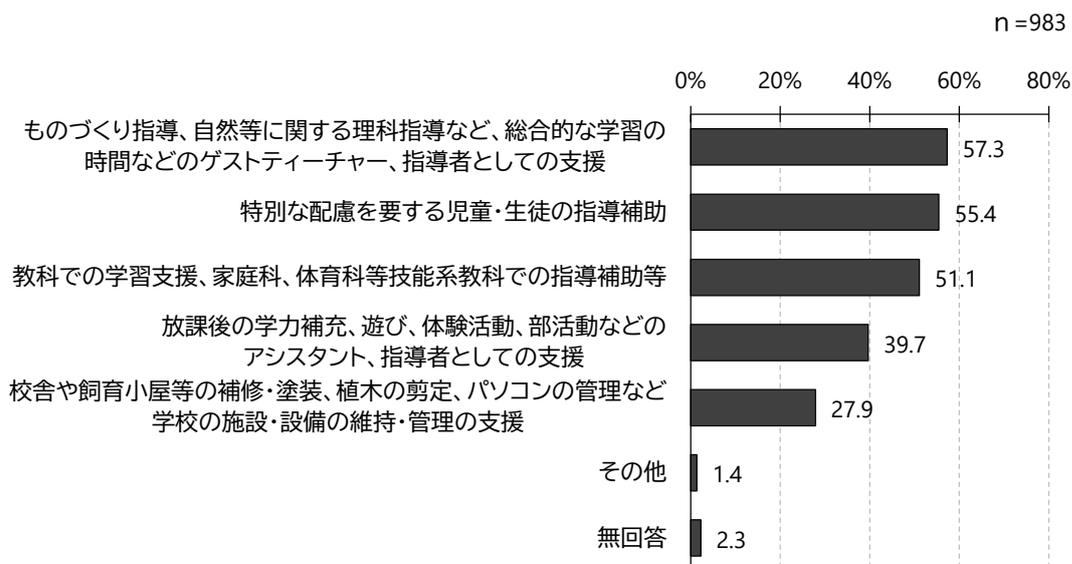
【参考】問 21 外部人材導入による問題(地域連携担当教員の経験有無別)

※校長・副校長以外の教員のみ



問 22 今後どのような分野で外部人材からの支援を受けたいと考えていますか。(複数回答)

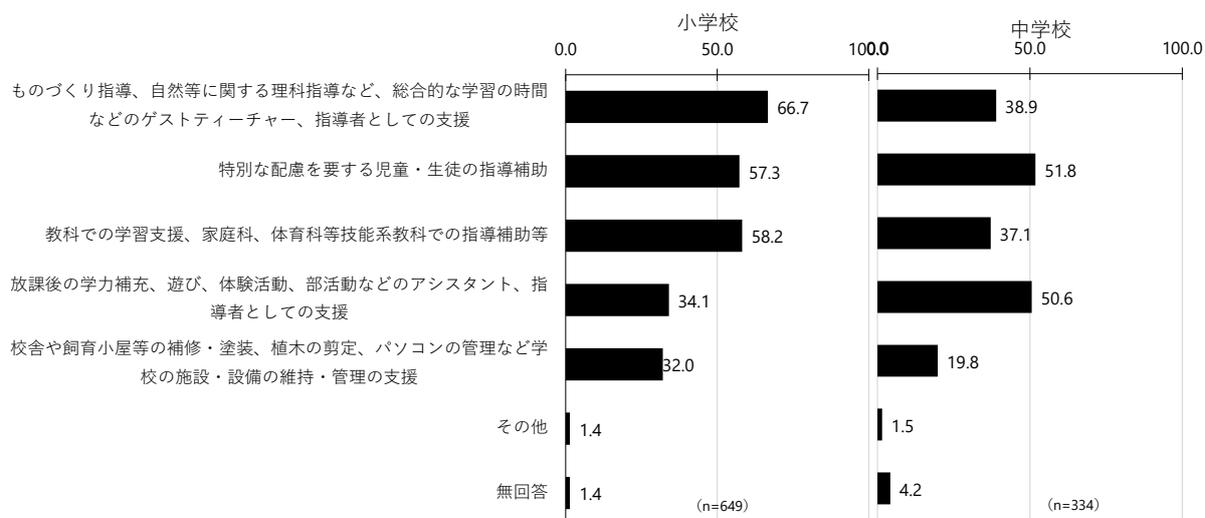
「ものづくり指導、自然等に関する理科指導など、総合的な学習の時間などのゲストティーチャー、指導者としての支援」が 57.3%と最も多く、次いで「特別な配慮を要する児童・生徒の指導補助」が 55.4%、「教科での学習支援、家庭科、体育科等技能系教科での指導補助等」が 51.1%、「放課後の学力補充、遊び、体験活動、部活動などのアシスタント、指導者としての支援」が 39.7%、「校舎や飼育小屋等の補修・塗装、植木の剪定、パソコンの管理など学校の施設・設備の維持・管理の支援」が 27.9%となっています。



【『その他』の意見(抜粋)】

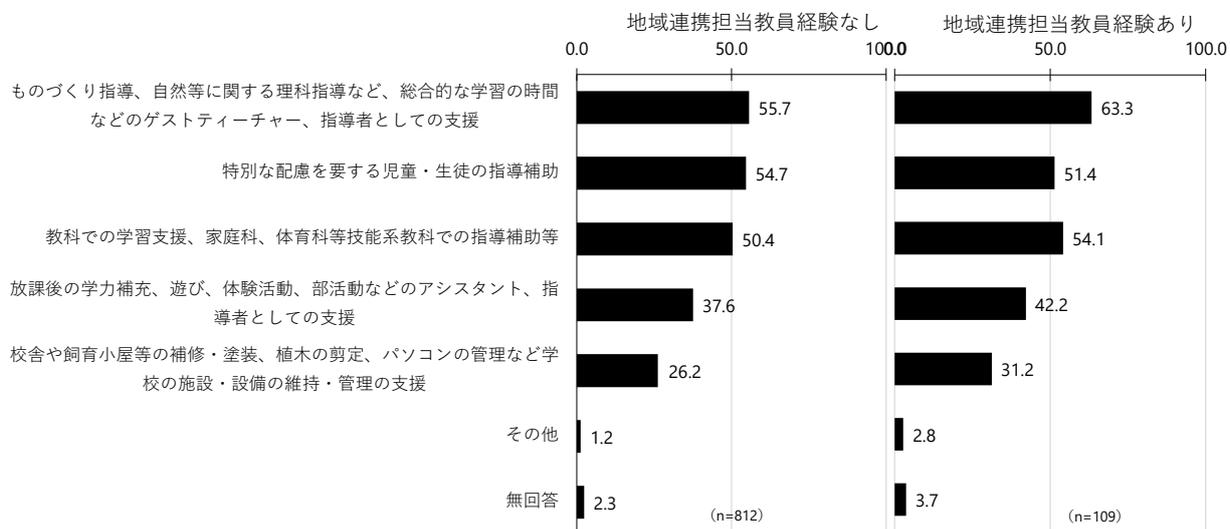
- ・ 理科支援員、学生ボランティア、副担任、会計処理、常駐の ICT 支援員、部活動審判
- ・ 教員の事務仕事をシステム化してもらう ・ 子どもと保護者のメンタルサポーター
- ・ 学習基礎の理解ができていない生徒にマンツーマンで対応する指導者

【参考】問 22 外部人材から受けたい支援の分野(小中学校別)



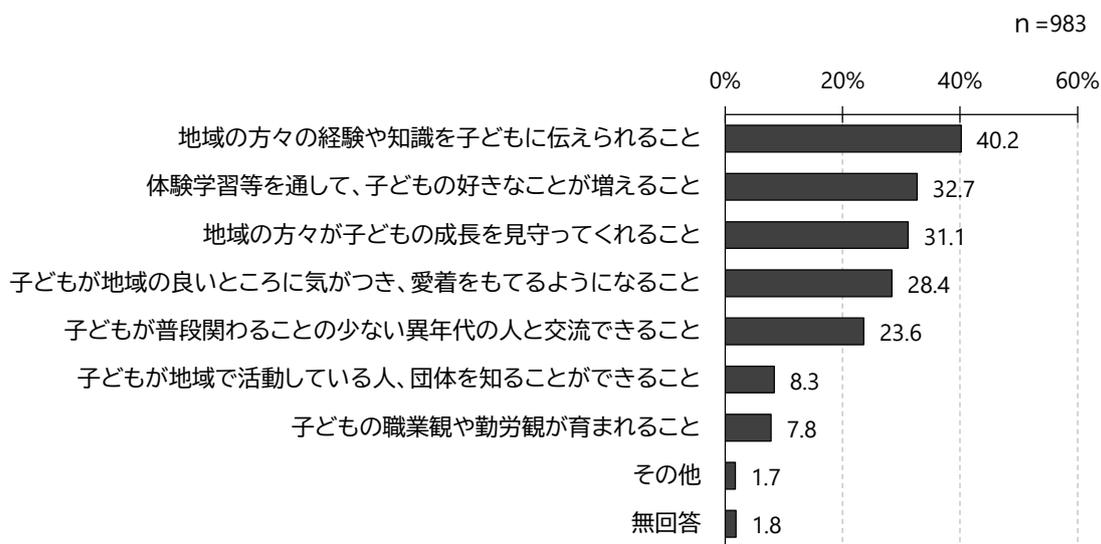
【参考】問 22 外部人材から受けたい支援の分野(地域連携担当教員の経験有無別)

※校長・副校長以外の教員のみ



問23 地域の方々が学校の授業や運営に参画することに期待することは何ですか。(複数回答)

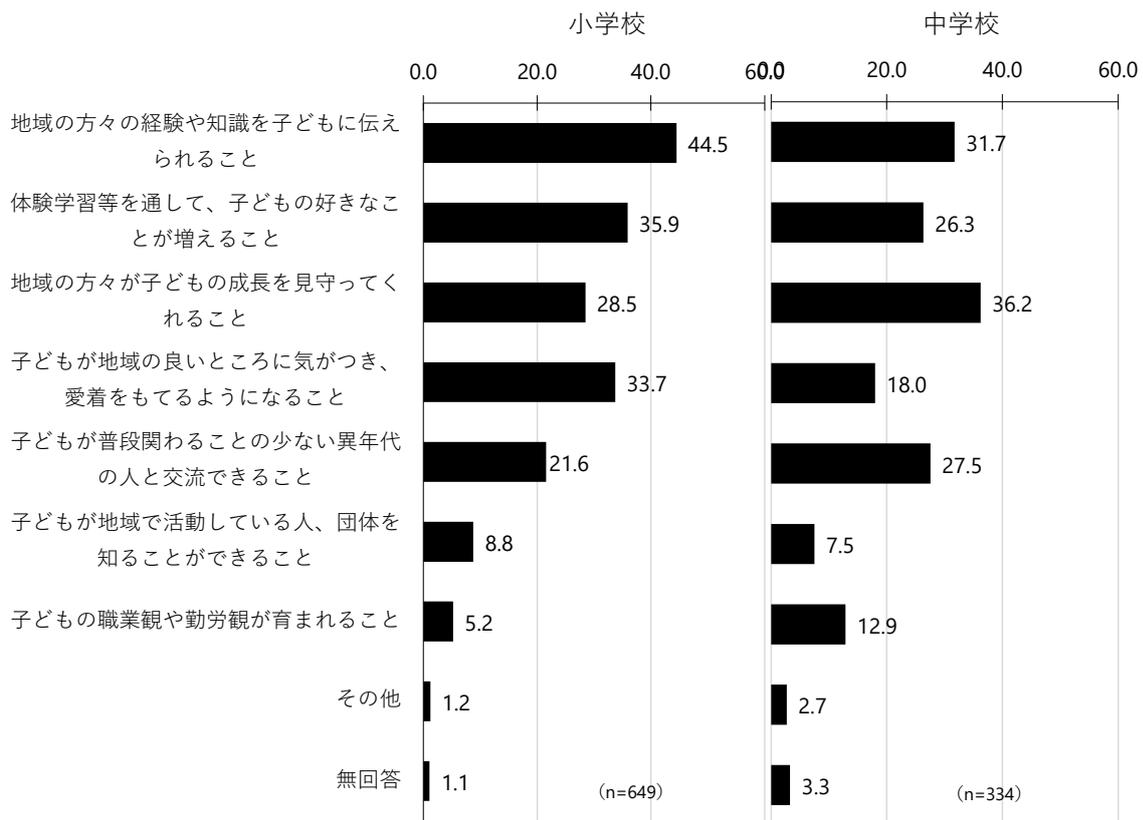
「地域の方々の経験や知識を子どもに伝えられること」が40.2%と最も多く、次いで「体験学習等を通して、子どもの好きなことが増えること」が32.7%、「地域の方々が子どもの成長を見守ってくれること」が31.1%、「子どもが地域の良いところに気がつき、愛着をもてるようになること」が28.4%、「子どもが普段関わることの少ない異年代の人と交流できること」が23.6%となっています。



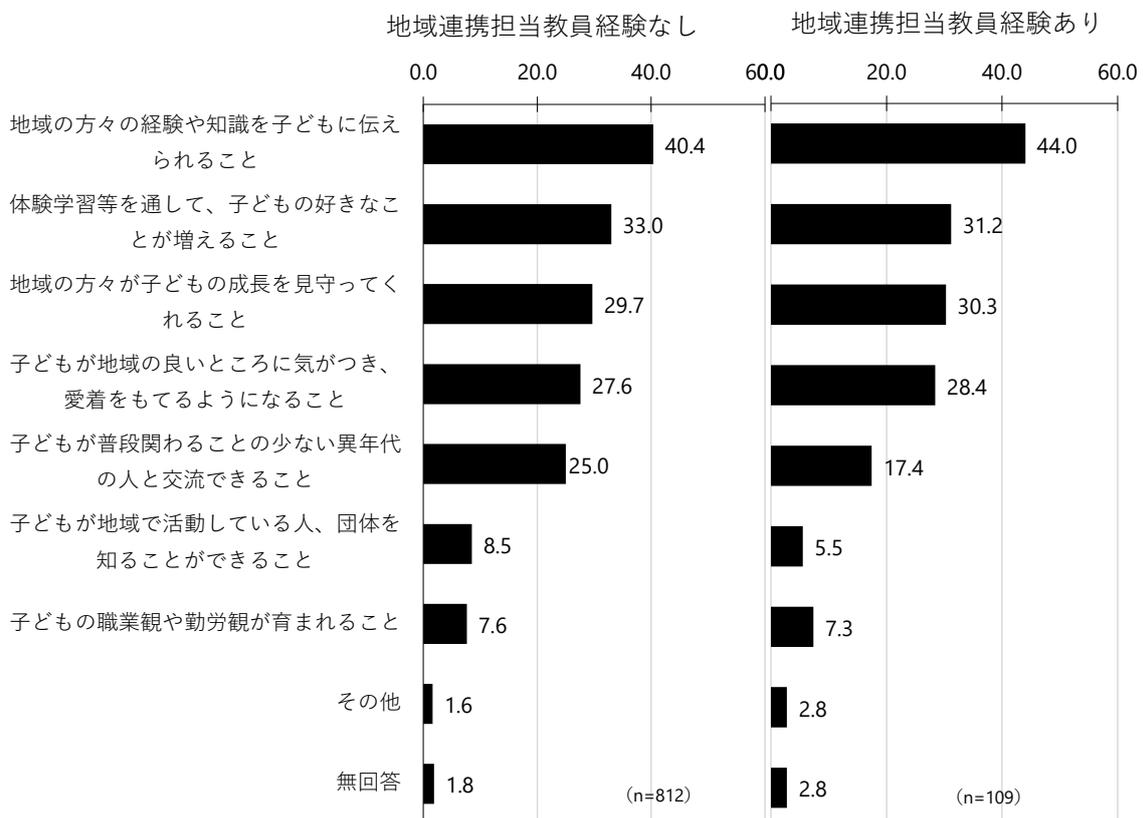
【『その他』の意見(抜粋)】

- ・教員の負担軽減 ・子どもの多世代交流 ・基礎学力の定着 ・不登校生徒の登校
- ・教員の時間確保 ・教員の意識改革が進む
- ・コミュニティスクールの一環として、地域から保護者の方へ学校の教育と現状について発信していただけるとなお助かる

【参考】問 23 地域の方々が学校に関わることで期待できること(小中学校別)



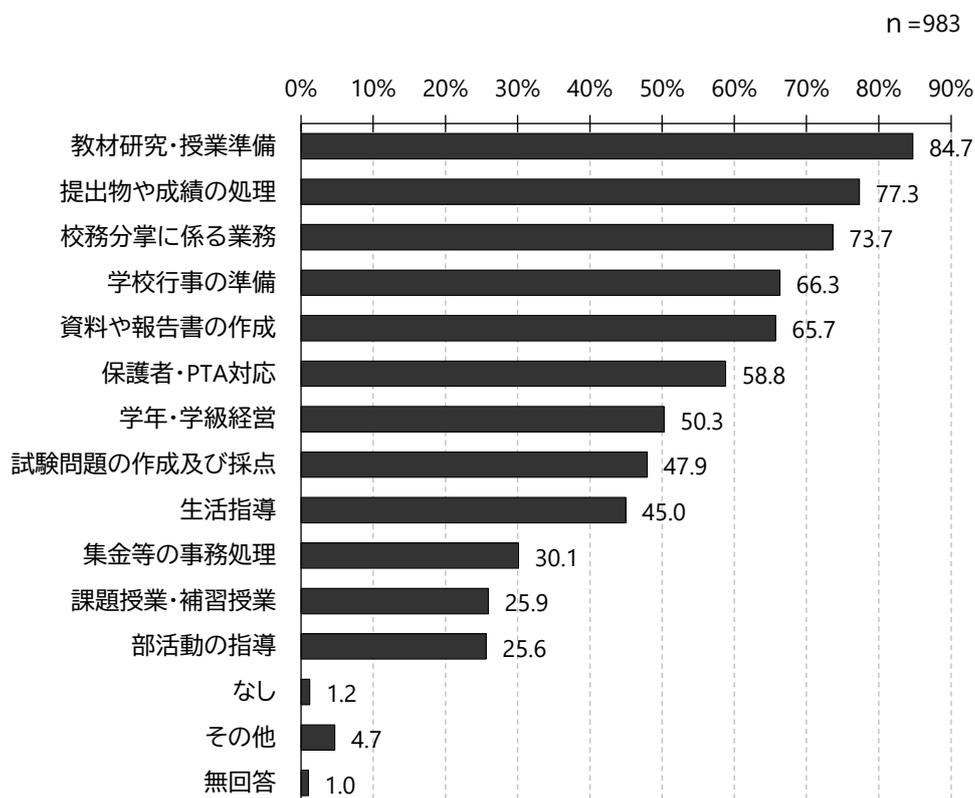
【参考】問 23 地域の方々が学校に関わることで期待できること
(地域連携担当教員の経験有無別)



現在の業務の状況についておうかがいします

問 24 平日の勤務時間外に行った仕事の内容は次のうちどれですか。(複数回答)

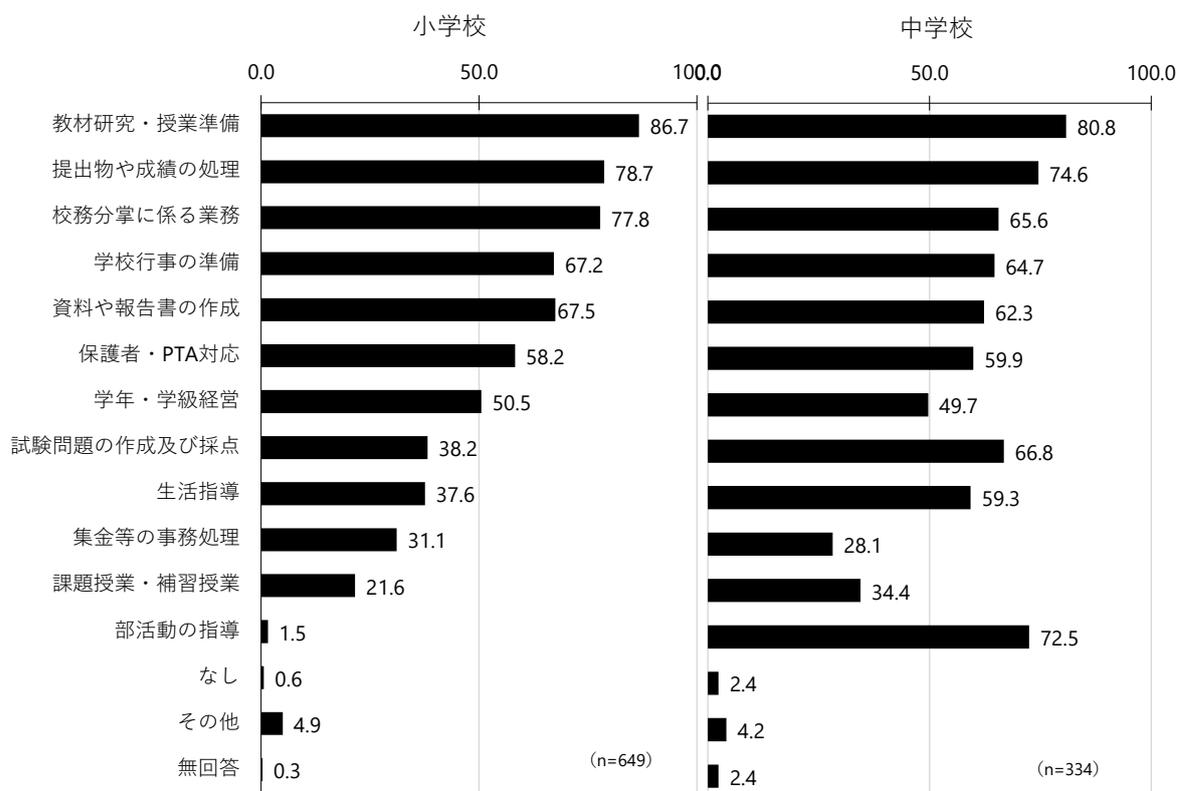
「教材研究・授業準備」が84.7%と最も多く、次いで「提出物や成績の処理」が77.3%、「校務分掌に係る業務」が73.7%、「学校行事の準備」が66.3%、「資料や報告書の作成」が65.7%となっています。



【『その他』の意見(抜粋)】

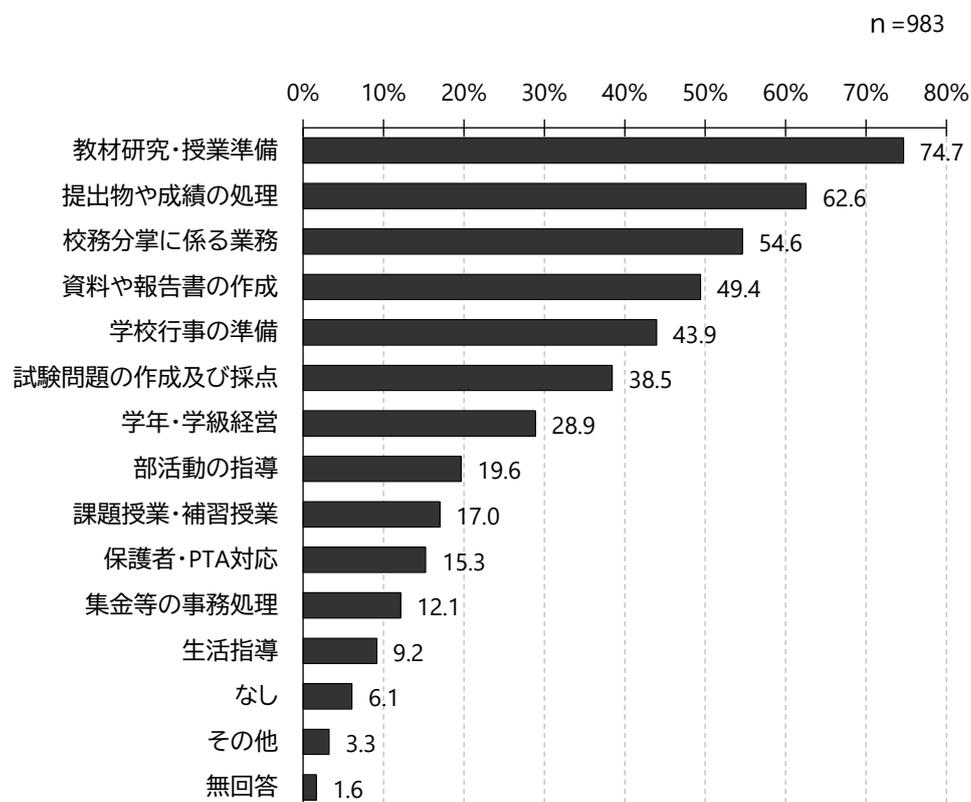
- ・ アンケート調査 ・ 外部人材との学力補充における打ち合わせ、課題準備
- ・ 部活動の応援、学校行事 ・ 学年の会議 ・ 地域パトロール
- ・ 登校の様子の見守りやそれに伴う児童の対応
- ・ 児童用・教員用のクロームブックに関する対応 (アカウント管理、機器のトラブル対応など)
- ・ 地域の会合等への参加 ・ 施設故障への対応・開放団体との懇談
- ・ 学校開放の連絡調整や事務処理 ・ 学級 (学年) で飼育する生き物の世話
- ・ 簡単な学校施設の修繕・教室の営繕修理清掃・委員会活動の企画やまとめ・不登校生徒対応 (家庭訪問、電話など)

【参考】問 24 平日の勤務時間外に行った仕事の内容(小中学校別)



問 25 やむを得ず休日に行った仕事の内容は次のうちどれですか。(複数回答)

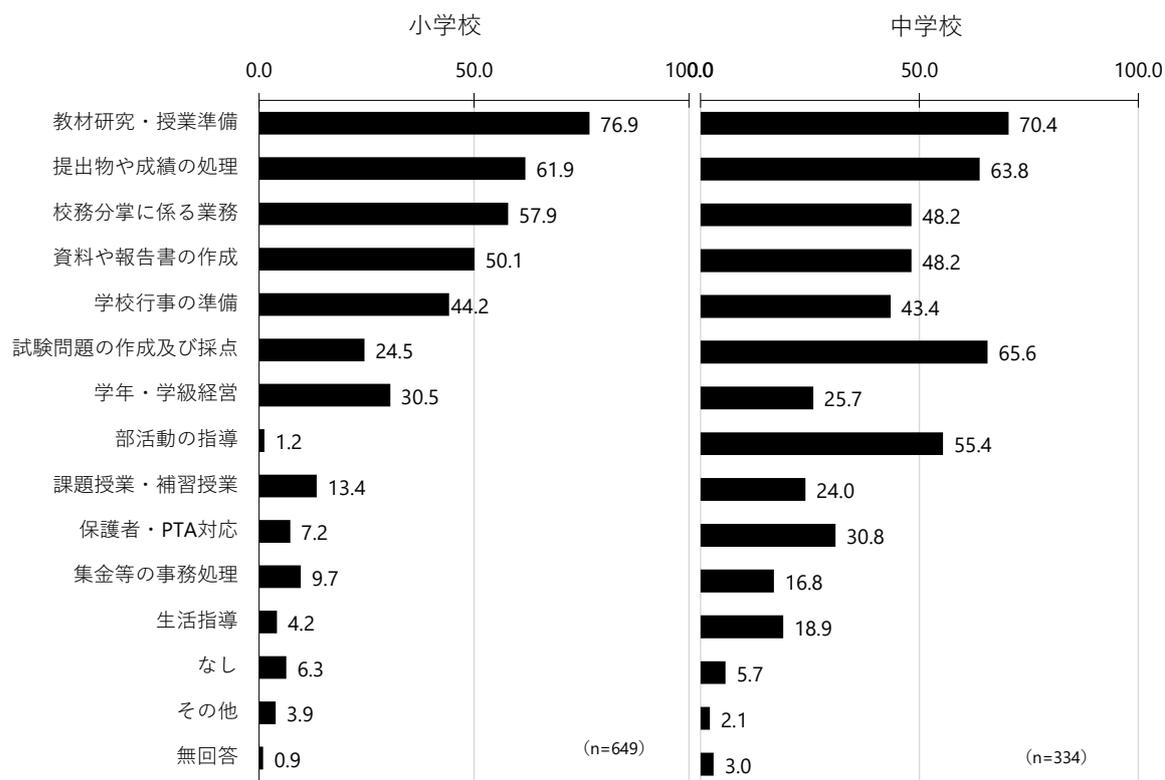
「教材研究・授業準備」が74.7%と最も多く、次いで「提出物や成績の処理」が62.6%、「校務分掌に係る業務」が54.6%、「資料や報告書の作成」が49.4%、「学校行事の準備」が43.9%となっています。



【『その他』の意見(抜粋)】

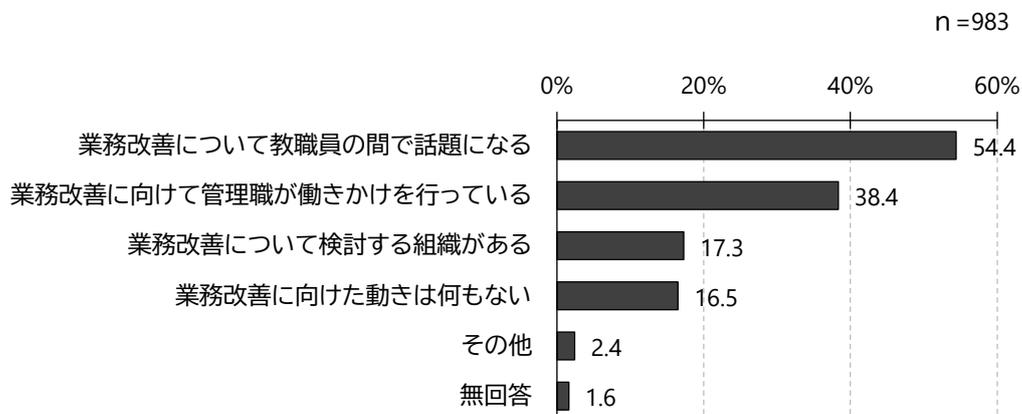
- ・アンケートへの回答
- ・地域の会合等への参加
- ・週案簿の点検、メールチェック
- ・飼育小屋のうさぎの世話、植物の水やり、鯉の池の給水、学校農園の管理
- ・教育課程作成
- ・学校医相談
- ・地域青少年育成行事
- ・遠足等の実地踏査
- ・研究に関わる研修会への参加
- ・科学教育センターの準備
- ・多職種連携に係る情報共有及び交換

【参考】問 25 休日に行った仕事の内容(小中学校別)



問 26 業務の改善に向けて、あなたの学校の現在の状況を教えてください。(複数回答)

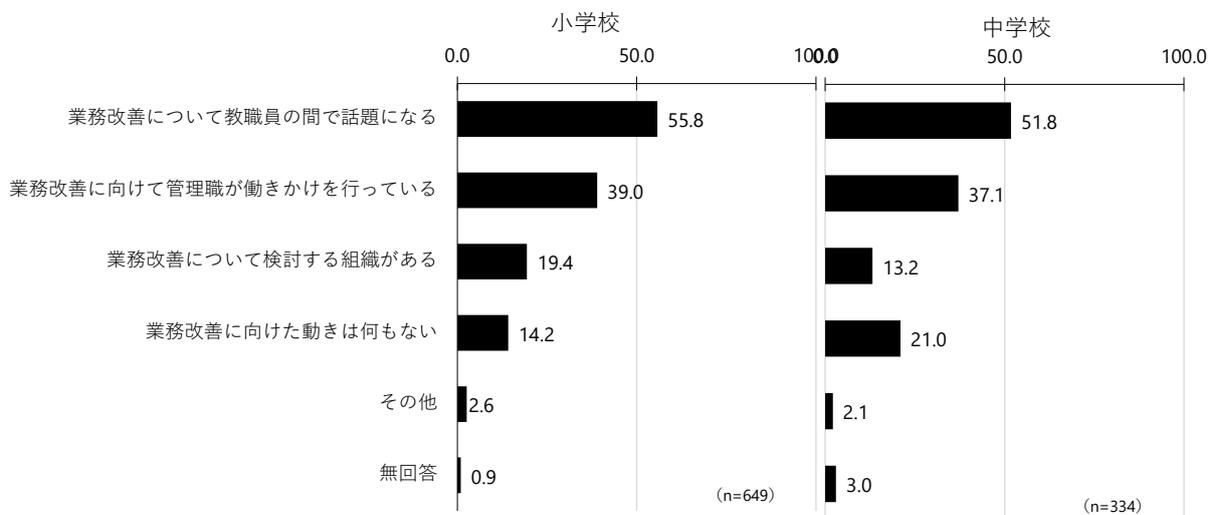
「業務改善について教職員の間で話題になる」が 54.4%と最も多く、次いで「業務改善に向けて管理職が働きかけを行っている」が 38.4%、「業務改善について検討する組織がある」が 17.3%、「業務改善に向けた動きは何もない」が 16.5%となっています。



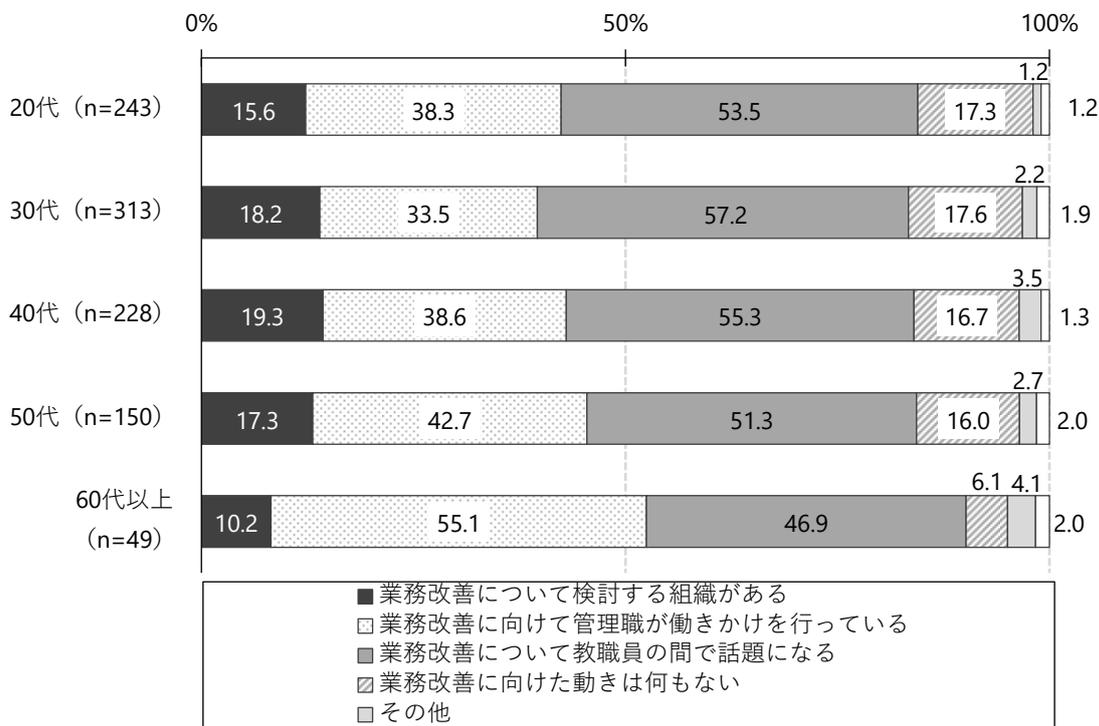
【『その他』の意見(抜粋)】

- ・学校でできることなのか疑問、改善できる業務があるのか
- ・話題には出るが、具体的な改善策までには至っていない
- ・衛生推進委員会で検討している ・残業を減らす方向にはあるが業務は軽減されていない
- ・校務分掌でどうしても偏りが出る ・ICT 関係で業務増大が話題になる
- ・校内だけではなく、もっと大きな枠で抜本的な改革が必要
- ・企画会議や運営会議で、各分掌、学年のチーフが検討している

【参考】問 26 業務改善に向けた学校の現状(小中学校別)



【参考】問 26 業務改善に向けた学校の現状(教員の年齢別)



問 27 どのような業務改善を行えば、どのような業務について負担が軽減されると思いますか。
ご意見をお聞かせください。(自由記述)

意見を大きく 10 項目に分けてみると、意見の合計は 624 件あり、そのうち「人員増」に関する意見が 134 件で最も多く、次いで「事務」に関する意見が 95 件、「その他体制等」に関する意見が 89 件となっています。

10 項目別の主な意見の抜粋一覧は次のとおりです。なお、1 人が複数の項目に関する意見内容を記入している場合があるため、意見数と回答者数は一致しません。

【項目別の主な意見】

1. 「調査・文書」に関する意見	【概要】 アンケート調査や報告書、書類作成等にかかる負担について
	【件数／割合】：85 件／13.6%
【主な意見】（抜粋） ・提出書類の厳選、簡略化。 ・同じ形式で提出できるようにしてほしい。 ・書類の削減や軽減。 ・紙ベースでの書類管理、情報共有を止めること。	
2. 「部活動(クラブ活動)」に関する意見	【概要】 部活動（クラブ活動）の教員顧問にかかる負担について
	【件数／割合】：32 件／5.1%
【主な意見】（抜粋） ・部活動の顧問の業務を、外部機関や人材に完全に委託できれば教員の業務全体にとってかなり大きな負担軽減になる。 ・平日も含め、部活の民間委託。	
3. 「人員増」に関する意見	【概要】 教員、専門員、支援員、外部委託人材等の増員について
	【件数／割合】：134 件／21.5%
【主な意見】（抜粋） ・プールの外部人材委託。 ・校務のみの担当職員を用意する。 ・教員以外ができる仕事（印刷や集金関係など）をやってくれる方が増えてほしい。 ・水泳指導・プール管理を外部に委託する。 ・スクールサポートスタッフの増員。 ・会計担当や通常級にいる配慮を要する児童に支援する人員を増やして欲しい。 ・単学級ではできないが、教科担任制の導入。 ・学校に、急遽休んで授業ができなくなった教員の代わりに入ることができる人や、掲示物や会計、外部との連携、学年便りなど、授業や成績と関係ない仕事をする人をつけてほしい。 ・授業補助、ICT 活用などフリーで動ける人材が欲しい。	

4.「事務」に関する意見	【概要】 集金や会計、出席、見守り、クレーム対応等の負担について
	【件数／割合】：95 件／15.2%
【主な意見】（抜粋） <ul style="list-style-type: none"> ・ 集金・会計処理を担当するスタッフの確保。 ・ 電話対応時間を勤務時間内とする。 ・ 報告ややり取りはチャットを活用する（記録が残るため）。 ・ 紙で行うべき業務と、データをメインに行うべき業務の整理。 	

5.「研修・会議」に関する意見	【概要】 研修会の参加や会議出席の負担について
	【件数／割合】：41 件／6.6%
【主な意見】（抜粋） <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議を定時に収める。 ・ 会議を減らす、会議を短時間にする。 ・ 退勤時間や休憩時間を過ぎて、夕会や打ち合わせを行っているため、時間を厳守した業務改善を実施していただくと、負担が軽減される。 ・ 同じ議題を複数回話し合うことがあるので、会議を精査していく。 	

6.「授業」に関する意見	【概要】 授業内容や時間数、通知表（所見）作成の負担について
	【件数／割合】：50 件／8.0%
【主な意見】（抜粋） <ul style="list-style-type: none"> ・ 成績処理を簡単にする。 ・ 所見を年1回にする。 ・ 授業時数を減らす。 	

7.「行事」に関する意見	【概要】 学校行事や地域行事の開催、準備等の負担について
	【件数／割合】：43 件／6.9%
【主な意見】（抜粋） <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校行事の縮小、精選、内容の削減。 ・ 地域行事参加の見直し。 ・ 行事に向けての取組を計画的に行い、短期間で集中して行えるような日程にする。 	

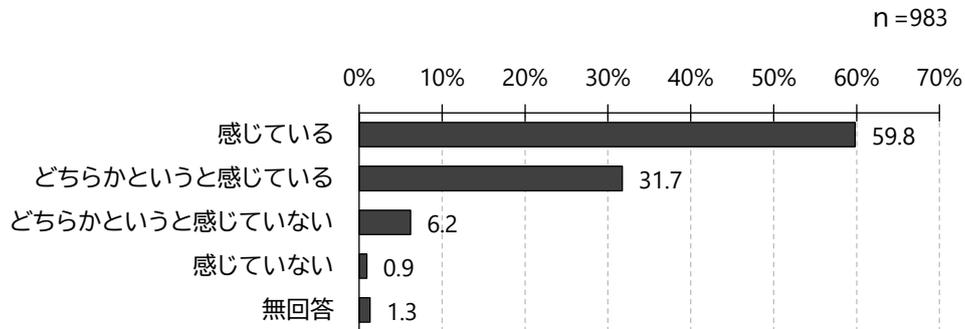
8.「新事業」に関する意見	【概要】 ICT 関連、Chromebook、校務支援システムの活用やキャリアプランなどの導入等の負担について
	【件数／割合】：41 件／6.6%
【主な意見】（抜粋） <ul style="list-style-type: none"> ・ タブレット端末へのアカウント付与やドリルソフトの ID・パスワードの付与など、ICT 機器の管理を外部委託することで負担が軽減すると思われる。 ・ Chromebook の故障や不具合の数が減ることなど、機器の交換など台数の余裕をつくる。 ・ 提出書類について、さらに校務支援システムなどを活用することで、印刷の手間等を軽減できる。 ・ 全てを電子化するのではなく、バランスややりやすさを考えて電子化を行う。 ・ 様々な ICT 関係の業務が増えたので、専門家にソフトでわからないところを助言してほしい。 	

9.「児童生徒数」に関する意見	【概要】 クラスの児童生徒数の定員を減らすことについて
	【件数／割合】：14 件／2.2%
【主な意見】（抜粋） <ul style="list-style-type: none"> ・ 1学級あたりの最大人数の削減。 ・ 1人あたりの教員に対する児童生徒数を少なくする。 ・ 1学級あたりの児童数を減らすことで、児童理解や授業内容、子どもの理解が深まると思う。 	

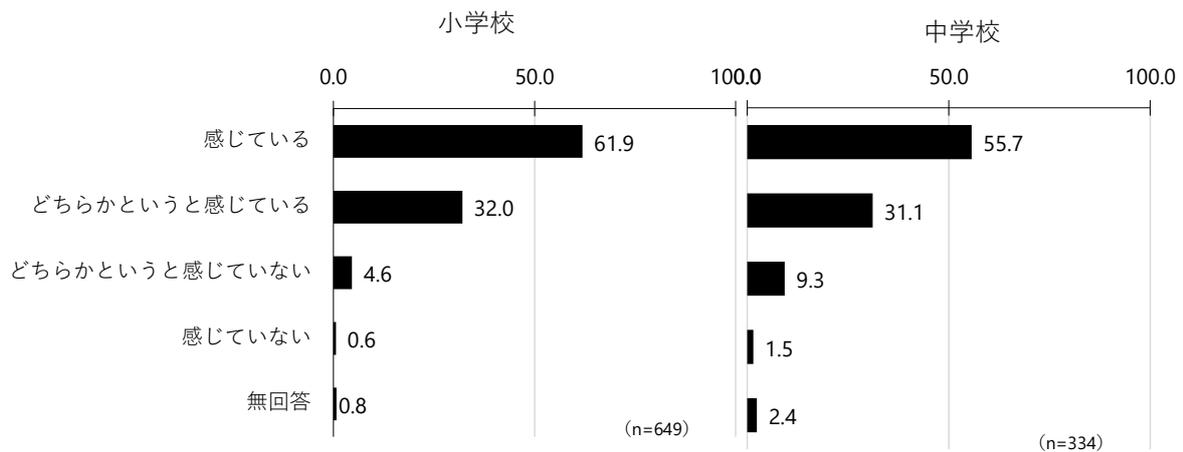
10.「その他体制等」に関する意見	【概要】 時間外業務や管理体制、校務分掌、校内設備等の改善について
	【件数／割合】：89 件／14.3%
【主な意見】（抜粋） <ul style="list-style-type: none"> ・ 校務分掌での役割分担がしっかり出来ており、組織的に仕事ができること。 ・ 「勤務時間外に働かざるを得ない状態」を改善することからだと思う。 ・ 組織で対応すれば個人の仕事量、心理的な負担の軽減につながる。 ・ 教職員、管理職が定時退勤しようと心がける。 ・ 業務の均等化。 特定の人材に業務が偏りすぎている。 ・ 管理職のリーダーシップで、業務を精選していく。 	

問 28 あなたは自分の業務が忙しいと感じていますか。

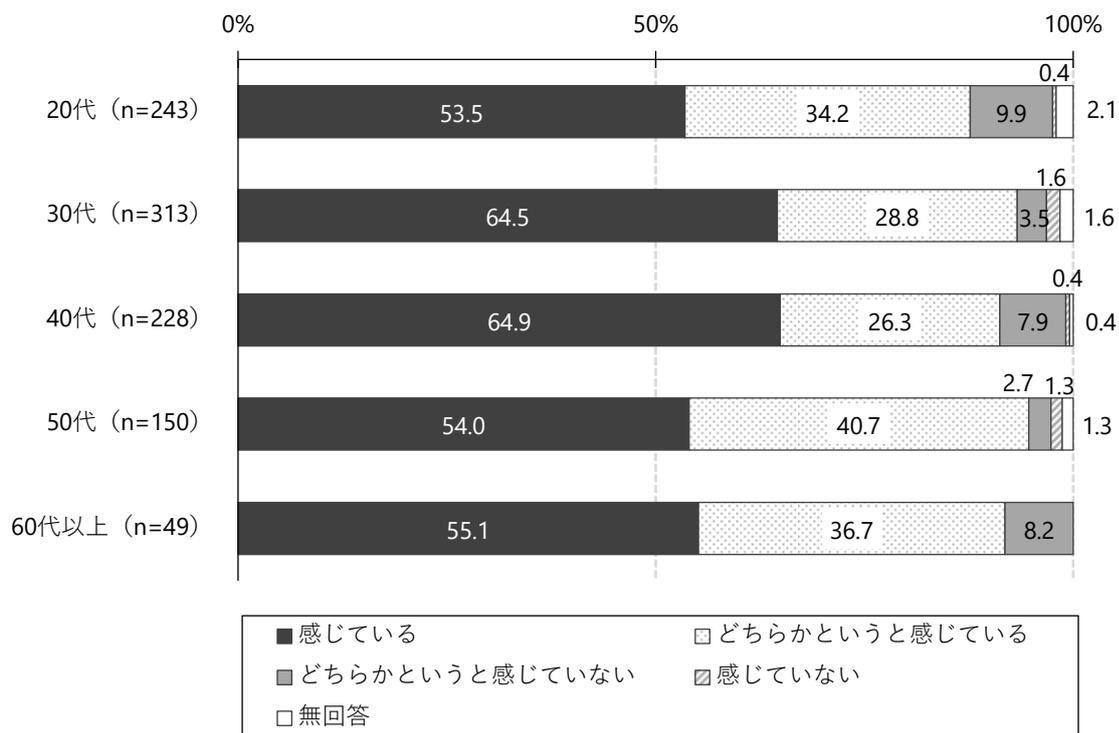
「感じている」が59.8%と最も多く、次いで「どちらかというと感じている」が31.7%、「どちらかというと感じていない」が6.2%、「感じていない」が0.9%となっています。



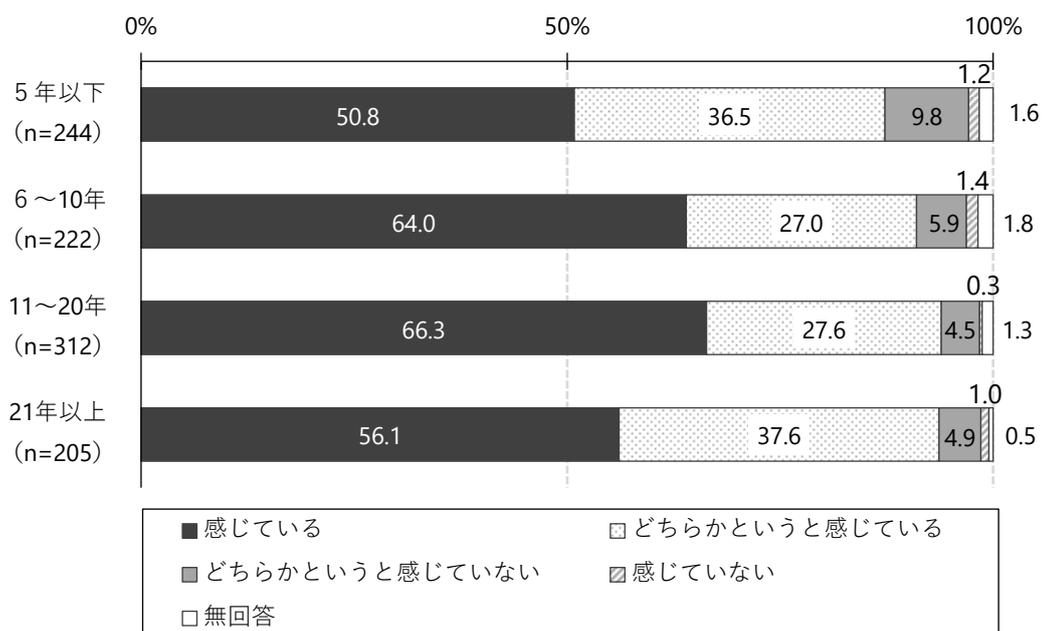
【参考】問 28 自分の業務が忙しいと感じているか(小中学校別)



【参考】問 28 自分の業務が忙しいと感じているか(教員の年齢別)

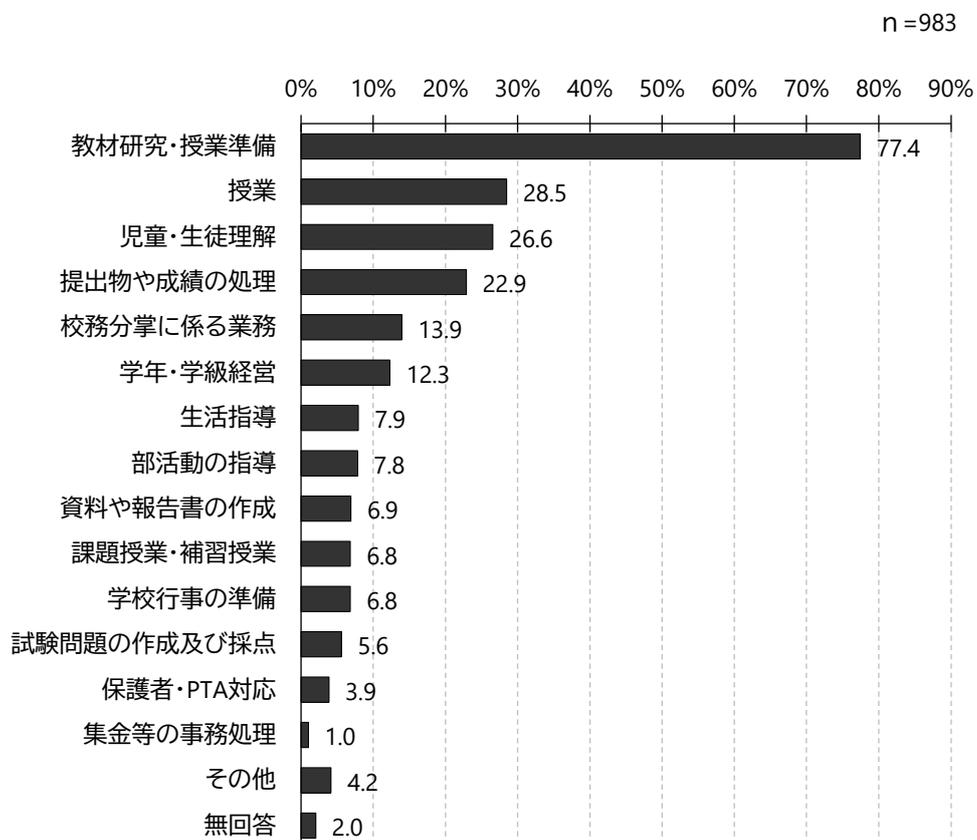


【参考】問 28 自分の業務が忙しいと感じているか(教員の経験年数別)



問29 あなたが大切だけれども、十分に時間が取れていないと感じている業務は次のうちどれですか。(複数回答)

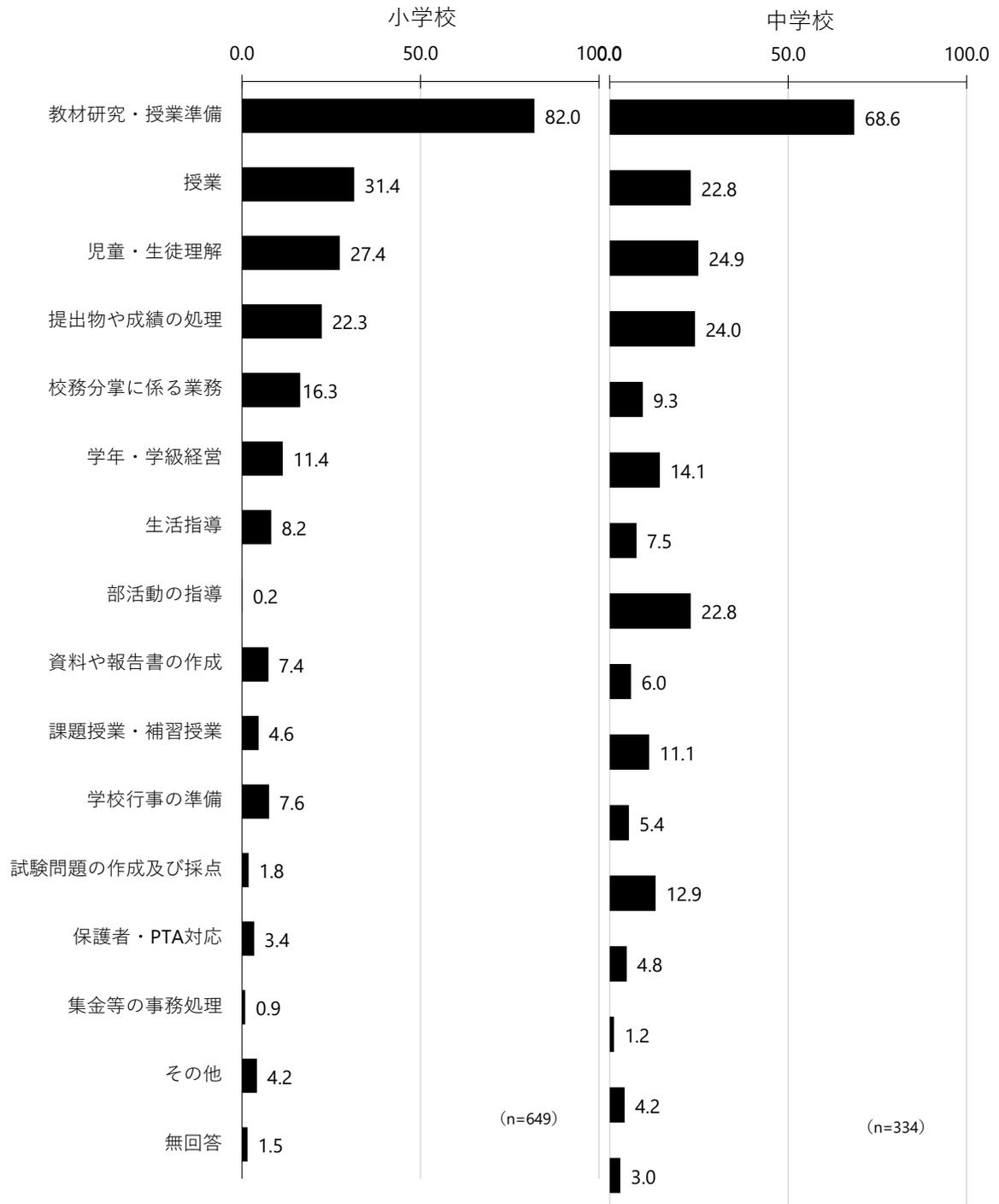
「教材研究・授業準備」が77.4%と最も多く、次いで「授業」が28.5%、「児童・生徒理解」が26.6%、「提出物や成績の処理」が22.9%、「校務分掌に係る業務」が13.9%となっています。



【『その他』の意見(抜粋)】

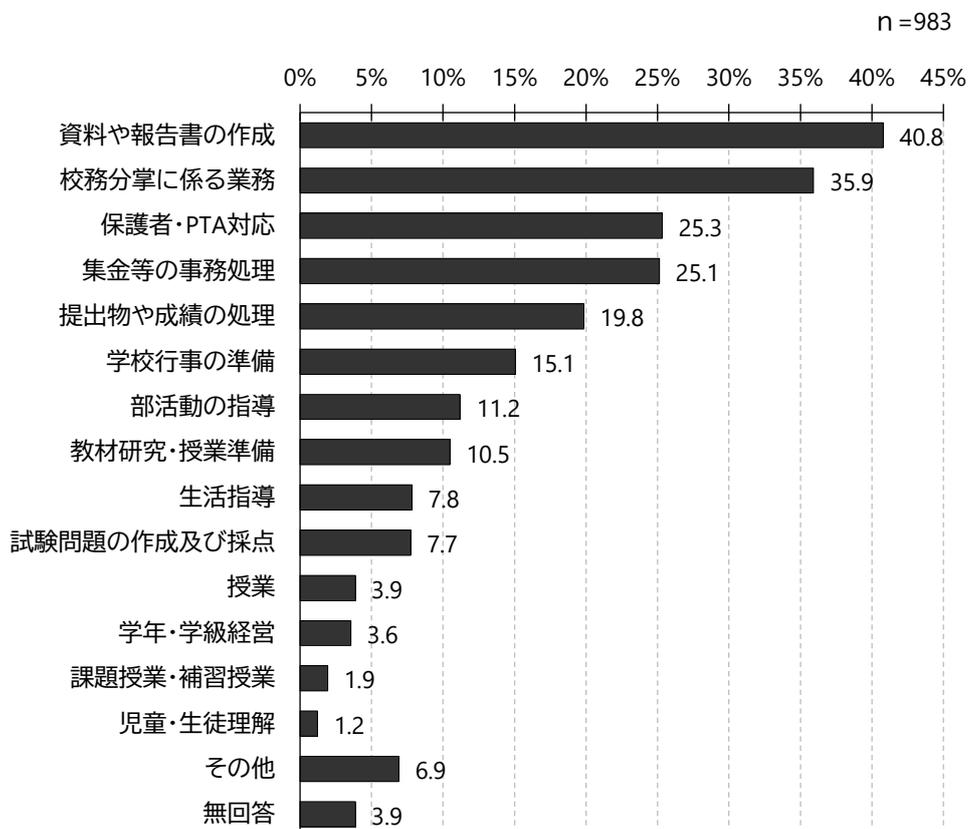
- ・若手を含む教員の育成 ・選択肢のすべてが重要であり、すべてに時間が不足している
- ・休み時間に子どもと遊ぶ時間 ・個別指導、個別支援 ・学校農園の維持管理
- ・OJT や自校や他校の教員との情報共有 ・教員のコミュニケーション、指導
- ・教職員間との意見交換・相談する時間が少ない ・副校長、都事務職員への業務フォロー

【参考】問 29 十分に時間が取れていないと感じる業務(小中学校別)



問 30 あなたが負担だと感じている業務は次のうちどれですか。(複数回答)

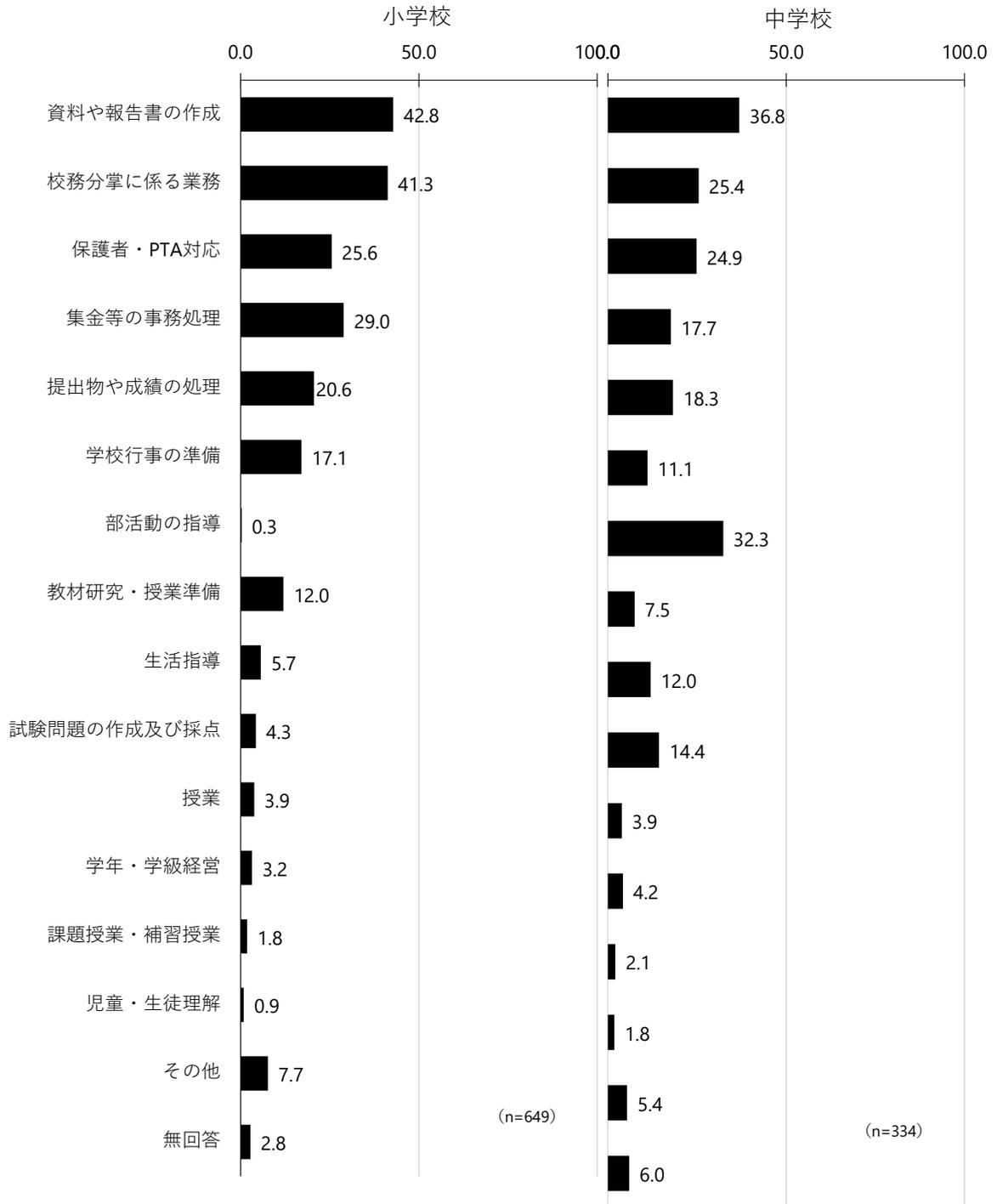
「資料や報告書の作成」が40.8%と最も多く、次いで「校務分掌に係る業務」が35.9%、「保護者・PTA対応」が25.3%、「集金等の事務処理」が25.1%、「提出物や成績の処理」が19.8%となっています。



【『その他』の意見(抜粋)】

- ・ アンケート調査 ・ 打ち合わせ、会議 ・ 研修 ・ 職員間のコミュニケーション
- ・ 生徒会活動、学年業務 ・ 教員への指導 ・ 産休代替教員への指導
- ・ 新型コロナウイルス感染症に関する諸対策 ・ 特別な配慮を要する児童のトラブル対応

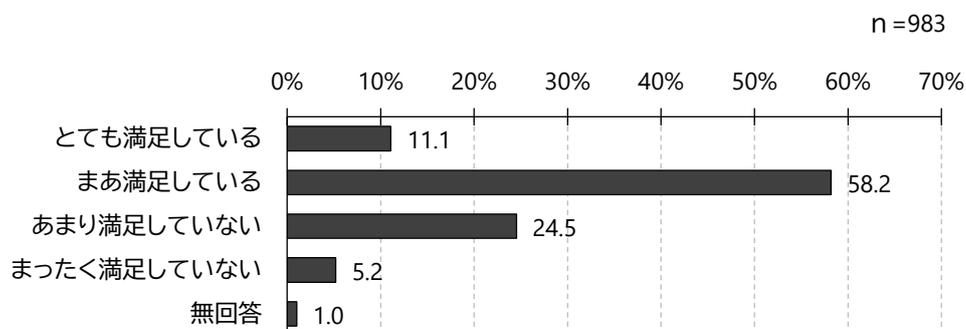
【参考】問 30 負担だと感じている業務(小中学校別)



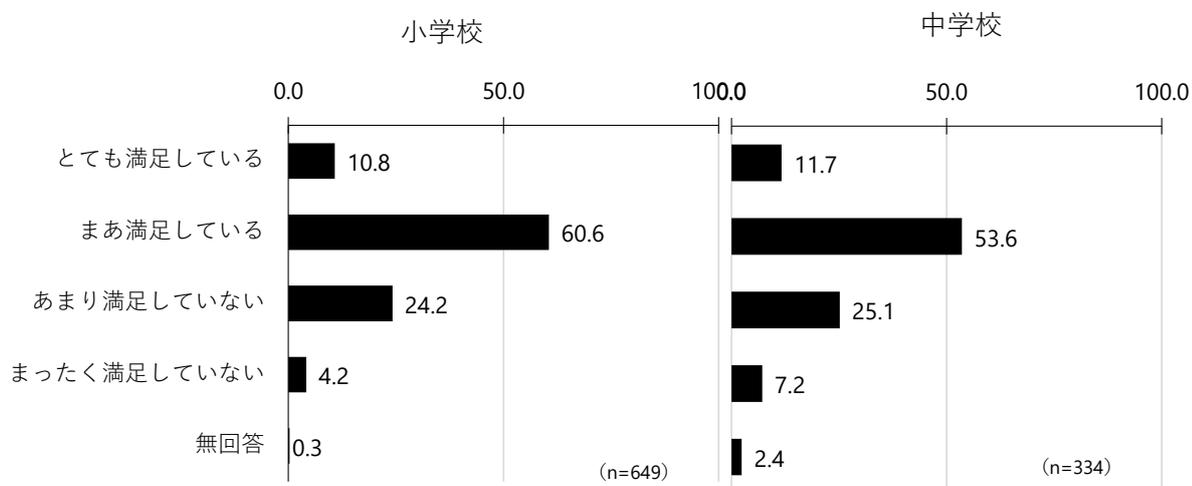
現在の教員生活の満足度についておうかがいします

問 31 あなたは、教員生活についてどのように感じていますか。

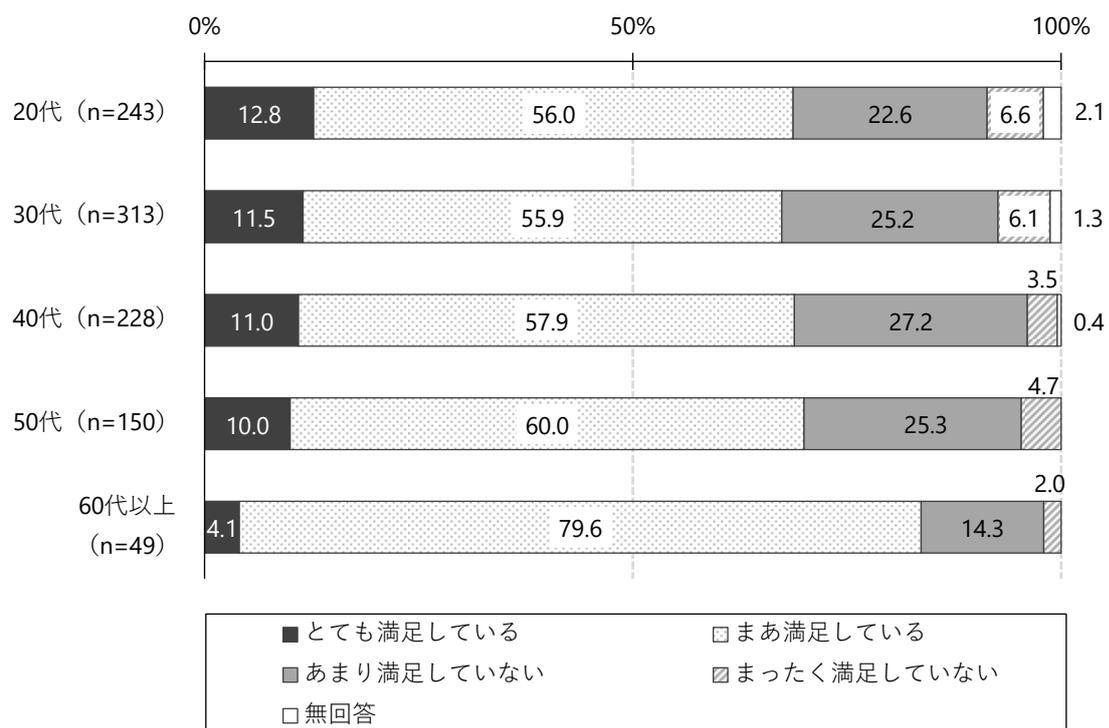
「まあ満足している」が58.2%と最も多く、次いで「あまり満足していない」が24.5%、「とても満足している」が11.1%、「まったく満足していない」が5.2%となっています。



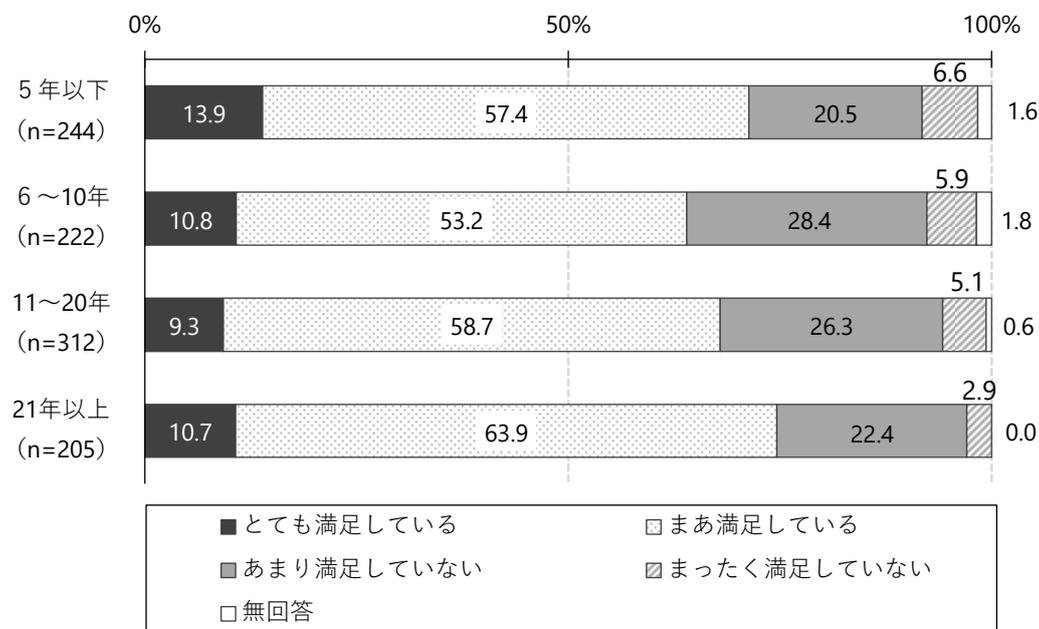
【参考】問 31 教員生活で感じていること(小中学校別)



【参考】問 31 教員生活で感じていること(教員の年齢別)



【参考】問 31 教員生活で感じていること(教員の経験年数別)



問 32 問 31 の回答を選択したのは、どのような理由ですか。(自由記述)

意見の合計は 602 件であり「とても満足している」、「まあ満足している」、「あまり満足していない」、「まったく満足していない」ごとの満足状況別の意見を大きく 11 項目(満足な意見 6 項目、不満な意見 5 項目)に分けました。

「とても満足している」では、「業務の充実感・達成感・やりがいがあり満足」が 27 件で最も多く、次いで「親しい仲間がいるなど働く環境が充実して満足」が 8 件、「児童生徒の成長をみたり関われることに満足」が 7 件となっています。

「まあ満足している」では、「業務の充実感・達成感・やりがいがあり満足」が 97 件で最も多く、次いで「多忙、超過残業、休日出勤など時間がなく不満」が 53 件、「児童生徒の成長をみたり関われることに満足」が 51 件となっています。

「あまり満足していない」では、「多忙、超過残業、休日出勤など時間がなく不満」が 81 件で最も多く、次いで「プライベートや家族との時間がつくれないなど、肉体的・精神的負担過多で不満」が 54 件、「煩雑な事務、部活動の負担、授業時数など業務内容に不満」が 43 件となっています。

「まったく満足していない」では、「プライベートや家族との時間がつくれないなど、肉体的・精神的負担過多で不満」が 16 件で最も多く、次いで「多忙、超過残業、休日出勤など時間がなく不満」が 12 件、「煩雑な事務、部活動の負担、授業時数など業務内容に不満」が 11 件となっています。

【満足状況別の主な意見】

1. 「とても満足している」の意見		【件数】：48 件
11 項目別意見の件数と割合		
▼満足な意見 6 項目	▼不満な意見 5 項目	
①児童生徒の成長をみたり関われることに満足 (7 件/14.6%)	⑦多忙、超過残業、休日出勤など時間がなく不満 (0 件/0.0%)	
②精神面の安定・業務負担が軽減されて満足 (4 件/8.3%)	⑧連携不足、業務負担の不平等など業務体制に不満 (0 件/0.0%)	
③業務の充実感・達成感・やりがいがあり満足 (27 件/56.3%)	⑨煩雑な事務、部活動の負担、授業時数など業務内容に不満 (0 件/0.0%)	
④親しい仲間がいるなど働く環境が充実して満足 (8 件/16.7%)	⑩プライベートや家族との時間がつくれないなど、肉体的・精神的負担過多で不満 (2 件/4.2%)	
⑤業務時間が多少でも余裕があり満足 (0 件/0.0%)	⑪業務量に対して給料が見合っていないため不満 (0 件/0.0%)	
⑥収入が安定して満足 (0 件/0.0%)		
【主な意見】(抜粋) <ul style="list-style-type: none"> ・限られた勤務時間内に計画的に業務をこなせている。 ・生徒、上司、同僚に恵まれ、温かい雰囲気の中で取り組むことができたため。 ・好きな職業に就いているから。 ・子どもの成長を間近で共感できる。 ・頼れる教員がいる。 ・忙しいが、やりがいのある仕事だから。 ・職場環境に恵まれていると感じているため。 ・忙しいが、子どもたちとの関わりは楽しく、充実している。 ・自分の目標とする学校経営を目指して、教職員と共に協力して実施できているから。 		

2.「まあ満足している」の意見	【件数】：278 件
11 項目別意見の件数と割合	
▼満足な意見 6 項目	▼不満な意見 5 項目
①児童生徒の成長をみたり関われることに満足 (51 件/18.3%)	⑦多忙、超過残業、休日出勤など時間がなく不満 (53 件/19.1%)
②精神面の安定・業務負担が軽減されて満足 (10 件/3.6%)	⑧連携不足、業務負担の不平等など業務体制に不満 (6 件/2.2%)
③業務の充実感・達成感・やりがいがあり満足 (97 件/34.9%)	⑨煩雑な事務、部活動の負担、授業時数など業務内容に不満 (7 件/2.5%)
④親しい仲間がいるなど働く環境が充実していて満足 (24 件/8.6%)	⑩プライベートや家族との時間がつくれないなど、肉体的・精神的負担過多で不満 (9 件/3.2%)
⑤業務時間が多少でも余裕があり満足 (10 件/3.6%)	⑪業務量に対して給料が見合っていないため不満 (1 件/0.4%)
⑥収入が安定していて満足 (10 件/3.6%)	
<p>【主な意見】（抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多忙のためプライベートな時間をかなり犠牲にしてきた思いもあり、その点から全て満足とは言えないため。 ・教職員との良好な関係を構築できているから。 ・部活動指導が負担に感じることもあるため。 ・忙しすぎるが、自分が目指して辿り着いた道だから。 ・地域や副校長、本校の教員、事務職員の人柄に恵まれているから。 ・ほとんど仕事の毎日だが、子どもと関わるのは楽しいから。 ・昨年度より、帰宅時間が少し早いから。 ・教員間でのコミュニケーションが取りやすい環境である。 ・まだ休日に仕事をすることが少ない方だと思うから。 ・収入の安定、やりがいを感じられる。 ・自分のやりたいことを管理職が応援してくれている。 ・業務量が多く負担に感じるが、子どもの成長と向き合うことにやりがいを感じるため。 ・内容には満足しているが、どうしても家庭やプライベートを犠牲にしなければならない面があるから。 ・十分満足とは言えないが、仕事と家庭とのバランスをとれるようになってきたから。 	

3.「あまり満足していない」の意見	【件数】：228 件
11 項目別意見の件数と割合	
▼満足な意見 6 項目	▼不満な意見 5 項目
①児童生徒の成長をみたり関われることに満足 (4 件/1.8%)	⑦多忙、超過残業、休日出勤など時間がなく不満 (81 件/35.5%)
②精神面の安定・業務負担が軽減されて満足 (0 件/0.0%)	⑧連携不足、業務負担の不平等など業務体制に不満 (21 件/9.2%)
③業務の充実感・達成感・やりがいがあり満足 (5 件/2.2%)	⑨煩雑な事務、部活動の負担、授業時数など業務内容に不満 (43 件/18.9%)
④親しい仲間がいるなど働く環境が充実していて満足 (0 件/0.0%)	⑩プライベートや家族との時間がつくれないなど、肉体的・精神的負担過多で不満 (54 件/23.7%)
⑤業務時間が多少でも余裕があり満足 (0 件/0.0%)	⑪業務量に対して給料が見合っていないため不満 (20 件/8.8%)
⑥収入が安定していて満足 (0 件/0.0%)	
<p>【主な意見】（抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業がしたいのに、その準備が足りない。 ・疲労感、徒労感が軽減されない。 ・ワークライフバランスを取るのが現状難しく、やりがいは感じるが、身体がもつ心配になる点。 ・本来の教師としての仕事をある程度きちんとしようと思うと、勤務時間内では終わらない。 ・好きな仕事ではあるが、ずっと続けることが難しい職業だと感じている。 ・忙しくて児童と向き合う時間がない。 ・疲れて睡眠時間も少なくなり、ストレスになって健康を害する。 ・自分自身も同僚も、勤務時間外の業務に追われ、家庭やプライベートの時間を犠牲にしているため。 ・思うように仕事を進めることができない日が多いため。 ・コロナもあり、先生間の他愛のない交流がますます減ったこと。 ・最近になり、教員がブラックとも言われるようになってきたことが、残念でならない。 ・働き方改革が個人に任されている現状。 ・近年、校務分掌の業務の比重と責任が多くなっているから。 ・自分の学びたいことに取り組む時間や趣味を楽しむための時間とお金がない。 ・休む時間がないから。 	

4.「まったく満足していない」の意見	【件数】：48 件
11 項目別意見の件数と割合	
▼満足な意見 6 項目	▼不満な意見 5 項目
①児童生徒の成長をみたり関われることに満足 (0 件/0.0%)	⑦多忙、超過残業、休日出勤など時間がなく不満 (12 件/25.0%)
②精神面の安定・業務負担が軽減されて満足 (0 件/0.0%)	⑧連携不足、業務負担の不平等など業務体制に不満 (6 件/12.5%)
③業務の充実感・達成感・やりがいがあり満足 (0 件/0.0%)	⑨煩雑な事務、部活動の負担、授業時数など業務内容に不満 (11 件/22.9%)
④親しい仲間がいるなど働く環境が充実していて満足 (0 件/0.0%)	⑩プライベートや家族との時間がつくれないなど、肉体的・精神的負担過多で不満 (16 件/33.3%)
⑤業務時間が多少でも余裕があり満足 (0 件/0.0%)	⑪業務量に対して給料が見合っていないため不満 (3 件/6.3%)
⑥収入が安定していて満足 (0 件/0.0%)	
<p>【主な意見】（抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が力を入れたい業務に十分な時間を確保することができていないから。 ・家庭でゆっくり過ごす時間がないから。 ・仕事と家庭のバランスがまったくとれていない。 ・授業、部活指導に頑張りたいが、できない。 ・教員の仕事は増える一方で、減ったことがない。 ・異動して、わからないことが多く苦痛に感じることが多い。 ・平日は事務処理に忙殺され、教材研究や生徒と向き合う時間がほとんどないから。 ・子どもにしたいことがたくさんあるが、時間がなくてできない。 	

町田市の生涯学習施設の活用についておうかがいします

問 33 以下に掲げる町田市にある施設について、どの程度知っていますか。

問 34 問 33 で「知っている」と回答した項目について、施設が提供するサービスを教育活動の中で活用したことがありますか。

問 35 問 34 で「活用したことがない」と回答した項目について、活用したことがない理由は何ですか。(複数回答)

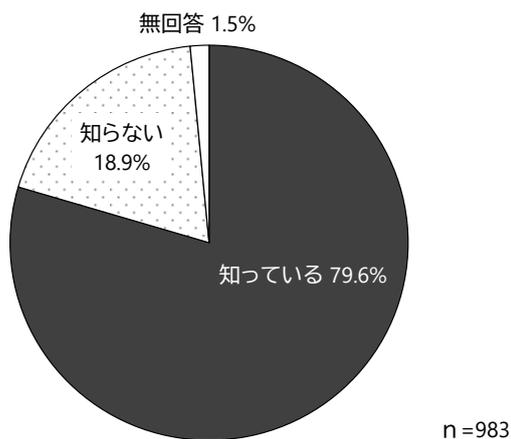
①図書館

認知度について、「知っている」が79.6%、「知らない」が18.9%となっています。

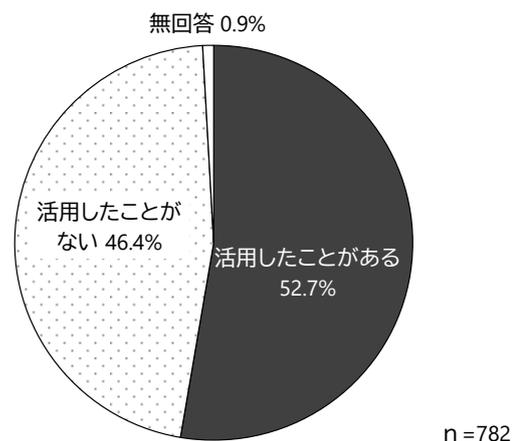
「知っている」と回答した方に、施設提供サービスの教育活動への活用の有無を聞くと、「活用したことがある」が52.7%、「活用したことがない」が46.4%となっています。

また、「活用したことがない」と回答した方の理由については、「活用する場面がない」が33.9%と最も多く、次いで「時間がとれない」が27.8%、「活用方法が分からない」が15.4%、「距離が遠い」が15.2%、「効果が見込めない」が0.8%となっています。

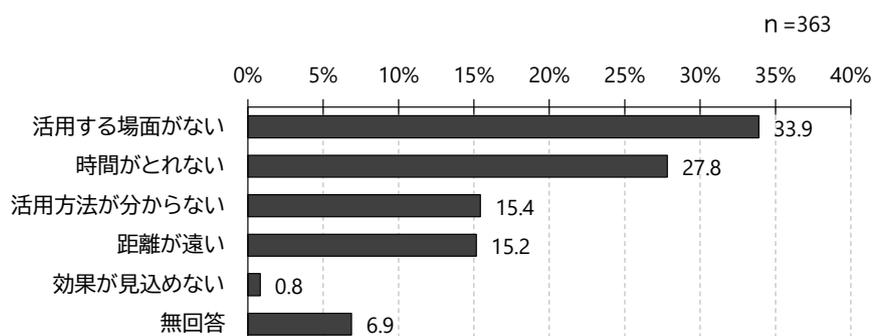
問 33 認知度



問 34 活用の有無



問 35 活用したことがない理由(複数回答)



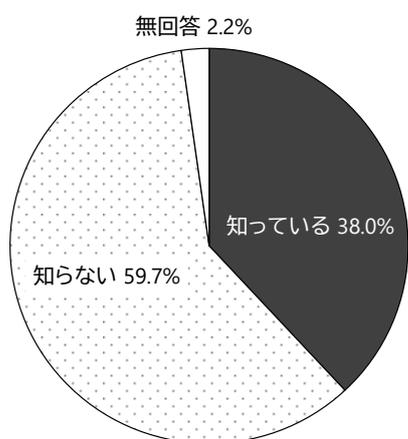
②町田市民文学館ことばらんど

認知度について、「知っている」が38.0%、「知らない」が59.7%となっています。

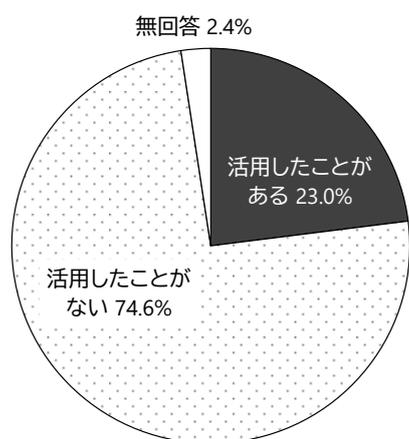
「知っている」と回答した方に、施設提供サービスの教育活動への活用の有無を聞くと、「活用したことがある」が23.0%、「活用したことがない」が74.6%となっています。

また、「活用したことがない」と回答した方の理由については、「活用方法が分からない」が34.8%と最も多く、次いで「活用する場面がない」が27.6%、「時間がとれない」が22.6%、「距離が遠い」が18.6%、「効果が見込めない」が1.1%となっています。

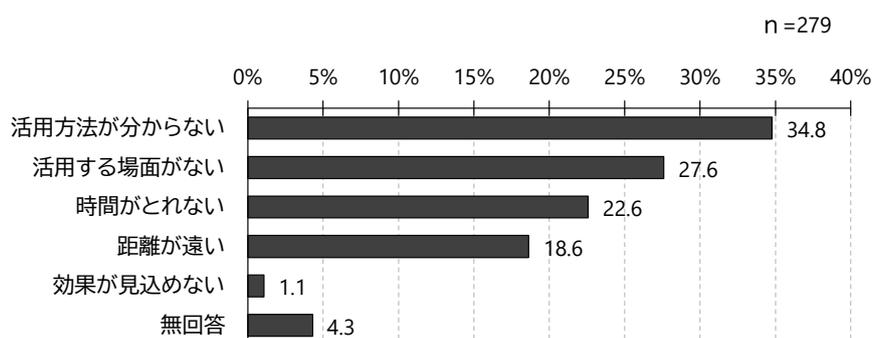
問 33 認知度



問 34 活用の有無



問 35 活用したことがない理由(複数回答)



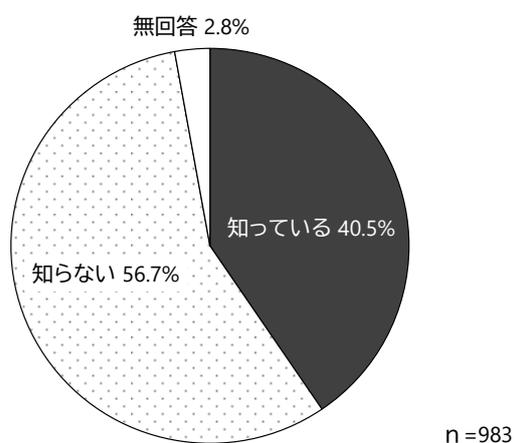
③生涯学習センター

認知度について、「知っている」が40.5%、「知らない」が56.7%となっています。

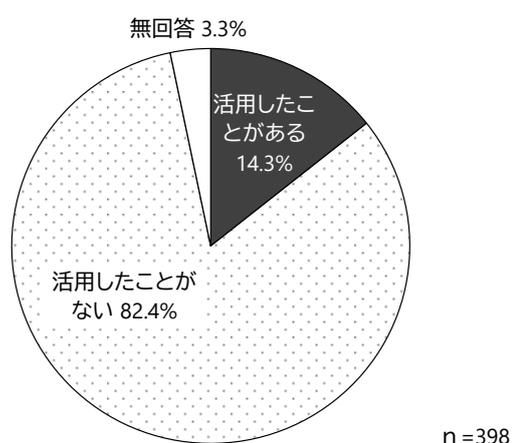
「知っている」と回答した方に、施設提供サービスの教育活動への活用の有無を聞くと、「活用したことがある」が14.3%、「活用したことがない」が82.4%となっています。

また、「活用したことがない」と回答した方の理由については、「活用方法が分からない」が37.8%と最も多く、次いで「活用する場面がない」が32.9%、「時間がとれない」が21.0%、「距離が遠い」が10.1%、「効果が見込めない」が1.8%となっています。

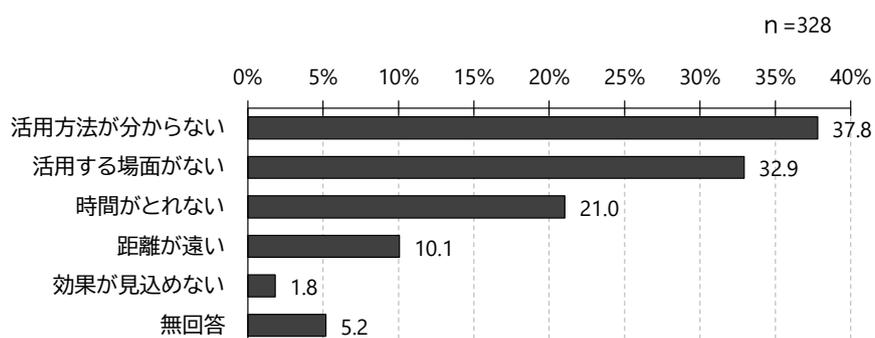
問 33 認知度



問 34 活用の有無



問 35 活用したことがない理由(複数回答)



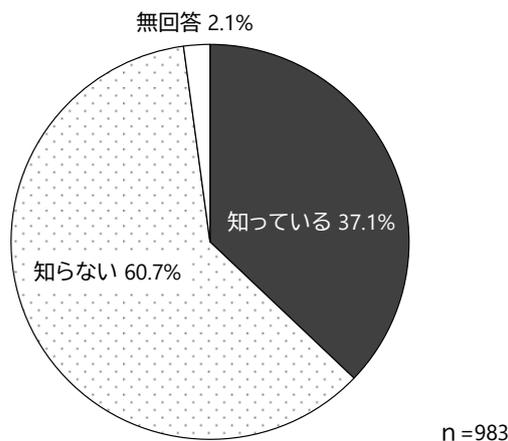
④自由民権資料館

認知度について、「知っている」が37.1%、「知らない」が60.7%となっています。

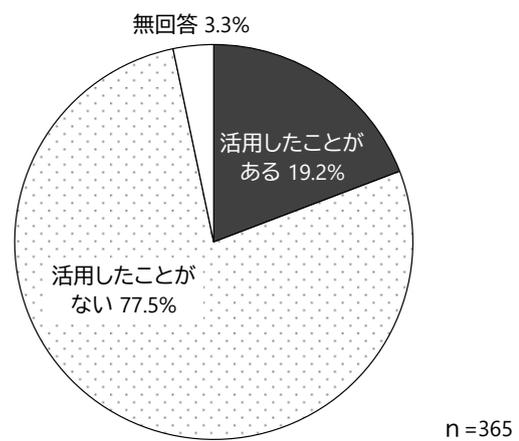
「知っている」と回答した方に、施設提供サービスの教育活動への活用の有無を聞くと、「活用したことがある」が19.2%、「活用したことがない」が77.5%となっています。

また、「活用したことがない」と回答した方の理由については、「活用する場面がない」が34.6%と最も多く、次いで「活用方法が分からない」が29.7%、「距離が遠い」が19.8%、「時間がとれない」が18.0%、「効果が見込めない」が1.4%となっています。

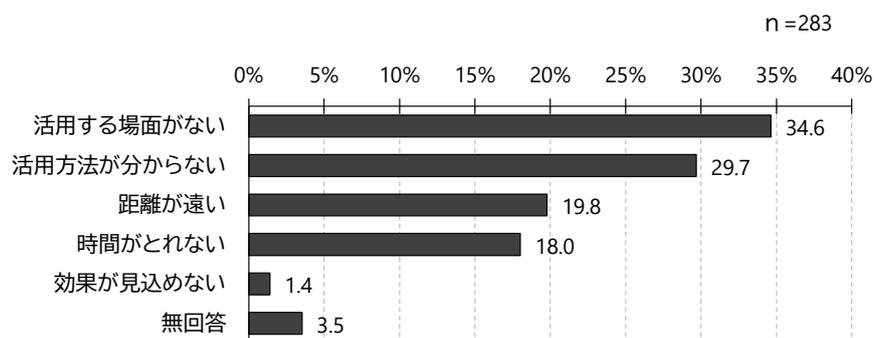
問 33 認知度



問 34 活用の有無



問 35 活用したことがない理由(複数回答)



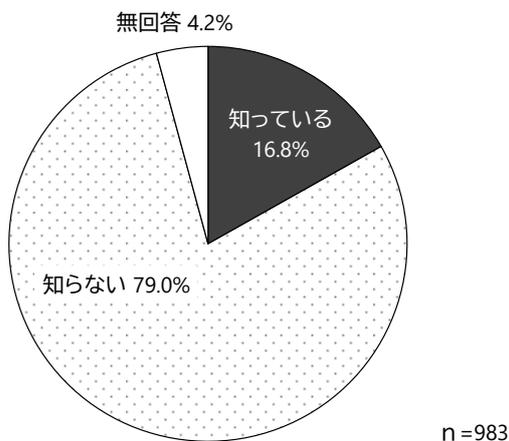
⑤考古資料室

認知度について、「知っている」が16.8%、「知らない」が79.0%となっています。

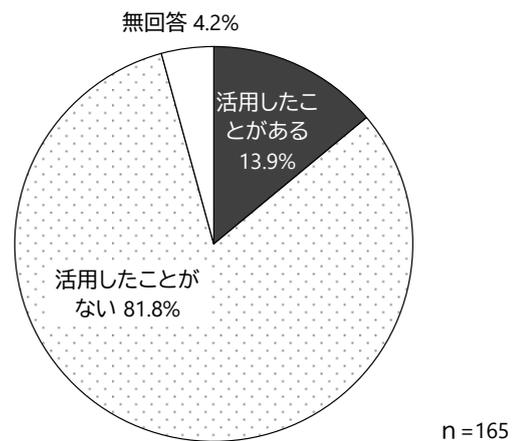
「知っている」と回答した方に、施設提供サービスの教育活動への活用の有無を聞くと、「活用したことがある」が13.9%、「活用したことがない」が81.8%となっています。

また、「活用したことがない」と回答した方の理由については、「時間がとれない」が31.9%と最も多く、次いで「活用する場面がない」が31.1%、「活用方法が分からない」が25.2%、「距離が遠い」が14.1%、「効果が見込めない」が0.7%となっています。

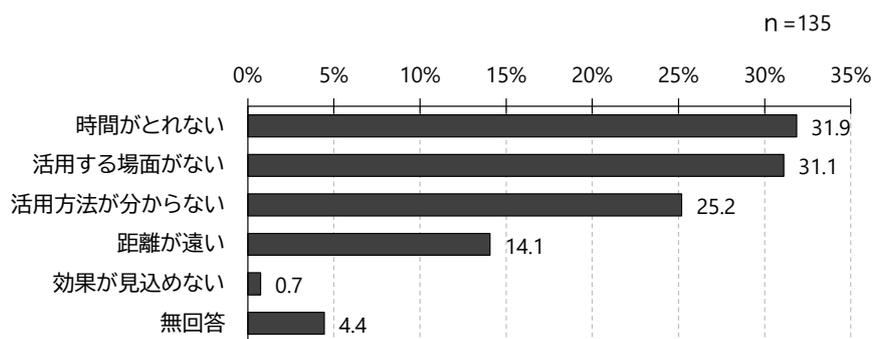
問 33 認知度



問 34 活用の有無



問 35 活用したことがない理由(複数回答)



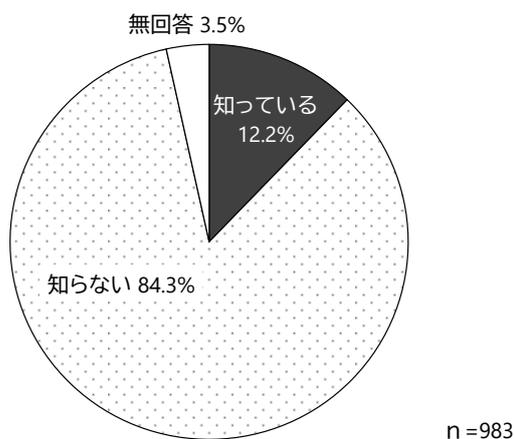
⑥町田デジタルミュージアム

認知度について、「知っている」が12.2%、「知らない」が84.3%となっています。

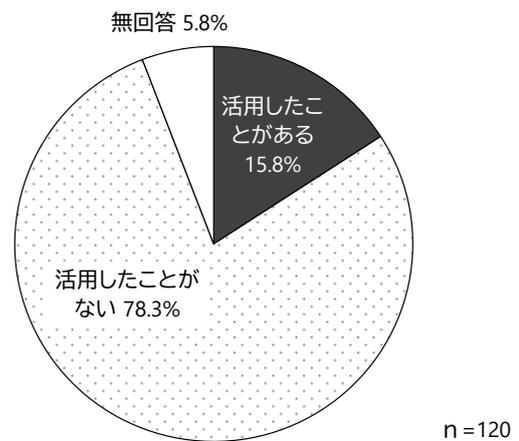
「知っている」と回答した方に、施設提供サービスの教育活動への活用の有無を聞くと、「活用したことがある」が15.8%、「活用したことがない」が78.3%となっています。

また、「活用したことがない」と回答した方の理由については、「時間がとれない」が33.0%と最も多く、次いで「活用方法が分からない」が29.8%、「活用する場面がない」が26.6%、「距離が遠い」が11.7%となっています。

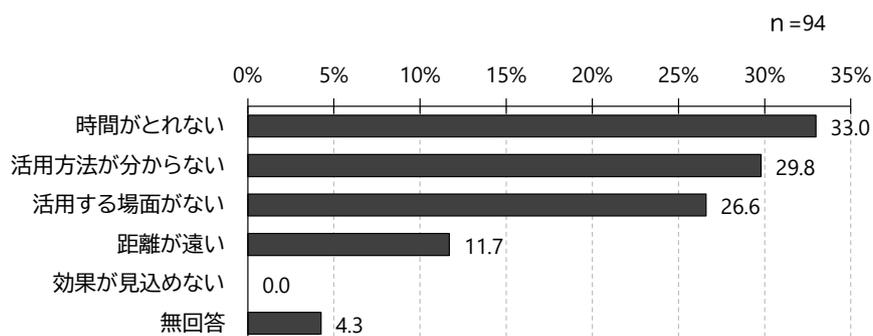
問 33 認知度



問 34 活用の有無



問 35 活用したことがない理由(複数回答)



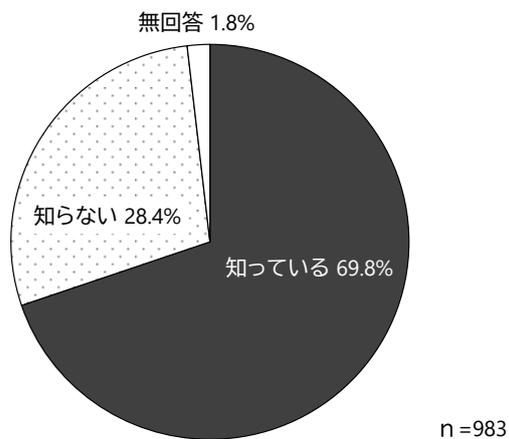
⑦国際版画美術館

認知度について、「知っている」が69.8%、「知らない」が28.4%となっています。

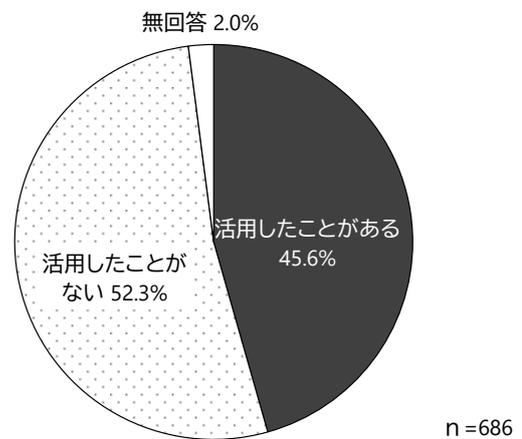
「知っている」と回答した方に、施設提供サービスの教育活動への活用の有無を聞くと、「活用したことがある」が45.6%、「活用したことがない」が52.3%となっています。

また、「活用したことがない」と回答した方の理由については、「活用方法が分からない」が35.4%と最も多く、次いで「活用する場面がない」が34.3%、「時間がとれない」が18.7%、「距離が遠い」が16.4%、「効果が見込めない」が1.7%となっています。

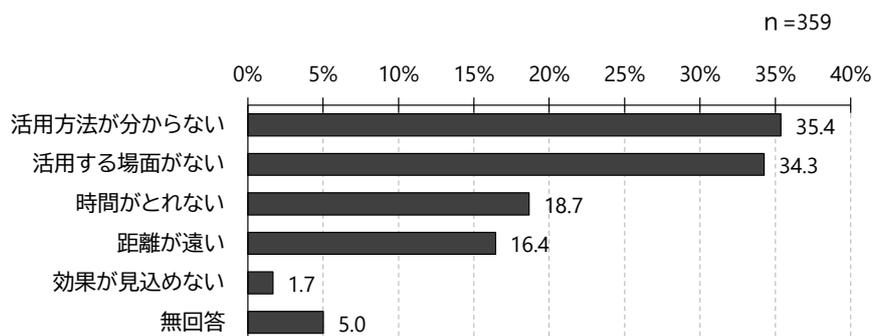
問 33 認知度



問 34 活用の有無



問 35 活用したことがない理由(複数回答)



町田市の学校教育についておうかがいします

問5 以下に掲げる町田市の教育に関する取組について、どの程度知っていますか。
(①～⑪それぞれに○は1つ)

問6 問5で「内容を含め、よく知っている」と回答した項目について、その満足度をお答えください。
(問5で「1」を選んだ項目それぞれに○は1つ)

取組名	問5			問6 1を選んだ項目のみ回答			
	内容を含め、よく知っている	聞いたことがある程度	知らない	大変満足	やや満足	やや不満	大変不満
①「家庭学習の手引き」(リーフレット)を使った家庭学習啓発の取組	1	2	3	1	2	3	4
②協働的探究学習を取り入れた授業	1	2	3	1	2	3	4
③一校一取組運動や小学校連合運動会などの体力向上を図るための取組	1	2	3	1	2	3	4
④小中一貫町田っ子カリキュラムによる小中連携の取組	1	2	3	1	2	3	4
⑤社会的自立、職業的自立に必要な能力を育成する「キャリア教育」の取組	1	2	3	1	2	3	4
⑥教育センターが実施する教育相談	1	2	3	1	2	3	4
⑦「町田市小学校英語教育カリキュラム」による小学校外国語活動の推進	1	2	3	1	2	3	4
⑧ICT教育「Machida Next Education」による取組	1	2	3	1	2	3	4
⑨食育についての取組	1	2	3	1	2	3	4
⑩コミュニティスクールを通じた教育活動(※P7参照)	1	2	3	1	2	3	4
⑪学校支援ボランティアと連携・協働した教育活動	1	2	3	1	2	3	4

問7 町田市の学校教育では、今後どのような点に力を入れていくのが望ましいと思いますか。

(〇は3つ以内)

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. タブレット端末等ICTを活用した教育 | 11. いじめへの対応 |
| 2. 情報活用能力に関する教育 | 12. 不登校への対応 |
| 3. 英語教育 | 13. 教職員の資質や指導力の向上 |
| 4. 理数教育や科学技術教育 | 14. 習熟度別の少人数指導 |
| 5. キャリア教育 | 15. 学校の安全対策(学校の施設整備、安全教育) |
| 6. 幼保小、小中の連携 | 16. 通学の安全対策 |
| 7. 読書活動 | 17. 放課後学習の充実 |
| 8. 道徳教育 | 18. 部活動の充実 |
| 9. 体力向上 | 19. 防災教育 |
| 10. 障がいのある児童・生徒への支援体制 | 20. その他(具体的に:) |

問8 以下に掲げるものをお子さんに身につけさせるにあたって「学校」で身につける方が効果的だと思うものはどれですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. 基礎的な学力 | 8. 思いやり・他人を大切にする心 |
| 2. 論理的に物事を考える力 | 9. 自然や環境を大切にする心 |
| 3. 自分の考えを表現する力 | 10. 社会のマナーやルール |
| 4. 人間関係を築く力 | 11. 基礎的な体力・運動能力 |
| 5. 将来の進路や働くことへの意識 | 12. タブレット端末等ICTを活用する力 |
| 6. 社会で役立つ心や公共心 | 13. 地域の伝統や文化を大切にし、郷土を愛する心 |
| 7. 自立心・自主性・積極性 | |

問9 以下に掲げるものをお子さんに身につけさせるにあたって「家庭」で身につける方が効果的だと思うものはどれですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. 基礎的な学力 | 8. 思いやり・他人を大切にする心 |
| 2. 論理的に物事を考える力 | 9. 自然や環境を大切にする心 |
| 3. 自分の考えを表現する力 | 10. 社会のマナーやルール |
| 4. 人間関係を築く力 | 11. 基礎的な体力・運動能力 |
| 5. 将来の進路や働くことへの意識 | 12. タブレット端末等ICTを活用する力 |
| 6. 社会で役立つ心や公共心 | 13. 地域の伝統や文化を大切にし、郷土を愛する心 |
| 7. 自立心・自主性・積極性 | |

問10 アンケート用紙を持ち帰ったお子さんには、以下に掲げるものがどの程度身についていると思いますか。 (①～⑬それぞれに○は1つ)

	よく 身につ ている	身につ いて いる	あまり 身につ いて いない	まったく 身につ いて いない	わか ら ない
(例) ○○する力	①	2	3	4	5
①基礎的な学力	1	2	3	4	5
②論理的に物事を考える力	1	2	3	4	5
③自分の考えを表現する力	1	2	3	4	5
④人間関係を築く力	1	2	3	4	5
⑤将来の進路や働くことへの意識	1	2	3	4	5
⑥社会で役立つ心や公共心	1	2	3	4	5
⑦自立心・自主性・積極性	1	2	3	4	5
⑧思いやり・他人を大切にする心	1	2	3	4	5
⑨自然や環境を大切にする心	1	2	3	4	5
⑩社会のマナーやルール	1	2	3	4	5
⑪基礎的な体力・運動能力	1	2	3	4	5
⑫タブレット端末等ICTを活用する力	1	2	3	4	5
⑬地域の伝統や文化を大切にし、郷土を愛する心	1	2	3	4	5

問11 子どもたちの教育や環境について、課題と感じていることは何ですか。 (○は2つ以内)

1. いじめ	8. 地域や家庭環境などによる子どもたちの教育格差
2. 不登校	9. 家庭の教育力
3. 道徳心や規範意識	10. 学校・家庭・地域の連携
4. 基礎学力	11. 地域の教育力
5. 基本的な生活習慣	12. その他
6. 体力	(具体的に：)
7. 教職員の指導力	

問12 町田市では英語教育の推進に取り組んでいますが、どのようなことに力を入れていくことが最も望ましいと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------------------|---|
| 1. 外国の文化に触れる機会を増やすこと | 5. 休み時間や放課後など授業以外で英語を聞いたり話したりする機会を増やすこと |
| 2. 外国人と直接交流する機会を増やすこと | 6. その他 |
| 3. 英語に関する資格取得や受験に役立つ授業 | (具体的に:) |
| 4. 授業の中で英語を聞いたり話したりする機会を増やすこと | |

問13 町田市では、お子さんの将来的な社会的・職業的自立に向けて必要となる能力や態度を育成する「キャリア教育」を推進しています。以下の項目の中で実施すべき、または、さらに力を入れて取り組むべきと思うものはどれですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 事業所での職場体験や講話など、職業に関する知識を深める取組 | 5. 多様な価値観・背景を持つ人と力を合わせて問題解決を行う取組 |
| 2. 会社経営シミュレーションなど、起業や経営に関する授業の実施 | 6. その他 |
| 3. 税、社会保障、株式や預金など、金融・経済知識を深める授業の実施 | (具体的に:) |
| 4. 論理的思考や筋道を立てて考える力を養う授業の実施 | |

問14 町田市では、ICTを活用した教育を推進しています。あなたがICTの活用期待することは何ですか。(〇は3つ以内)

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. インターネットを利用した情報活用能力の育成 | 7. 情報モラルセキュリティ意識の向上 |
| 2. 画像や動画を使ったわかりやすい授業による学習意欲の向上 | 8. タブレット端末を活用した意見交換の実施等による協働的な学びの発展 |
| 3. 一人ひとりの習熟度に合わせた効果的な個別学習 | 9. 海外を含めた遠方地域との交流など距離の制約がない良質な学びの提供 |
| 4. 自宅から参加するオンライン授業による学びの補完 | 10. 板書やプリント配布の削減など授業の効率化 |
| 5. タブレット端末や電子黒板を活用した発表の実施による情報発信力の向上 | 11. その他 |
| 6. プログラミング的思考の習得 | (具体的に:) |

教育に関する相談についておうかがいします

問15 お子さんの教育に関して、現在困ったり悩んだりしていることはありますか。 (〇は1つ)

1. 日常的に悩みを抱えている 2. 時々悩むことがある 3. 悩むことはほとんどない

問15で「1」か「2」を選んだ方におうかがいします。

問21へ

問16 困ったり悩んだりしていることは、どのようなことですか。 (〇は3つ以内)

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. 子どもの学力や学習状況 | 7. 教育や子育てについて、気軽に相談できる相手がいない |
| 2. 子どもの体力や健康 | 8. 子どもの教育費の負担 |
| 3. 子どもの素行や生活態度 | 9. 子どもの情報機器(携帯電話、スマートフォン、インターネットなど)の使い方 |
| 4. 子どもの学校での様子がよくわからない | 10. その他 |
| 5. 子どもとコミュニケーションがうまくとれない | (具体的に:) |
| 6. 家庭でのしつけや教育方法 | |

問15で「1」か「2」を選んだ方におうかがいします。

問17 各小・中学校にはスクールカウンセラーを配置していますが、相談したことはありますか。 (〇は1つ)

1. ある 2. ない

問17で「2」を選んだ方におうかがいします。

問18 スクールカウンセラーに相談したことがない最も大きな理由は何ですか。 (〇は1つ)

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. スクールカウンセラーに相談するような悩みがないから | 4. スクールカウンセラーに相談するための手続きがわからないから |
| 2. スクールカウンセラーの役割がよくわからないから | 5. その他 |
| 3. スクールカウンセラーが配置されていることを知らなかったから | (具体的に:) |

問19 教育センターの教育相談を利用したことがありますか。 (〇は1つ)

1. ある 2. ない

問21へ

問19で「2」を選んだ方におうかがいします。

問20 教育相談を利用したことがない最も大きな理由は何ですか。 (〇は1つ)

- | | |
|------------------------------|----------|
| 1. 教育相談で相談するような悩みがないから | 4. その他 |
| 2. 教育相談を知らなかったから | (具体的に:) |
| 3. 教育センターに相談するための手続きがわからないから | |

学校・家庭・地域の連携についておうかがいします

問21 家庭の教育力をより高めていくために、どのような取組が最も必要だと思いますか。(〇は1つ)

1. 保護者が家庭での教育方法や子どもとの接し方について学ぶことができる機会を設ける
2. 保護者同士が相談や情報交換ができるような交流の場を設ける
3. 保護者が教育方法やしつけなど、家庭で困ったことについて気軽に相談できる場を設ける
4. 保護者が子どもと一緒に様々な体験ができる機会を設ける
5. 保護者や子どもが、家族以外の地域住民と触れ合う機会を増やす
6. その他(具体的に: _____)

問22 町田市では、2021年度からすべての学校をコミュニティスクール(※)に移行しました。今後も学校・家庭・地域に住む方々が協力をして子どもたちの成長を支えることに取り組んでいきますが、地域の方々が学校の授業や運営に参画していただくことに期待することは何ですか。

(〇は2つ以内)

- | | |
|------------------------------------|---------------------------|
| 1. 地域の方々の経験や知識を子どもに伝えられること | 6. 地域の方々が子どもの成長を見守ってくれること |
| 2. 子どもが地域の良いところに気がつき、愛着を持てるようになること | 7. 子どもの職業観や勤労観が育まれること |
| 3. 体験学習等を通して、子どもの好きなことが増えること | 8. その他 |
| 4. 子どもが普段関わることの少ない異世代の人と交流できること | (具体的に: _____) |
| 5. 子どもが地域で活動している人、団体を知ることができること | |

(※)コミュニティスクールは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める取組です。

問23 学校は学校の情報を保護者や地域住民へ提供していると思いますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------------|--------------|----------|
| 1. そう思う | 3. あまりそう思わない | 5. わからない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない | |

問23で「3」か「4」を選んだ方におうかがいします。

問24 どのような情報が十分に提供されていないと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 学校の運営方針や目標 | 4. これから入学する方に対する情報 |
| 2. 学校の特色ある取組 | 5. その他 |
| 3. 町田市の教育に関する取組 | (具体的に: _____) |

放課後の活動についておうかがいします

子どもたちの成長には、学校生活を通して経験できることや習得できる知識・技能に加え、学校生活以外で得られる体験も大切だと考えます。そこで、問25及び問26についておうかがいします。

問25 学校の時間以外で、お子さんに多くの時間を過ごしてほしいことは何ですか。

(〇はいくつでも)

問26 問25でお答えいただいたことのうち、学校施設を活用してできたらいいと思うものは何ですか。

(〇はいくつでも)

	問25 子どもにしてほしいこと	問26 学校施設でできたらいいこと
		問25で選んだものの中から選択
①友達とあそぶこと	1	1
②スポーツに親しむこと	2	2
③自然観察や科学の実験などによる探求	3	3
④文化や芸術に親しむこと	4	4
⑤宿題や学習塾（英会話教室等）での学習	5	5
⑥地域の文化や伝統に親しむこと	6	6
⑦家族と過ごすこと	7	7
⑧その他 具体的に（ ）	8	8

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

調査票に直接記入いただいた方は、記入が済みましたら
調査票を同封の返信用封筒に入れて、

2022年7月14日（木）までにお子さんを通じて学校へ提出してください。

教員用

町田の教育に関するアンケート調査

～ご記入にあたってのお願い～

- 本調査は無記名で行います。調査結果は統計的に処理をされ、個人を特定することはありませんので、思った通りに回答して頂ければ結構です。
- 回答数の制限がある設問がありますので、設問の指示に従ってご回答ください。
- 問1～問5までは必須項目です。回答がないとエラーとなりますので、ご注意ください。

あなた自身のことについておうかがいします

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. 男性 2. 女性 3. その他

問2 あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代以上

問3 あなたの教員としての経験年数は何年ですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 5年以下 2. 6～10年 3. 11～20年 4. 21年以上

問4 あなたの勤務先はどちらですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 小学校 2. 中学校

問5 あなたの職名は何ですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 校長
2. 副校長
3. 校長・副校長以外の教員(地域連携担当教員経験なし)
4. 校長・副校長以外の教員(地域連携担当教員経験あり)

町田市の教育において、「みんなが目指す姿」についておうかがいします

問6 2040年の未来を見据え、町田市の教育において「みんなが目指す姿」についてご意見をいただきたいと思えます。あなたが児童生徒に、こういう人になって欲しいと思うものを選んでください。(あてはまる番号3つ以内に○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. お互いを認め合える人 | 8. 将来の変化に柔軟に対応できる人 |
| 2. 幸せを感じることができる人 | 9. 様々なことに挑戦できる人 |
| 3. 自分にも他人にも優しくできる人 | 10. 社会に貢献できる人 |
| 4. みんなで助け合える人 | 11. 感謝の心を大切にできる人 |
| 5. 地域の課題に積極的に取り組む人 | 12. その他 |
| 6. 町田愛を持っている人 | () |
| 7. 生きがいを持っている人 | |

町田市の学校教育についておうかがいします

問7 町田市の学校教育では、今後どのような点に力を入れていくのが望ましいと思えますか。

(あてはまる番号3つ以内に○)

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. タブレット端末等ICTを活用した教育 | 11. いじめへの対応 |
| 2. 情報活用能力に関する教育 | 12. 不登校への対応 |
| 3. 英語教育 | 13. 教職員の資質や指導力の向上 |
| 4. 理数教育や科学技術教育 | 14. 習熟度別の少人数指導 |
| 5. キャリア教育 | 15. 学校の安全対策(学校の施設整備、安全教育) |
| 6. 幼保小・小中の連携 | 16. 通学の安全対策 |
| 7. 読書活動 | 17. 放課後学習の充実 |
| 8. 道徳教育 | 18. 部活動の充実 |
| 9. 体力向上 | 19. 防災教育 |
| 10. 障がいのある児童・生徒への支援体制の充実 | 20. その他(具体的に |

問8 以下に掲げるものをお子さんに身につけさせるにあたって「学校」で身につける方が効果的だと思うものはどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1. 基礎的な学力 | 8. 思いやり・他人を大切にする心 |
| 2. 論理的に物事を考える力 | 9. 自然や環境を大切にする心 |
| 3. 自分の考えを表現する力 | 10. 社会のマナーやルール |
| 4. 人間関係を築く力 | 11. 基礎的な体力・運動能力 |
| 5. 将来の進路や働くことへの意識 | 12. タブレット端末などICTを活用する力 |
| 6. 社会で役立つ心や公共心 | 13. 地域の伝統や文化を大切に、郷土を愛する心 |
| 7. 自立心・自主性・積極性 | |

問9 以下に掲げるものをお子さんに身につけさせるにあたって「家庭」で身につける方が効果的だと思うものはどれですか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. 基礎的な学力 | 8. 思いやり・他人を大切にする心 |
| 2. 論理的に物事を考える力 | 9. 自然や環境を大切にする心 |
| 3. 自分の考えを表現する力 | 10. 社会のマナーやルール |
| 4. 人間関係を築く力 | 11. 基礎的な体力・運動能力 |
| 5. 将来の進路や働くことへの意識 | 12. タブレット端末などICTを活用する力 |
| 6. 社会で役立つ心や公共心 | 13. 地域の伝統や文化を大切にし、郷土を愛する心 |
| 7. 自立心・自主性・積極性 | |

問10 あなたの学校の児童・生徒には、いかに掲げるものがどの程度身についていると思います

(それぞれの項目のいずれかの番号の1つに○)

	よく見についている	身につけている	あまり身につけていない	まったく身につけていない	わからない
(例) ○○する力	①	2	3	4	5
1) 基礎的な学力	1	2	3	4	5
2) 論理的に物事を考える力	1	2	3	4	5
3) 自分の考えを表現する力	1	2	3	4	5
4) 人間関係を築く力	1	2	3	4	5
5) 将来の進路や働くことへの意識	1	2	3	4	5
6) 社会で役立つ心や公共心	1	2	3	4	5
7) 自立心・自主性・積極性	1	2	3	4	5
8) 思いやり・他人を大切にする心	1	2	3	4	5
9) 自然や環境を大切にする心	1	2	3	4	5
10) 社会のマナーやルール	1	2	3	4	5
11) 基礎的な体力・運動能力	1	2	3	4	5
12) タブレット端末等ICTを活用する力	1	2	3	4	5
13) 地域の伝統や文化を大切にし、郷土を愛する心	1	2	3	4	5

問11 児童・生徒の教育や環境について、課題と感じていることは何ですか。

(あてはまる番号2つ以内に○)

- | | |
|-------------|---------------------------|
| 1. いじめ | 8. 地域や家庭環境などによる子どもたちの教育格差 |
| 2. 不登校 | 9. 家庭の教育力 |
| 3. 道徳心や規範意識 | 10. 家庭・地域・学校の連携 |
| 4. 基礎学力 | 11. 地域の教育力 |
| 5. 基本的な生活習慣 | 12. その他 |
| 6. 体力 | 具体的に () |
| 7. 教職員の指導力 | |

問12 英語教育の推進について、どのようなことに力を入れていくことが最も望ましいと思いますか。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-------------------------------|---|
| 1. 外国の文化に触れる機会を増やすこと | 5. 休み時間や放課後など授業以外で英語を聞いたり話したりする機会を増やすこと |
| 2. 外国人と直接交流する機会を増やすこと | 6. その他 |
| 3. 英語に関する資格取得や受験に役立つ授業 | 具体的に () |
| 4. 授業の中で英語を聞いたり話したりする機会を増やすこと | |

問13 「キャリア教育」の推進について、以下の項目の中で、実施するべき、さらに力を入れて取り組むべきと思うものはどれですか

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 事業所での職場体験や講話など、職業に関する知識を深める取り組み | 5. 多様な価値観・背景を持つ人と力を合わせて問題解決をおこなう取り組み |
| 2. 会社経営シミュレーションなど、起業や経営に関する授業の実施 | 6. その他(自由記述) |
| 3. 税、社会保障、株式や預金など、金融・経済知識を深める授業の実施 | (具体的に) |
| 4. 論理的思考や筋道を立てて考える力を養う授業の実施 | |

問14 ICT教育の推進に関して、さらに力を入れて取り組むべきと思うものはどれですか (あてはまる番号に3つ以内に○)

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. インターネットを利用した情報活用能力の育成 | 7. 情報モラルセキュリティ意識の向上 |
| 2. 画像や動画を使った分かりやすい授業による学習意欲の向上 | 8. タブレット端末を活用した意見交換の実施等による協働的な学びの発展 |
| 3. 一人ひとりの習熟度に合わせた効果的な個別学習 | 9. 海外を含めた遠方地域との交流など距離の制約がない良質な学びの提供 |
| 4. 自宅から参加するオンライン授業による学びの補完 | 10. 板書やプリント配布の削減など授業の効率化 |
| 5. タブレット端末や電子黒板を活用した発表の実施による情報発信力の向上 | 11. その他 |
| 6. プログラミング的思考の習得 | (具体的に) |

問15 現在の教員研修制度についてどう感じていますか。 (あてはまる番号1つに○)

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 質・量ともにほぼ満足している | 4. 量に関してはほぼ満足しているが、質に関してはもう少し改善してほしい |
| 2. 質に関してはほぼ満足しているが、量に関してはもう少し減らしてほしい | 5. 質・量ともに不満である |
| 3. 質に関してはほぼ満足しているが、量に関してはもう少し増やしてほしい | 6. わからない |

問16 教員研修制度の内容として重要だと思われるものは何ですか。 (あてはまる番号1つに○)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 学級経営・学校経営に関する研修 | 8. 外国語習得等、国際化に関する研修 |
| 2. 教科・科目に関する研修 | 9. 福祉に関する研修 |
| 3. 特別支援教育に関する研修 | 10. 人権に関する研修 |
| 4. 生活指導に関する研修 | 11. 道徳教育に関する研修 |
| 5. 生涯学習・社会教育に関する研修 | 12. カウンセラーなどの資格取得のための研修 |
| 6. 環境教育に関する研修 | 13. その他 |
| 7. ICT等、情報化に関する研修 | 具体的に () |

教育に関する相談についておうかがいします

問17 あなたは、児童・生徒に関する相談をする際、以下に掲げる相手に対してどの程度相談していますか。

(それぞれの項目のいずれかの番号の1つに○)

	よく相談する	ときどき相談する	ほとんど相談しない	相談したことがない
1) 同じ学校の教員	1	2	3	4
2) 他校の教員	1	2	3	4
3) スクールカウンセラー	1	2	3	4
4) スクールソーシャルワーカー	1	2	3	4
5) 子ども発達支援センター	1	2	3	4
6) 教育委員会	1	2	3	4
7) 児童相談所・子ども家庭支援センター	1	2	3	4
8) PTA	1	2	3	4
9) 民生委員・児童委員	1	2	3	4
10) 医療関係者	1	2	3	4
11) 幼稚園・保育園	1	2	3	4

家庭・地域・学校の連携についておうかがいします

問18 あなたは、どのような分野で地域の方をはじめとする外部の方（以下、外部人材という。）と連携していますか。（あてはまる番号すべてに○）

問19 あなたが外部人材と連携して、よかったものはどれですか。（あてはまる番号すべてに○）

	問18 支援を受けているもの	問19 よかったもの 問18で選んだものの中から選択
1) 教科での学習支援、家庭科、体育科等技能系教科での指導補助等	1	1
2) 特別な配慮を要する児童・生徒の指導補助	2	2
3) ゲストティーチャー、指導者としての支援	3	3
4) 校舎や飼育小屋等の補修・塗装、植木の剪定、パソコンの管理など学校の施設・設備の維持・管理の支援	4	4
5) 放課後の学力補充、遊び、体験活動、部活動などのアシスタント、指導者としての支援	5	5
6 その他 具体的に（ ）	6	6
7) よかったものはない	7	
8) 外部人材と連携する機会がない	8	

問20 学校現場に外部人材が入るようになったことで、学校や児童・生徒はどのように変わったと感じていますか（あてはまる番号すべてに○）

1. 児童・生徒の学習活動への関心・意欲・態度が高まった	5. 校内環境が整備された
2. 児童・生徒と地域住民とのコミュニケーションが増えた	6. 学校及び児童・生徒の教育に関する情報や課題が、地域と共有された
3. 教職員の児童・生徒と向き合う時間が増加した	7. その他
4. 教職員の「開かれた学校づくり」の必要性についての認識が深まった	具体的に（ ）

問21 学校現場に外部人材が入ることによる問題点は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 適切な人材を探すのに苦慮する	7. 教職員の外部人材への理解が不十分である
2. 打合せ等の時間の確保に苦慮する	8. 一部の外部人材へ依頼が偏ってしまう
3. 待遇など気遣いが負担である	9. 外部人材確保のための予算が不足している
4. 学習目標と外部人材の指導とのずれがみられる	10. その他
5. 外部人材の学校理解や児童・生徒への接し方が不安である	具体的に（ ）
6. 児童・生徒の個人情報など公開できない情報の漏えいが心配である	

問22 今後どのような分野で外部人材からの支援を受けたいと考えていますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|--|
| 1. 教科での学習支援、家庭科、体育科等技能系教科での指導補助等 |
| 2. 特別な配慮を要する児童・生徒の指導補助 |
| 3. ものづくり指導、自然等に関する理科指導など、総合的な学習の時間などのゲストティーチャー、指導者としての支援 |
| 4. 校舎や飼育小屋等の補修・塗装、植木の剪定、パソコンの管理など学校の施設・設備の維持・管理の支援 |
| 5. 放課後の学力補充、遊び、体験活動、部活動などのアシスタント、指導者としての支援 |
| 6. その他(具体的に) |

問23 地域の方が学校の授業や運営に参画することに期待することは何ですか。

(あてはまる番号2つ以内に○)

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------|
| 1. 地域の方々の経験や知識を子どもに伝えられること。 | 6. 地域の方々が子どもの成長を見守ってくれること |
| 2. 子どもが地域の良いところに気がつき、愛着をもてるようになること。 | 7. 子どもの職業観や勤労観が育まれること |
| 3. 体験学習等を通して、子どもの好きなことが増えること。 | 8. その他(具体的に:) |
| 4. 子どもが普段関わることの少ない異年代の人と交流できること。 | |
| 5. 子どもが地域で活動している人、団体を知ることができること。 | |

現在の業務の状況についておうかがいします

問24 平日の勤務時間外に行った仕事の内容は次のうちどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| 1. なし | 6. 生活指導 | 11. 資料や報告書の作成 |
| 2. 教材研究・授業準備 | 7. 部活動の指導 | 12. 集金等の事務処理 |
| 3. 提出物や成績の処理 | 8. 学年・学級経営 | 13. 保護者・PTA対応 |
| 4. 課題授業・補習授業 | 9. 学校行事の準備 | 14. その他 |
| 5. 試験問題の作成及び採点 | 10. 校務分掌に係る業務 | (具体的に:) |

問25 やむを得ず休日に行った仕事の内容は次のうちどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| 1. なし | 6. 生活指導 | 11. 資料や報告書の作成 |
| 2. 教材研究・授業準備 | 7. 部活動の指導 | 12. 集金等の事務処理 |
| 3. 提出物や成績の処理 | 8. 学年・学級経営 | 13. 保護者・PTA対応 |
| 4. 課題授業・補習授業 | 9. 学校行事の準備 | 14. その他 |
| 5. 試験問題の作成及び採点 | 10. 校務分掌に係る業務 | (具体的に:) |

問26 業務の改善に向けて、あなたの学校の現在の状況を教えてください。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 業務改善について検討する組織がある | 4. 業務改善に向けた動きは何もない |
| 2. 業務改善に向けて管理職が働きかけを行っている | 5. その他 |
| 3. 業務改善について教職員の間で話題になる | 具体的に () |

問27 どのような業務改善を行えば、どのような業務について負担が軽減されると思いますか。ご意見をお聞かせください。(自由記述)

問28 あなたは自分の業務が忙しいと感じていますか。 (あてはまる番号1つに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 感じている | 3. どちらかというと感じていない |
| 2. どちらかというと感じている | 4. 感じていない |

問29 あなたが大切だけれども、十分に時間が取れていないと感じている業務は次のうちどれですか。(あてはまる番号3つ以内に○)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 授業 | 9. 学校行事の準備 |
| 2. 教材研究・授業準備 | 10. 児童・生徒理解 |
| 3. 提出物や成績の処理 | 11. 校務分掌に係る業務 |
| 4. 課題授業・補習授業 | 12. 資料や報告書の作成 |
| 5. 試験問題の作成及び採点 | 13. 集金等の事務処理 |
| 6. 生活指導 | 14. 保護者・PTA対応 |
| 7. 部活動の指導 | 15. その他 |
| 8. 学年・学級経営 | 具体的に () |

町田市の生涯学習施設の活用についておうかがいします

問33 以下に掲げる町田市内にある施設について、どの程度知っていますか。

(それぞれの項目のいずれかの番号の1つに○)

問34 問33で「知っている」と回答した項目について、施設が提供するサービスを教育活動の中で活用したことがありますか。(それぞれの項目のいずれかの番号の1つに○)

	問 33		問 34 1を選んだ項目のみ回答	
	知っている	知らない	活用したことがある	活用したことがない
施設名	①	2	①	2
1.図書館	1	2	1	2
2.町田市民文学館ことばらんど	1	2	1	2
3.生涯学習センター	1	2	1	2
4.自由民権資料館	1	2	1	2
5.考古資料室	1	2	1	2
6.町田デジタルミュージアム(※)	1	2	1	2
7.国際版画美術館	1	2	1	2

※町田デジタルミュージアムとは、町田市が所蔵する考古、歴史、民俗資料をデジタル化し、インターネット上で閲覧できるようにした仕組みのことです。

問35 問34で「活用したことがない」と回答した項目について、活用したことがない理由はなんですか。(それぞれの項目のいずれかの番号の1つに○)

施設名	活用する場面がない	時間がとれない	活用方法が分からない	距離が遠い	効果が見込めない
	①	2	3	4	5
1.図書館	1	2	3	4	5
2.町田市民文学館ことばらんど	1	2	3	4	5
3.生涯学習センター	1	2	3	4	5
4.自由民権資料館	1	2	3	4	5
5.考古資料室	1	2	3	4	5
6.町田デジタルミュージアム	1	2	3	4	5
7.国際版画美術館	1	2	3	4	5

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

町田の教育に関するアンケート調査
結果報告書

発行:町田市教育委員会
〒194-8520 町田市森野 2-2-22 TEL:042-722-3111(代表)
発行年月:2023年3月
編集:町田市教育委員会学校教育部教育総務課
刊行物番号 22-100